

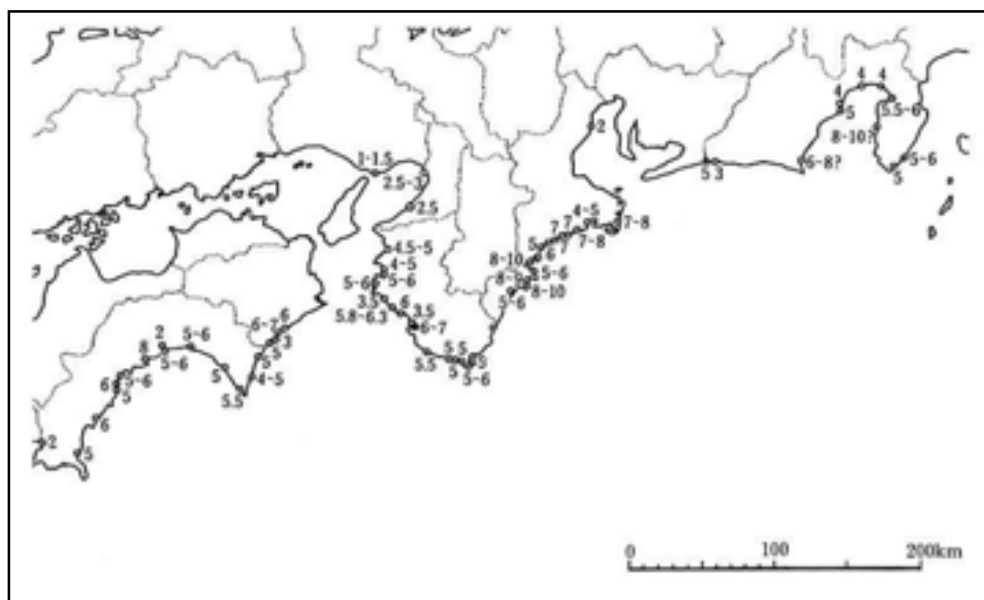
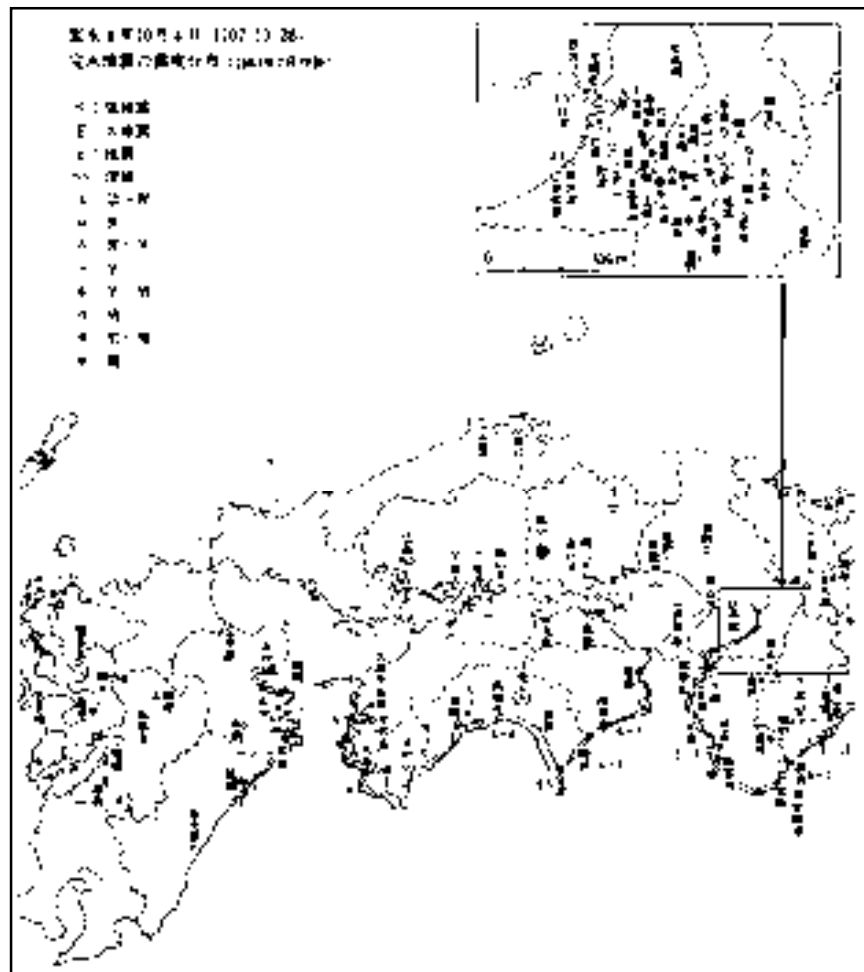
第 1 章 資料関連

資料 1-1 由良町周辺における被害地震

(その1)

No.	発 生 年 月 日	地震の規模 (M)	震 央 位 置 (推 定)
被害の範囲			
地震に関する記録			
1	684 (天武13) 年11月29日	M \approx 8 ¹ / ₄	東経 133.5~135.0°, 北緯 32 ¹ / ₄ ~33 ¹ / ₄ °
天武地震 土佐その他南海・東海・西海諸道			
山崩れ河涌き、諸国の郡官舎・百姓倉・寺塔・神社の倒壊多く、人畜の死傷多し。津波来襲し、土佐の運調船多数沈没。伊予の温泉・紀伊の牟婁(現鉛山?)温泉湧出とまり、土佐では田苑50余万頃(約10km ²)沈下して海となる。津波は熊野海岸、土佐沿岸など広く襲来。			
2	887 (仁和3) 年8月26日	M=8.0~8.5	東経 135.0°, 北緯 33.0°
仁和地震 五畿七道			
京都で諸司の舎屋、東西両京の民家の倒壊多く、圧死者多数、津波が沿岸を襲い溺死者多数、とくに摂津の国の浪害が最大。津波は、四国、紀伊半島および大阪湾の沿岸を襲い、溺死者多数。			
3	1099 (承德3) 年2月22日	M=8.0~8.3	東経 135~136°, 北緯 32.5~33.5°
康和地震 南海道・畿内			
興福寺西金堂・塔小破、大門と廻廊が倒れた。摂津天王寺廻廊倒る。土佐で田千余町(約1,000ha)みな海に沈む。			
4	1361 (正平16) 年8月3日	M=8 ¹ / ₄ ~8.5	東経 135.0°, 北緯 33.0°
正平地震 畿内・土佐・阿波			
摂津四天王寺の金堂転倒し5人圧死、山城東寺の講堂傾く。興福寺金堂・南円堂破損。奈良薬師寺の金堂の2階傾き、招提寺塔の九輪大破し回廊など倒れる。紀伊熊野社の社頭ならびに仮殿その他悉く破壊。その他諸堂の破損多し。熊野山の山路ならびに山河の破損多く、湯の峰温泉の湧出とまる。津波が沿岸を襲い摂津・阿波・土佐で被害、とくに阿波の雪湊(由岐)では流失1,700戸、流死60(以上?)。津波に先立ち難波浦で数百町干あがった。余震多し。津波は紀伊半島から土佐の沿岸を襲い、摂津で高さ3~5m、阿波の雪湊で大津波、土佐で高さ5~7m。			
5	1498 (明応7) 年8月25日	M=8.2~8.4	東経 138.0°, 北緯 34.0°
明応東海地震 東海道全般			
紀伊から房総にかけての海岸と甲斐で振動大きく、熊野本宮の社殿倒れ、那智の坊舎崩れ、湯峰温泉は10月8日(18日という史料もある)まで湧出がとまった。遠江では山崩れ地裂けた。震害に比して津波の被害が大きく、津波は紀伊から房総の海岸を襲った。和田浦鶴ノ島(現和歌山市)が津波で流失。			
6	1605 (慶長9) 年2月3日	M=7.9	東経 138.5°, 北緯 33.5° (地点A) 東経 134.9°, 北緯 33.0° (地点B)
慶長地震 東海・南海・西海諸道			
2つの地震A、Bが生じたものと考えられる。震害の記録は見当らない。一方、津波は犬吠崎から九州に至る太平洋岸に押し寄せ、紀伊半島西岸の広村では戸数1,700のうち700戸流失、阿波の鞆浦で波高10丈(約30m)、死100余人、宍喰で波高2丈(約6m)、死1,500余(または3,806人)、土佐甲浦で死350余、崎浜で50余、室戸岬付近で400余。			
7	1707 (宝永4) 年10月28日	M=8.4	東経 135.9°, 北緯 33.2°
宝永地震 五畿七道			
わが国最大級の海洋型地震の一つである。震害は、紀伊田辺町では被災家411戸中、潰138、大破119、残りの154は流失し、死20名。津波は伊豆半島から九州に至る太平洋沿岸および大阪湾・播磨・伊予・防長を襲った。紀伊でも津波の被害は大きく、広村では総戸数約1,000のうち700戸流亡、150戸破損、死292(うち100はよそ者)、広村では第2波が高く、第3波はそれより低かった。湯浅では総戸数1,000戸のうち、流失家屋292、破損275、死53(うち12はよそ者)であった。紀伊の湯峰・山地・龍神・瀬戸鉛山の湯がとまった。			
8	1854 (嘉永7) 年12月23日	M=8.4	東経 137.8°, 北緯 34.0°
安政東海地震 東海・東山・南海諸道			
被害区域は、関東から近畿に及ぶ。有感範囲は、東北から、九州東北半に及ぶ。伊勢、三河、若狭越前、土佐、伊豆等に被害は及ぶ。全国では、倒壊、流失家屋数8300、焼失300、死者1000という。			

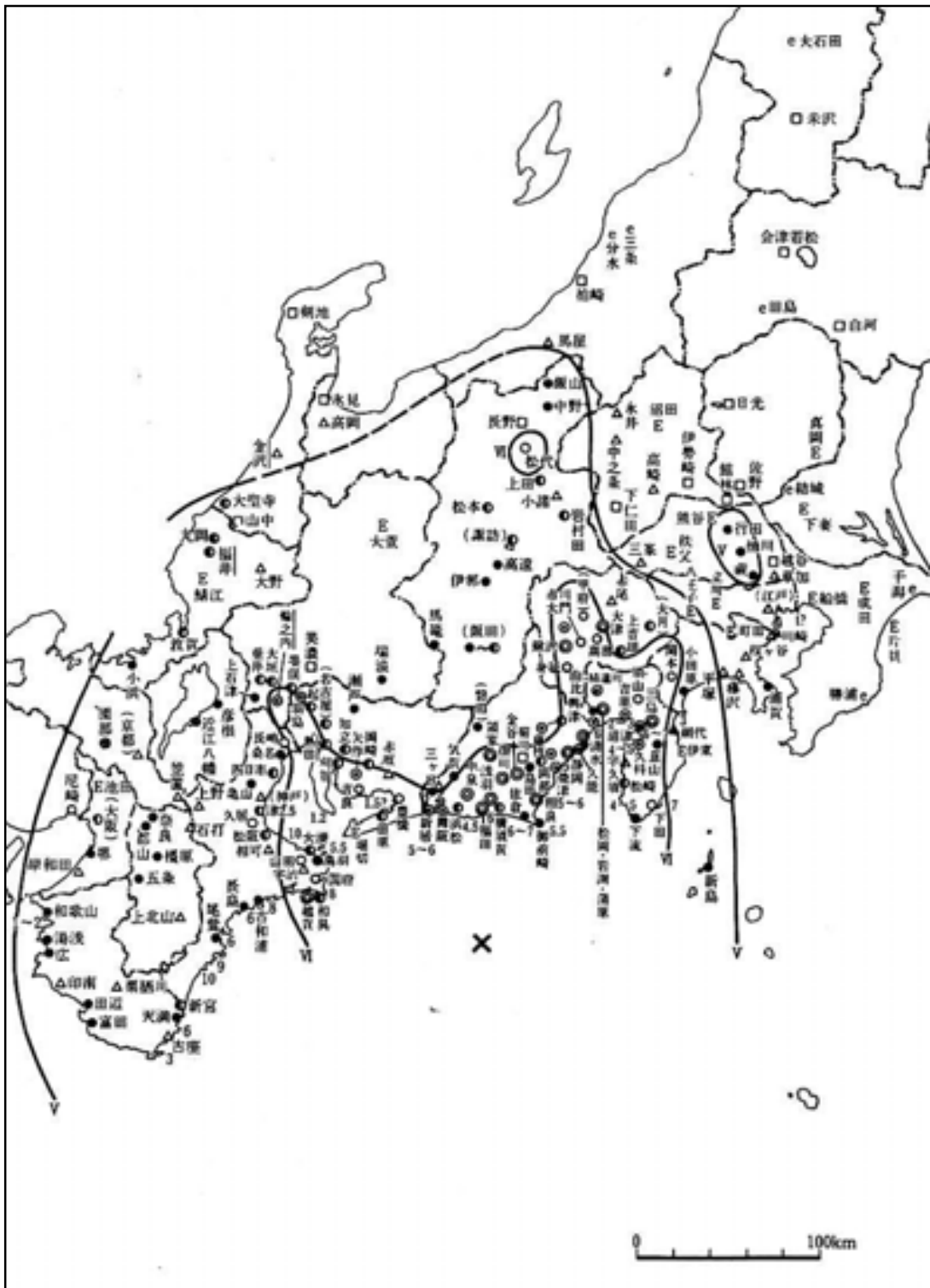
(出典：新編 日本被害地震総覧、日本被害津波総覧)



No. 7 1707年 宝永地震 (震度分布と津波波高)

出典：新編日本被害地震総覧、日本被害津波総覧

図一 由良町周辺における被害地震



No. 8 1854年 安政東海地震 (震度分布)

出典：新編日本被害地震総覧、日本被害津波総覧

図一 2 由良町周辺における被害地震

No.	発 生 年 月 日	地震の規模 (M)	震 央 位 置 (推 定)
被害の範囲			
地震に関する記録			
9	1854 (嘉永7)年12月24日	M=8.4	東経 135.0° , 北緯 33.0°
安政南海地震 畿内・東海・東山・北陸・南海・山陰・山陽道			
この地震は、前の地震の32時間後に起きた。被害は、南海、西海、山陽、山陰に及び、高知にては、火災を起こし、2500戸を焼失、徳島においては、1000戸を焼失した。震源近くでは震害と浪害の区別がつきにくい。紀伊田辺領で潰255、流失532、焼失441、土蔵焼失264、寺焼失3、死24といい、津波は4回押し寄せ第3波が最大。和歌山領(勢州領分も含む)で潰・破損家1万8,086、流失8,496、焼失24、流死699、山崩れ216カ所であった。広村は戸数399のうち125流失、10潰、46半潰、158汐入破損し、人口1,323のうち、死36人であった。紀伊沿岸は、熊野以西で大半流失した村々が多かった。波高は串本で5丈(15m)、古座で3丈(9m)あった。由良町においては、死者26人、家屋流失188軒、家屋破壊21軒の被害があり、津波波高は、網代礼状で約8.0m、横浜光専寺で約2.0mあった。			
10	1899 (明治32)年3月7日	M=7.0	東経 136.1° , 北緯 34.1°
紀伊大和地震 紀伊半島南東部			
奈良・三重・和歌山各県に被害。とくに奈良県吉野郡・三重県南牟婁郡で被害が大。和歌山県では新宮で家屋・土蔵の破損。			
11	1938 (昭和13)年1月12日	M=6.8	東経 135.07° , 北緯 33.58°
田辺湾沖			
紀伊水道沿岸で小被害。とくに和歌山県日高郡・西牟婁郡などの沿岸地方で土堀の崩壊・家屋の小破、道路の小亀裂などが生じた。田辺で岸壁に亀裂。鉛山付近の温泉異常あり。紀伊水道沿岸で地鳴り聞こえ、井水位の増減あり。海震あり。余震は少ない。			
12	1944 (昭和19)年12月7日	M=7.9	東経 136.62° , 北緯 33.80°
昭和東南海地震 東海道沖			
被害は静岡、愛知、岐阜、三重の各県に多く、滋賀、奈良、和歌山、大阪、兵庫の各県にも小被害があった。津波が伊豆半島から紀伊半島の間を襲った。波の高さは熊野灘沿岸で6～8m、伊勢湾・渥美湾内は約1m内外、遠州灘沿岸で1～2m、とくに伊豆下田で最大2.1m、松坂で1.25m尾鷲で8～10m、鈴鹿で8.4mで、紀伊半島東部の海岸は30～40cm沈降したらしい。津波の被害は三重県・和歌山県に集中した。			
13	1946 (昭和21)年12月21日	M=8.0	東経 135.62° , 北緯 33.03°
昭和南海地震 南海道沖			
被害は中部地方から九州まで及んだ。過去の地震歴史に我が国最大とされる宝永大地震 (1707年) クラスの影響の広さを示した。一般に震害はそれほどでもなかった。いちばんひどかった高知県中村町は全世帯数2,177で全壊家屋2,421、半壊773、全焼62、死273、傷3,358に及んだ。津波は房総半島から九州に至る沿岸を襲った。その被害は、地震によるものよりも大きく波高は、紀伊の南端袋で6.9mに達し、三重・徳島・高知の沿岸で4～6mに達した。津波の周期は震央の近くでは10～20分のもので多く、震後10分経たないうちに襲われたところもあった。田辺市旧新庄村は全戸数630のうち79流失、浸水401、全壊50、半壊35、死は26、傷30で、地震による倒壊は古い家2～3のみであった。 由良町においては、死者17人、行方不明2人、家屋全壊53軒、家屋半壊541軒、家屋流失13軒、家屋床上浸水649軒、家屋床下浸水52軒の被害があった。津波は6回来襲し、地震後約20分で第1波、第2波が最大(満潮面より3.9m)であった。			
14	1948 (昭和23)年6月15日	M=6.7	東経 135.40° , 北緯 33.75°
日高川地震 田辺市付近			
和歌山県・奈良県南部で小被害。とくに西牟婁地方で被害が大きかった。合計で死2、傷33、家屋倒壊60、損害家屋多数。震央付近で地すべりや道路・堤防などの被害があった。和歌山の被害は死1、傷者18、家屋全壊4、半壊33、道路崩壊597、橋落下2、山崩れ51など。余震多数。			
15	1952 (昭和27)年7月18日	M=6.8	東経 135.78° , 北緯 34.45°
吉野地震 奈良県中部			
和歌山・愛知・三重・岐阜・石川の各県でも小被害があった。奈良春日社の石灯籠約1,600のうち650が倒壊した。震源がやや深いために、被害のあった区域が広がっている。			

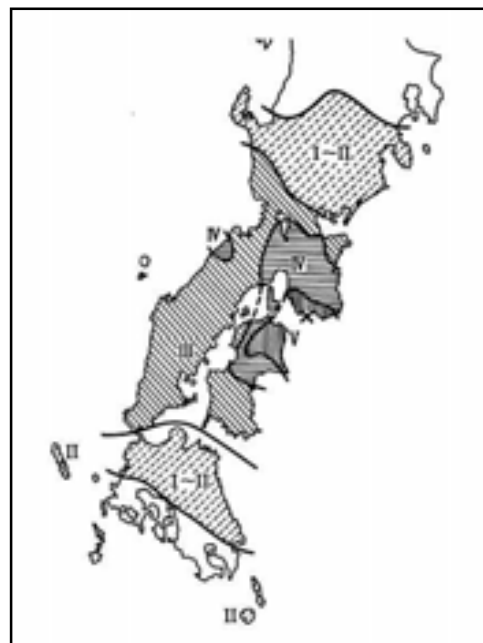
(出典：新編 日本被害地震総覧、日本被害津波総覧、由良町誌 通史編 上巻[平成7年12月])



No. 9 1854年 安政南海地震 (震度分布)



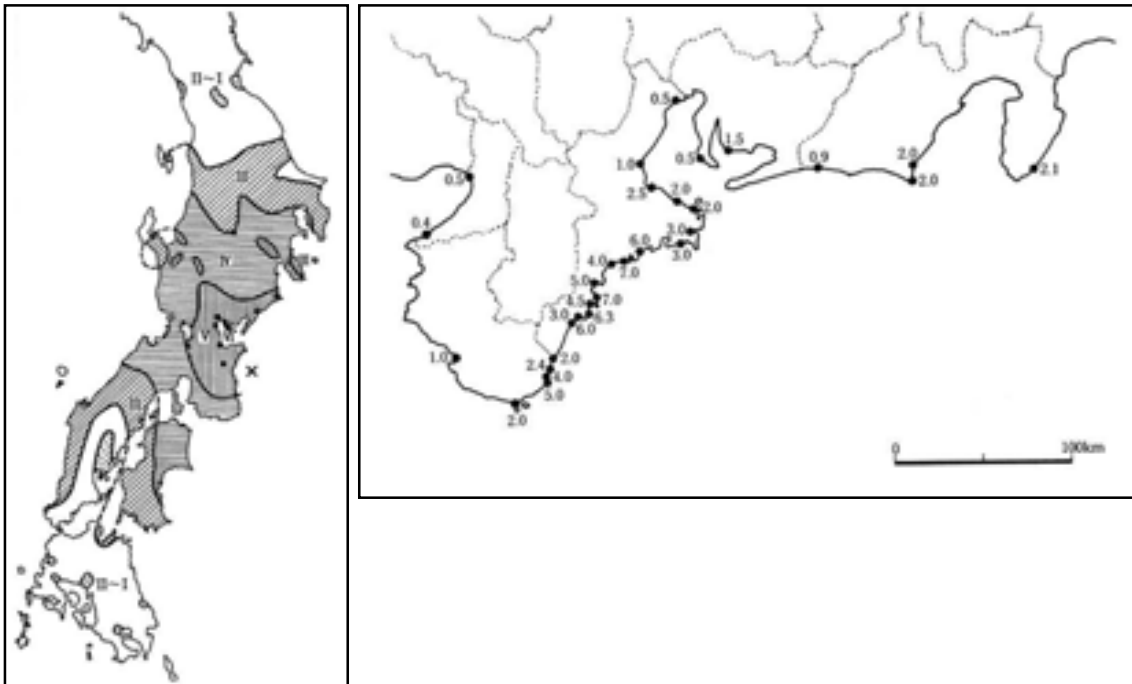
No. 10 1899年 紀伊大和地震 (震度分布)



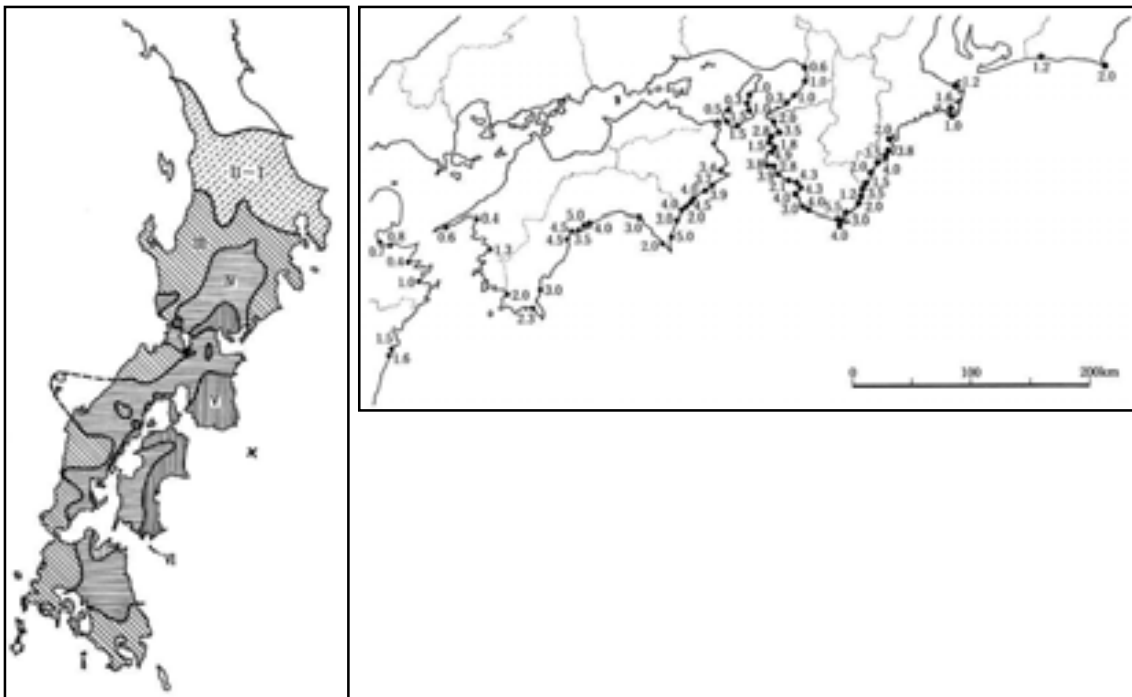
No. 11 1938年 田辺湾沖 (震度分布)

出典：新編日本被害地震総覧、日本被害津波総覧

図-3 由良町周辺における被害地震



No. 12 1944年 昭和東南海地震（震度分布と津波波高）



No. 13 1946年 昭和南海地震（震度分布と津波波高）

出典：新編日本被害地震総覧、日本被害津波総覧

図-4 由良町周辺における被害地震



安政南海地震 津波浸水域
昭和南海地震 津波浸水域



No. 9 1854年 安政南海地震 と No. 13 1946年 昭和南海地震における津波の浸水域比較図
出典：由良町誌 通史編 上巻（平成7年12月）

【江ノ駒周辺】

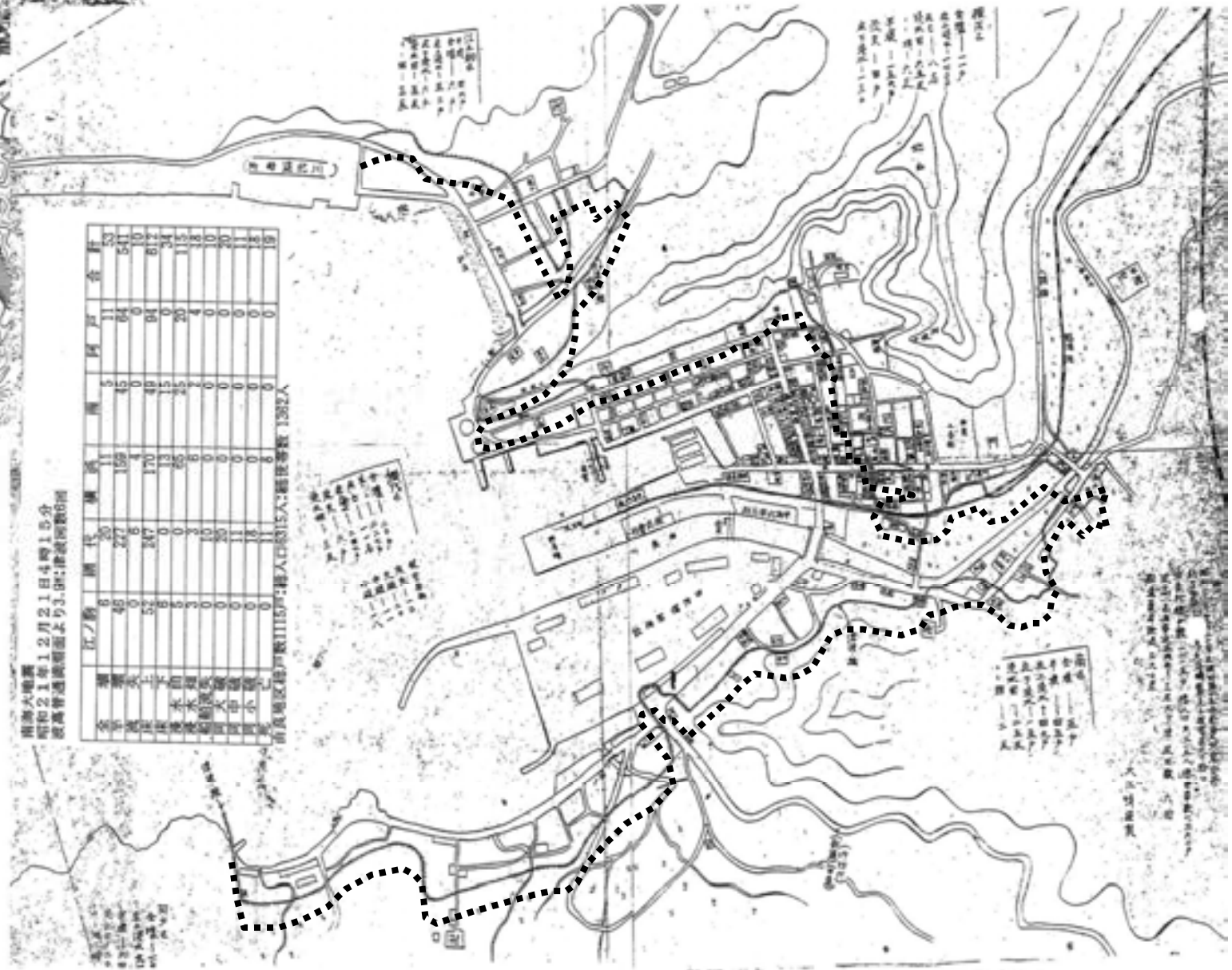


昭和南海地震（1946. 12. 21）

【南・横浜・網代周辺】



昭和南海地震（1946. 12. 21）



No. 13 1946年 昭和南海地震（由良町における津波の浸水域）
資料：町総務政策課

昭和南海地震 津波浸水域

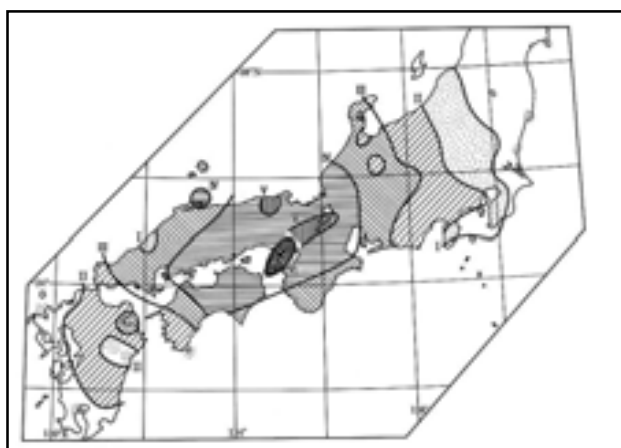
図-5 由良町周辺における被害地震

No.	発 生 年 月 日	地震の規模 (M)	震 央 位 置 (推 定)
被害の範囲			
地震に関する記録			
16	1995 (平成7) 年1月17日	M=7.3	東経 135° 02.2' , 北緯 34° 35.7'
兵庫県南部地震・阪神淡路大震災 兵庫県南東沿岸			
<p>午前5時46分、淡路島付近、震源深さ14kmで起こった。本地震は、地震災害としてあげられる全ての被害事象が発生した。火災・ライフラインの被害、道路・鉄道の被害などが顕著であった。被害状況は以下に示すとおりである。</p> <p style="text-align: center;">被害概要：死者 6,308人 負傷者 約41,500人 家屋全壊 103,385棟 家屋半壊 127,873棟 火災数 531件 被害額 約96,000億円 (概算) (消防庁調べ)</p>			
17	2000 (平成12) 年10月6日	M=7.3	東経 133° 20.9' , 北緯 35° 16.4'
鳥取県西部地震 鳥取県西部			
<p>13時30分、鳥取県西部の深さ11kmでM7.3の地震が発生し、鳥取県境港市及び日野町で震度6強を観測した。この地震により、負傷者138名、全壊家屋371棟等の被害が発生したが、幸い死者はなかった。被害は、主に地震による揺れによるものであった。被害の範囲は、鳥取県、岡山県、香川県、兵庫県、島根県、広島県、徳島県、大阪府、和歌山県、山口県の1府9県である。</p>			
18	2001 (平成13) 年3月24日	M=6.7	東経 132° 41.6' , 北緯 34° 07.9'
芸予地震 安芸灘			
<p>15時27分、安芸灘の深さ51kmで発生し、広島県の河内町、大崎町、熊野町で震度6弱を観測したほか、広島、愛媛、山口県の一部で震度5強を観測した。この地震により、広島県呉市と愛媛県北条市でそれぞれ1名、計2名の方が亡くなった。この他、負傷者は、広島・愛媛・山口・島根・高知・福岡・岡山の7県の計261名、物的被害は、8県にのぼり、住家全壊48棟、半壊274棟、一部破損32,530棟等の被害があった(消防庁調べ)。また、報道によれば、廿日市市、広島市の海岸部で液状化現象が発生した。</p>			
19	2004 (平成16) 年9月5日	M=7.1	東経 136° 47.8' , 北緯 33° 01.9'
紀伊半島沖			
<p>19時07分、紀伊半島沖でM7.1の地震が発生し、奈良県下北山村、和歌山県新宮市で震度5弱を観測したほか、近畿地方を中心に、東北地方南部から九州地方にかけて震度1～4を観測した。この地震により、千葉県から高知県までの太平洋沿岸及び伊豆諸島、小笠原諸島で津波が観測された。観測された津波の高さは、串本町袋港で20時02分に34cmなどであった(検潮記録による)。この地震及び津波による被害は、負傷者6名であった。</p>			
20	2004 (平成16) 年9月5日	M=7.4	東経 137° 08.4' , 北緯 33° 08.2'
東海道沖			
<p>上記地震が発生した4時間50分後の9月5日23時57分、上記地震の東北東約30kmの東海道沖でM7.4の地震が発生した。この地震により、三重県の松阪市、香良洲町、奈良県下北山村、和歌山県新宮市で震度5弱を観測したほか、東北地方南部から九州地方にかけて震度1～4を観測した。検潮記録により観測された津波の高さは、串本町袋港で6日00時23分に86cm、那智勝浦町浦神で6日00時21分に61cmなどであった。この地震及び津波による被害は、負傷者36名、住家一部破損2棟などであった。</p>			
21	2004 (平成16) 年10月23日	M=6.8	東経 138° 52.0' , 北緯 37° 17.5'
新潟県中越地震 新潟県中越地方			
<p>17時56分、新潟県中越地方の深さ13kmでM6.8の地震が発生し、新潟県の川口町で震度7、小千谷市、山古志村、小国町で震度6強を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度1から5強を観測した。震度7が観測されたのは、気象庁が1949年に震度7の震度階級を設定してから2度目である(1度目は現地調査で判明した平成7年(1995年)兵庫県南部地震であり、計測震度計で震度7が観測されたのは、初めてである)。この地震により、死者40名、負傷者2,867名、住家全壊2,028棟、住家半壊4,430棟、住家一部破損42,429棟、建物火災9棟などの被害が発生した。和歌山県北部では震度1を観測した。</p>			

(出典：新編 日本被害地震総覧、日本被害津波総覧、地震・火山月報 (防災編))



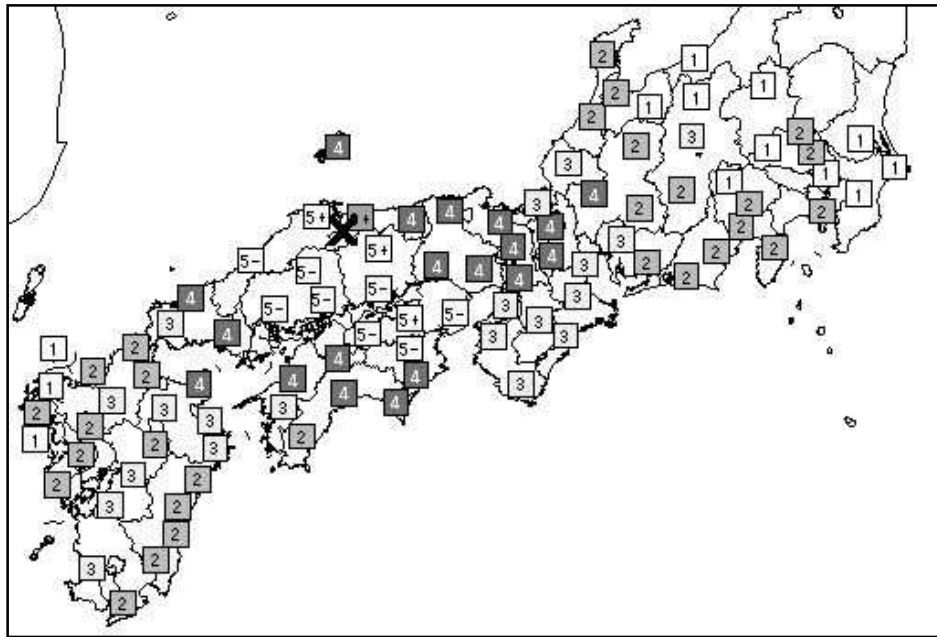
No. 15 1952年 吉野地震（震度分布）



No. 16 1995年 兵庫県南部地震・阪神淡路大震災（震度分布）

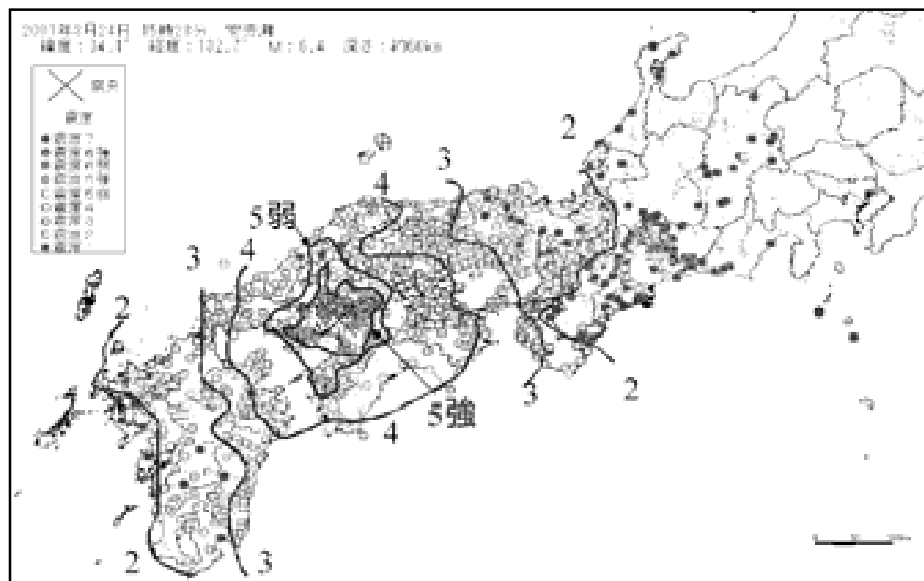
出典：新編日本被害地震総覧、日本被害津波総覧

図－6 由良町周辺における被害地震



No. 17 2000年 鳥取県西部地震（震度分布）

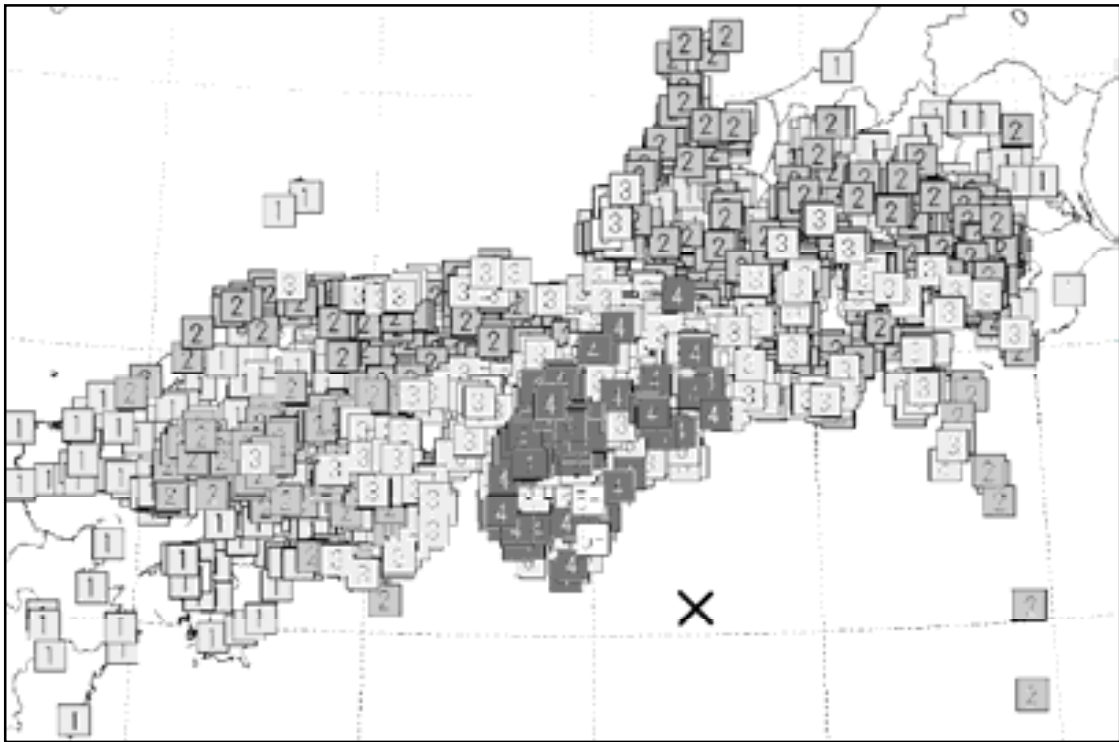
出典：大阪管区気象台HP (<http://www.osaka-jma.go.jp/jishinkazan/tottori.html>)



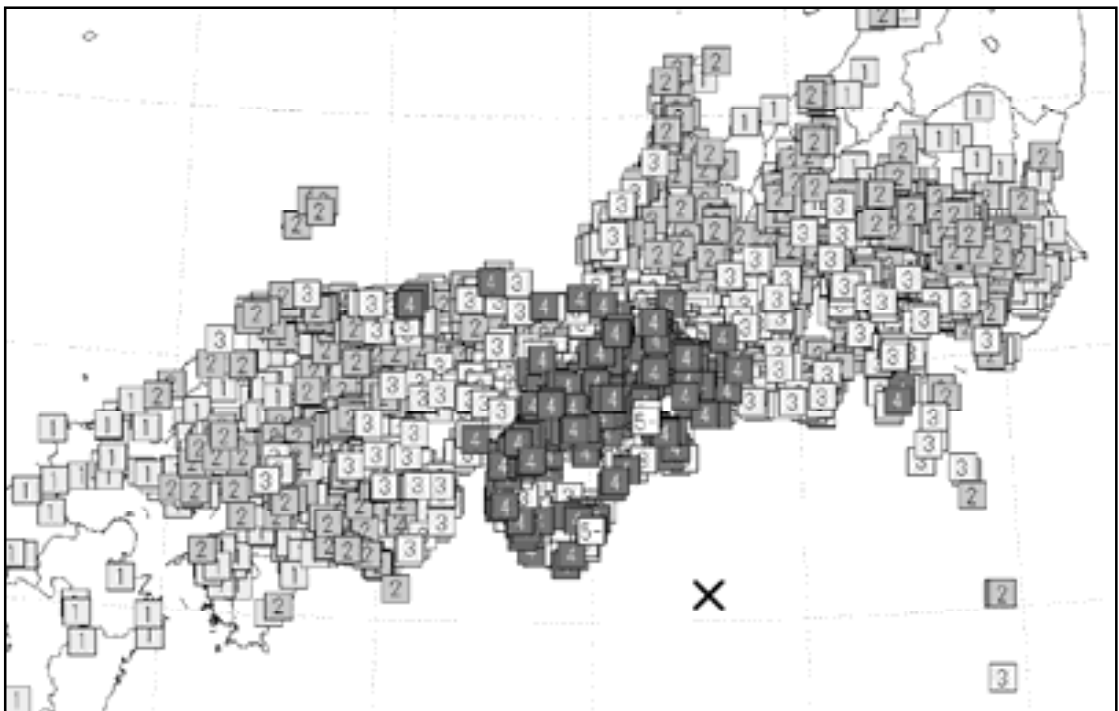
No. 18 2001年 芸予地震（震度分布）

出典：地震予知総合研究振興会HP (<http://www.adeq.or.jp/shindo/Screen/010324.akinada1.gif>)

図－7 由良町周辺における被害地震



No. 19 2004年 紀伊半島沖地震（震度分布）



No. 20 2004年 東海道沖地震（震度分布）

出典：平成16年9月地震・火山月報（防災編）

図－8 由良町周辺における被害地震

No.	発 生 年 月 日	地震の規模 (M)	震 央 位 置 (推 定)
被害の範囲			
地震に関する記録			
22	2007 (平成19) 年 3月25日	M=6.9	東経 136° 41.1′ , 北緯 37° 13.2′
能登半島地震 能登半島沖			
午前9時41分、能登半島沖の深さ11kmで地震が発生し、石川県輪島市、七尾市、穴水町で震度6強、志賀町、中能登町、能登町で震度6弱を観測したほか、北陸地方を中心に北海道から中国・四国地方にかけて震度5強～1を観測した。この地震により石川県を中心に富山県、新潟県、福井県で、死者1名、負傷者327名、住家全壊540棟、住家半壊826棟などの被害が生じた。和歌山県北部では震度2を観測した。			
23	2007 (平成19) 年 4月15日	M=5.4	東経 136° 24.4′ , 北緯 34° 47.4′
三重県中部			
午後0時19分、三重県中部の深さ16kmで地震が発生した。この地震により、負傷者13名 (うち重傷者3名)、住家の一部破損122棟等の被害が生じた (総務省消防庁による)。発震機構は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。本震の約2分前には、M3.2 (最大震度2) の前震が観測された。和歌山県北部では震度2を観測した。			
24	2007 (平成19) 年 7月16日	M=6.8	東経 138° 36.5′ , 北緯 37° 33.4′
新潟県中越沖地震 新潟県中越沖			
午前10時13分、新潟県上中越沖の深さ17kmで地震が発生し、新潟県柏崎市、刈羽村、長岡市、長野県飯綱町で震度6強、新潟県上越市、小千谷市、出雲崎町で震度6弱を観測したほか、北陸地方を中心に東北から近畿・中国地方にかけて震度5強～1を観測した。また、同日午後3時37分にも、新潟県上中越沖の深さ23kmでM5.8の地震が発生し、新潟県長岡市、出雲崎町で震度6弱を観測したほか、北陸地方を中心に東北から東海地方にかけて震度5強～1を観測した。 これらの地震により新潟県を中心に長野県、富山県で死者11名、負傷者1,987名、住家全壊1,109棟、住家半壊3,026棟などの被害が生じた。和歌山県北部では震度1を観測した。			
25	2009 (平成21) 年 8月11日	M=6.5	東経 138° 29.9′ , 北緯 34° 47.1′
駿河湾			
午前5時7分、駿河湾の深さ23kmで地震が発生し、静岡県伊豆市、焼津市、牧之原市、御前崎町で震度6弱を観測したほか、東海地方を中心に東北地方から中国・四国地方にかけて震度5強～1を観測した。この地震により静岡県を中心に東京都、神奈川県、長野県、愛知県で死者1名、負傷者318名などの被害が生じた。本震の発震機構は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ横ずれ成分を持つ逆断層型で、フィリピン海プレート内で発生した地震である。和歌山県北部では震度1を観測した。			
26	2011 (平成23) 年 3月11日	M=9.0	東経 142° 51.6′ , 北緯 38° 06.2′
東北地方太平洋沖地震 三陸沖			
午後2時46分、三陸沖 (牡鹿半島の東南東、約130km付近) の深さ約24kmで地震が発生し、宮城県栗原市で震度7、宮城県涌谷町、登米市など、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県28市町村で震度6強を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6弱～震度1を観測した。和歌山県北部では震度2を観測した。 この地震により岩手県や宮城県を中心に22都道県で死者15,889人、行方不明者2,594人、重軽傷者6,152人、建物の全半壊401,566棟の被害が生じた。(2014年12月10日現在 警察庁緊急災害警備本部調べ) 地震発生直後より和歌山県を含む太平洋沿岸を中心の広い範囲で津波警報 (大津波) が発令され、震源に近い宮古や大船渡では8mを超える津波を観測した。和歌山県内では串本町、那智勝浦町、すさみ町等の18市町村に避難勧告・避難指示が出され、串本町袋港では最大波1.5m、那智勝浦町浦神では最大波1.2mの津波が観測された。			
27	2011 (平成23) 年 3月15日	M=6.4	東経 138° 42.8′ , 北緯 35° 18.5′
静岡県東部			
午後10時31分、静岡県東部の深さ約14kmで地震が発生し、静岡県富士宮市で震度6強を観測したほか、東北地方から中国地方にかけて震度5強～震度1を観測した。和歌山県北部では震度1を観測した。 この地震により静岡県と山梨県で重軽傷者52名、住家一部損壊536棟の被害が生じた。			
28	2011 (平成23) 年 7月5日	M=5.5	東経 138° 12.0′ , 北緯 34° 00.0′
和歌山県北部			
午後7時18分、和歌山県北部の深さ約10kmで地震が発生し、和歌山県広川町広、日高川町高津尾で震度5強を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度5弱～震度1を観測した。 この地震により広川町などで住家一部損壊21棟の被害が生じた			

(出典：新編 日本被害地震総覧、日本被害津波総覧、地震・火山月報 (防災編))



No. 22 2007年 能登半島地震（震度分布）
出典：平成19年3月 地震・火山月報（防災編）

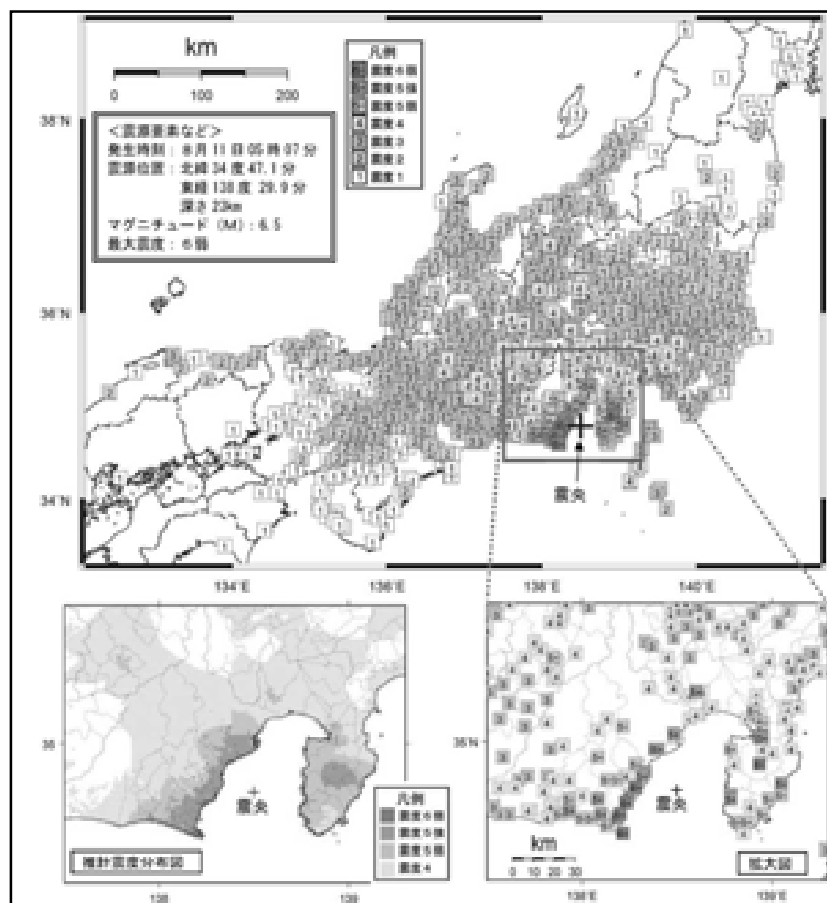


No. 23 2007年 三重県中部地震（震度分布）
出典：平成19年4月 地震・火山月報（防災編）

図－9 由良町周辺における被害地震

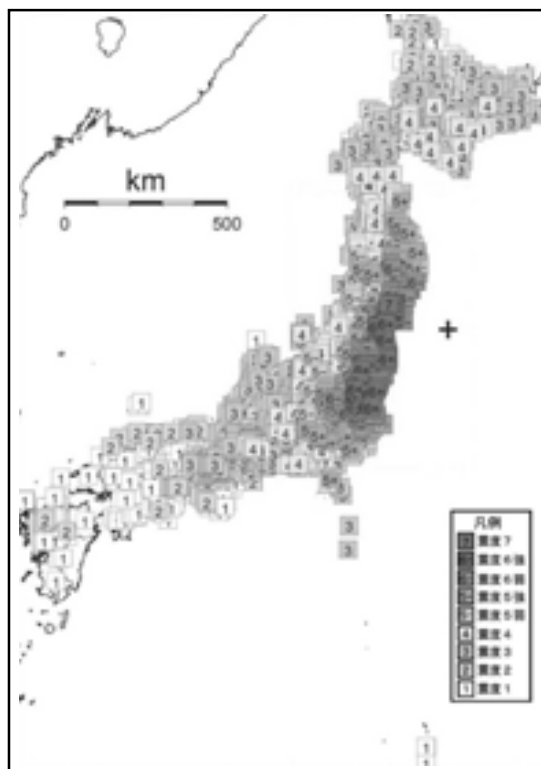


No. 24 2007年 新潟県中越沖地震（震度分布）
出典：平成19年7月 地震・火山月報（防災編）

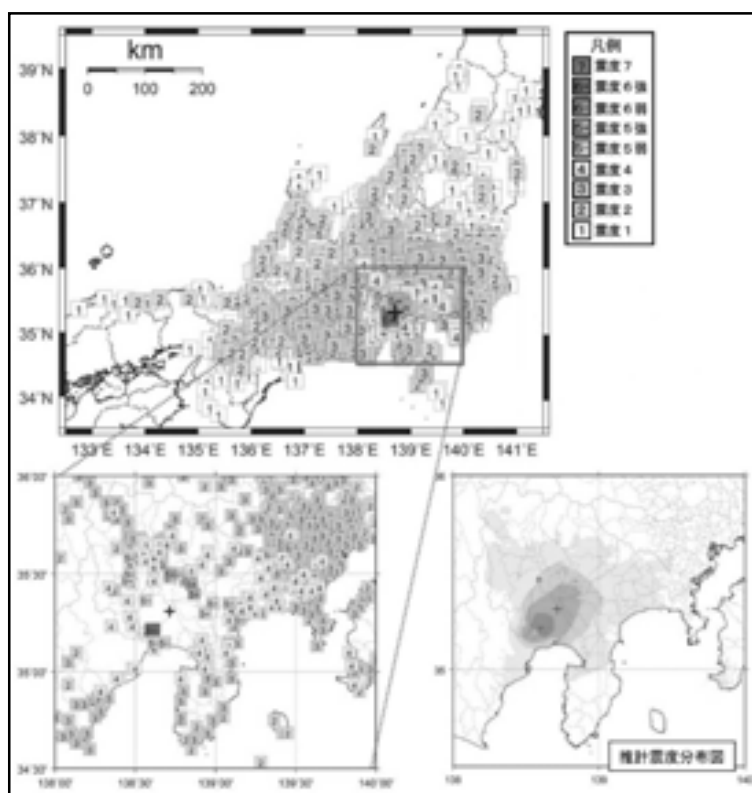


No. 25 2009年 駿河湾地震（震度分布）
出典：平成21年8月 地震・火山月報（防災編）

図-10 由良町周辺における被害地震



No. 26 2011年 東北地方太平洋沖地震（震度分布）
出典：平成23年3月 地震・火山月報（防災編）



No. 27 2011年 静岡県東部地震（震度分布）
出典：平成23年3月 地震・火山月報（防災編）

図-11 由良町周辺における被害地震



No. 28 2011年 和歌山県北部地震（震度分布）

出典：気象庁報道発表資料「平成23年7月5日19時18分頃の和歌山県北部の地震について」

図-12 由良町周辺における被害地震

(平成 21 年 3 月 31 日)

気象庁震度階級関連解説表

使用にあたっての留意事項

- (1) 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- (2) 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- (3) 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の 1 回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- (4) この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- (5) この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5 年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- (6) この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに	極めて少ない。めったにない。
わずか	数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。
大半	半分以上。ほとんどよりは少ない。
ほとんど	全部ではないが、全部に近い。
が（も）ある、 が（も）いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

出典：「気象庁震度階級の解説」気象庁（平成21年3月）

●人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

出典：「気象庁震度階級の解説」気象庁（平成21年3月）

震度階級関連解説表の「木造建物(住宅)の状況」に絵を加え、被害の状況をイメージしやすくしたものです。

● 木造建物(住宅)の状況

震度階級	木造建物(住宅)	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
		軽微なひび割れ・亀裂 
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
		軽微なひび割れ・亀裂 ひび割れ・亀裂 
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
	軽微なひび割れ・亀裂 	大きなひび割れ・亀裂 傾く 倒れる 
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。傾くものや、倒れるものが多くなる。
	軽微なひび割れ・亀裂 ひび割れ・亀裂 	大きなひび割れ・亀裂 傾く 倒れる 
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
	軽微なひび割れ・亀裂 ひび割れ・亀裂 大きなひび割れ・亀裂 	傾く 倒れる 

(注 1) 木造建物(住宅)の耐震性により2つに分けた。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和56年(1981年)以前は耐震性が低く、昭和57年(1982年)以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁(割り竹下地)、モルタル仕上壁(ラス、金網下地を含む)を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注 3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

(注 4) この表中のイラストは、DATS(Damage Assessment Training System)の被害認定用パターンチャートを基に、一部加筆した。

(注 5) なお、図は特定の構法(在来軸組木造)を前提に、比較的多く見られる被害状態を模式的に描いたもので、これとは異なる被害状態となることもある。

出典：「気象庁震度階級の解説」気象庁(平成21年3月)

● 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	—	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

(注 1) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和 56 年(1981 年)以前は耐震性が低く、昭和 57 年(1982 年)以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

● 地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5弱	亀裂※ ¹ や液状化※ ² が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5強		
6弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある※ ³ 。
7		

※¹ 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※² 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※³ 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

出典：「気象庁震度階級の解説」気象庁（平成21年3月）

● ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まることもある※。
断水、停電の発生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある※。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。 そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度6強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

● 大規模構造物への影響

長周期地震動※による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長いと、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらなると、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることもある。

出典：「気象庁震度階級の解説」気象庁（平成21年3月）

資料 1 - 3 〔平成 18 年公表〕和歌山県地震被害想定結果

本想定は、平成 16 年度、平成 17 年度に和歌山県が実施した「和歌山県地震被害想定調査」及び「和歌山県津波被害予測計算結果」に基づき、本町域における物的被害や人的被害、津波浸水予測、また社会活動に関わる影響について記述したものである。

1 被害想定的前提条件

(1) 想定地震

想定する地震は、本町に大きな影響を及ぼすと考えられる以下の地震とする。

① 東海・東南海・南海地震同時発生

(以下「東海・東南海・南海地震」という)

② 和歌山県内の中央構造線断層帯を起震断層とする地震

(以下「中央構造線による地震」という)

③ 田辺市付近直下を震源とする地震

(以下「田辺市内陸直下の地震」という)

(2) 時刻及び季節

季節あるいは時刻が被害予測に大きい影響を与える火災や人的被害を検討するため、時刻及び季節について、以下の 3 とおりの組み合わせで予測を行った。

① 冬 5 時：多くの人々が自宅で就寝中であり、火気の使用が少ない時間帯

② 冬 18 時：炊事や暖房で火気の使用頻度が高くなる季節・時間帯

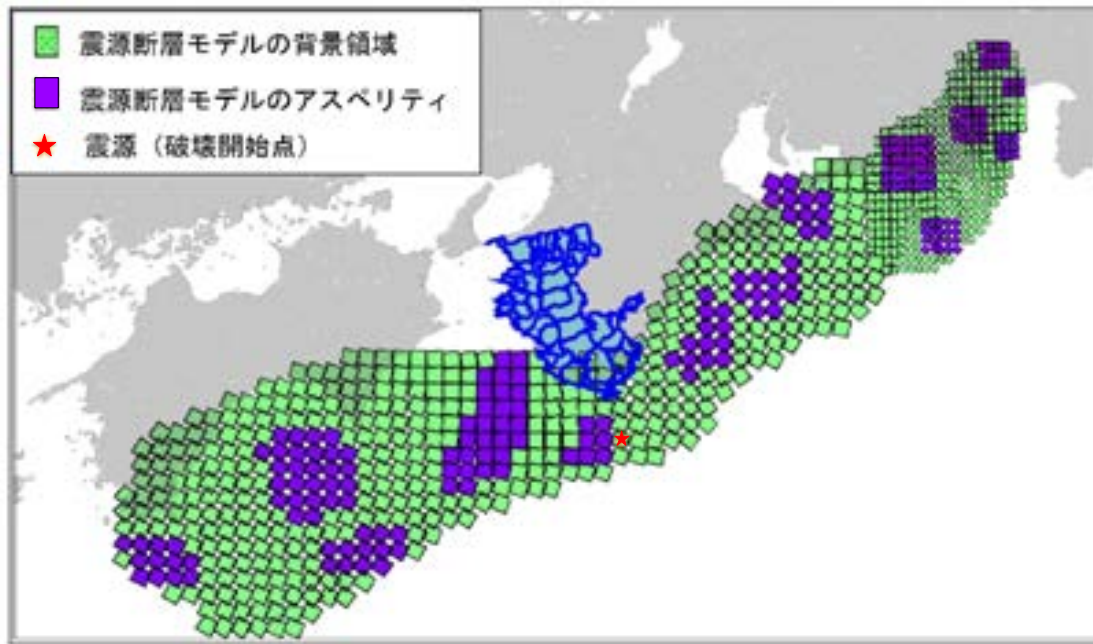
③ 夏 12 時：海岸沿いには多くの海水浴客が集まり、市街地などにも通勤・通学している人や買い物客等が集まっている季節・時間帯

【想定地震】

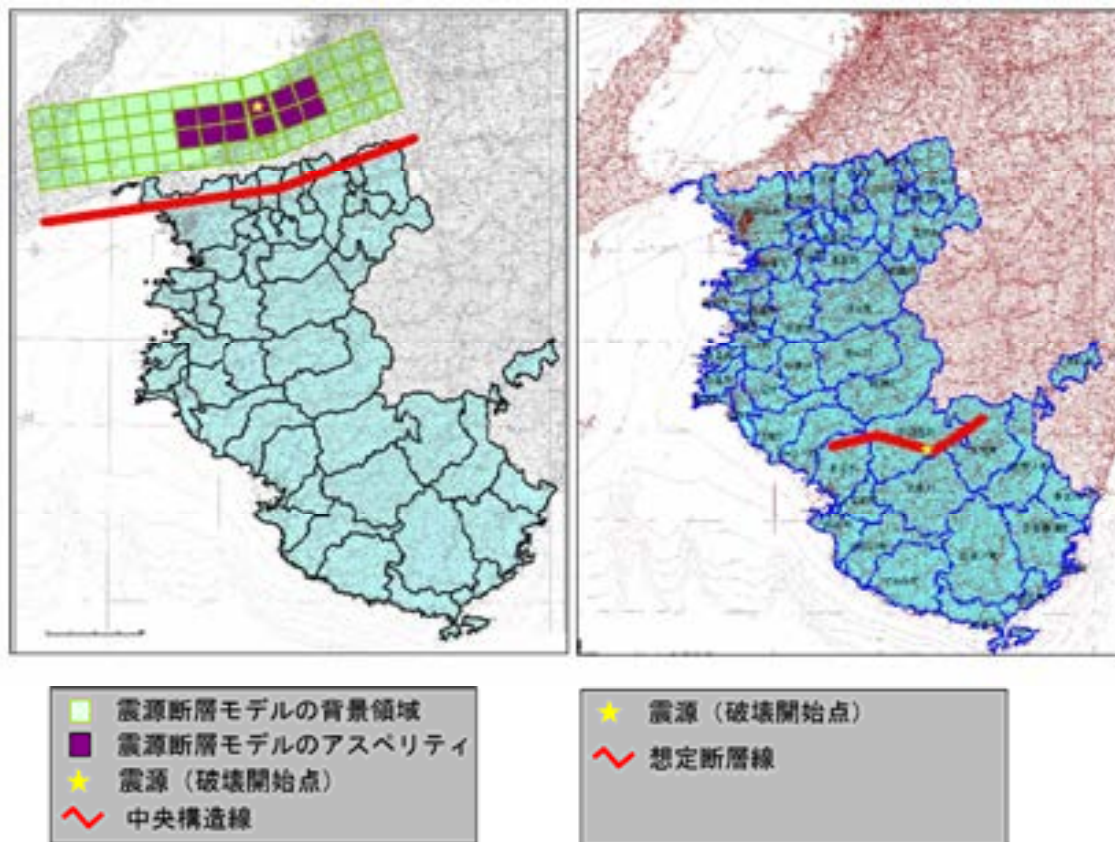
	想定地震 1 東海・東南海・南海地震	想定地震 2 中央構造線による地震	想定地震 3 田辺市内陸直下の地震
地震の規模 (マグニチュード)	8.6相当	8.0相当	6.9相当
震源断層の位置	駿河トラフ～ 南海トラフ	中央構造線 (淡路島南沖～ 和歌山・奈良県境付近)	田辺市～本宮町
震源断層の深さ	約10～30km	4～14km	4～12.6km

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成 18 年 3 月）

【東海・東南海・南海地震における想定震源断層モデルの位置】



【中央構造線による地震における想定震源断層モデルの位置 (左) と 田辺市内陸直下の地震における想定震源断層モデルの位置 (右)】



出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成 18 年 3 月）

(注) アスペリティ：通常は地盤が強く固着しているが、ある時に急激にずれて地震波を出す領域のうち、周囲に比べてとくにすべり量が多い領域のことをいう。

1 震度予測

震度予測を行った3ケースの地震のうち、南海トラフを起因とする東海・東南海・南海地震が最も大きく、町全域が想定震度5強以上と予測される。なかでも、由良川の河口部付近では、想定震度6強と予測されかなり高い震度域になると考えられる。

【震度予測結果】

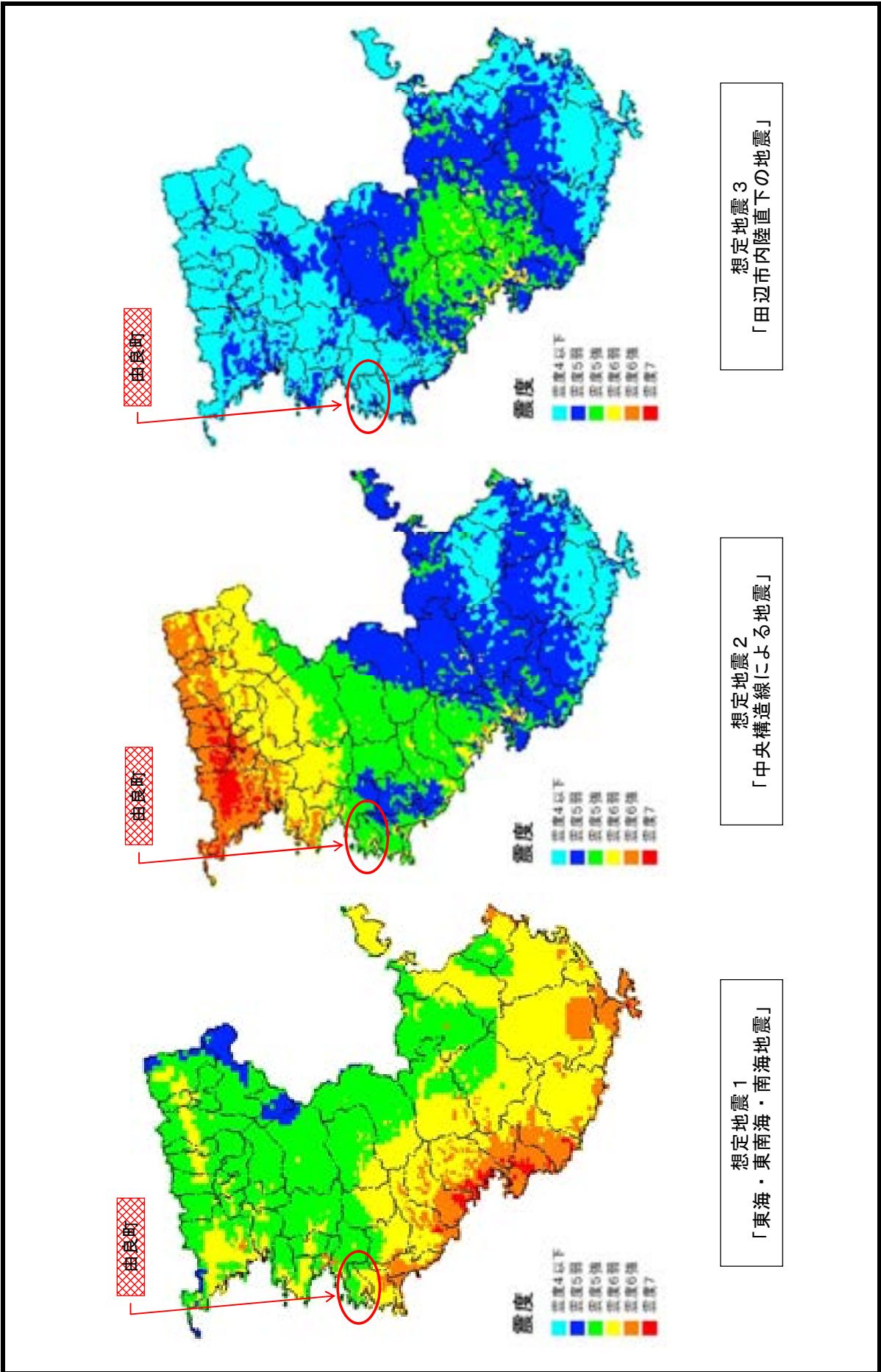
震源断層	地震の種別	マグニチュード	本町域内の震度
想定地震1「東海・東南海・南海地震」	海溝型地震	M8.6	5強～6強
想定地震2「中央構造線による地震」	直下型地震	M8.0	5強～6弱
想定地震3「田辺市内陸直下の地震」		M6.9	4以下～5弱

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成18年3月）

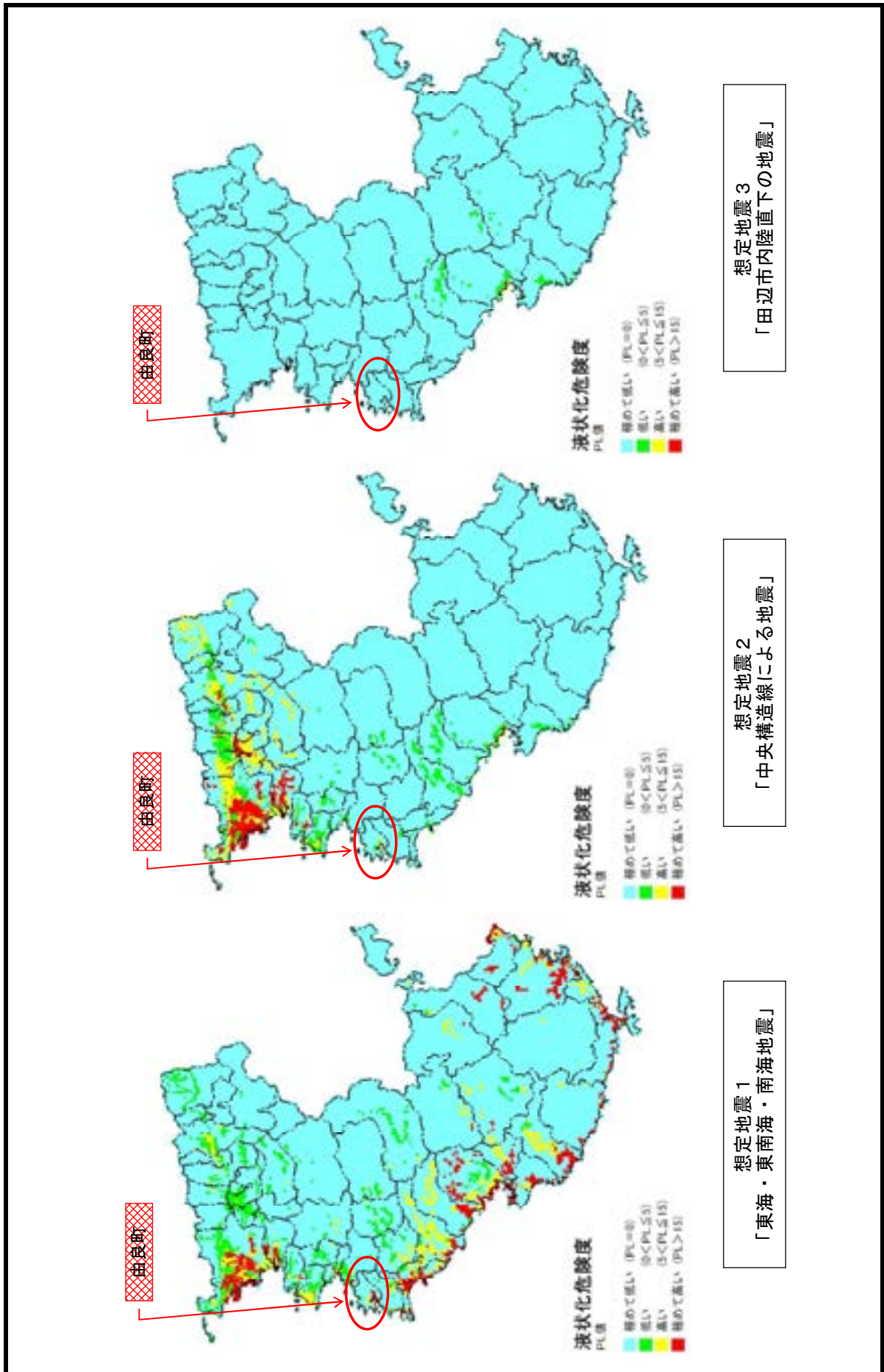
2 液状化予測

地盤液状化に関して、本町で起こり得る危険性のある地域は、地形の大区分での低地、人工改変地（埋立地）に相当する部分であり由良港沿岸部の人工改変地及び由良川の河口部付近では、液状化危険度は極めて高いと予想される。

今後大きな地震が発生した場合、地盤液状化の発生も念頭に入れておかなければならない。



【震度分布図】



【液状化危険度分布図】

3 がけ崩れ予測

本町の集落は、山地に挟まれた低地に立地しているため、土砂災害の危険性は一般に高いといえる。特に三尾川、大引などでは斜面上に集落が立地しており、すぐ背後に斜面がせまる。

がけ崩れによる全壊棟数は、想定地震1「東海・東南海・南海地震」による被害が最も大きく、全壊棟数が約7棟、がけ崩れによる死者数は、約1人と予想される。

【がけ崩れ予測結果】

震源断層	がけ崩れによる全壊 [棟]	がけ崩れによる死者数 [人]
想定地震1「東海・東南海・南海地震」	7	1
想定地震2「中央構造線による地震」	3	0
想定地震3「田辺市内陸直下の地震」	0	0

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成18年3月）

4 建物被害予測

想定地震1「東海・東南海・南海地震」による被害が最も大きく、地震動による全壊棟数が約1,097棟、津波による全壊棟数が約868棟と予測される。被害は、木造建築の比率が高い旧来からの集落と軟弱地盤地域に集まる傾向がある。とくに、網代地区付近に被害が集中すると予想される。

【建物被害予測結果】

震源断層	地震動による 全壊[棟]	液状化による 全壊[棟]	がけ崩れによる 全壊[棟]	津波による 全壊[棟]
想定地震1「東海・東南海・南海地震」	1,097	40	7	868
想定地震2「中央構造線による地震」	72	12	3	—
想定地震3「田辺市内陸直下の地震」	0	0	0	—

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成18年3月）

5 火災被害予測

想定地震1「東海・東南海・南海地震」による被害が最も大きく、地震時に発生するすべての出火となる全出火件数が約4件、初期消火では消せずに出火元の建物が炎上する炎上出火件数が約2件、次に初期消火によって消すことが出来なかった出火（炎上出火）について、消防による消火活動でも消すことが出来ず、周囲に延焼し焼失する棟数が約50棟と予測される。

【火災被害予測結果（冬18時）】

震源断層	全出火件数 [件]	炎上出火件数 [件]	焼失棟数 [棟]
想定地震1「東海・東南海・南海地震」	4	2	50
想定地震2「中央構造線による地震」	1	1	0
想定地震3「田辺市内陸直下の地震」	0	0	0

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成18年3月）

6 人的被害予測

死者数は、想定地震1「東海・東南海・南海地震」による被害が最も多く、建物倒壊、津波、がけ崩れ、火災の各種要因をあわせた死者数の合計値は、約40人～43人と予測され、季節時刻別にみると自宅で就寝中の早朝5時の時間帯や火気の使用頻度が高くなる冬季夕方18時の時間帯は、被害が大きくなると予想される。

【人的被害予測結果（死者数）】

震源断層	死者数[人] 各種要因の 合計値 (冬5時)	死者数[人] 各種要因の 合計値 (冬18時)	死者数[人] 各種要因の 合計値 (夏12時)
想定地震1「東海・東南海・南海地震」	43	42	40
想定地震2「中央構造線による地震」	4	3	2
想定地震3「田辺市内陸直下の地震」	0	0	0

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成18年3月）

負傷者数（重傷者・中等傷者）についても、地震の規模が大きい想定地震1「東海・東南海・南海地震」による被害が最も多くなると予測される。

自宅で就寝中の早朝5時の時間帯は、被害が最も大きくなると予想される。

負傷者区分の定義

*重傷者：入院を要する負傷者。

*中等傷者：入院を要しないが医師による治療が必要な負傷者。

【人的被害予測結果（負傷者数）】

震源断層	負傷者数[人] 各種要因の 合計値 (冬5時)	負傷者数[人] 各種要因の 合計値 (冬18時)	負傷者数[人] 各種要因の 合計値 (夏12時)
想定地震1「東海・東南海・南海地震」	143	104	82
想定地震2「中央構造線による地震」	41	30	25
想定地震3「田辺市内陸直下の地震」	0	0	0

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成18年3月）

7 避難者の予測

想定地震1「東海・東南海・南海地震」による被害が最も大きく、冬季夕方の18時に地震が発生すると約2,978人の避難所生活者数（ピーク時）が予測される。したがって、予測では本町の人口7,179人（平成17年国勢調査）の約41.5%が避難所生活を強いられることとなる。

【避難者の予測結果（ピーク時避難所生活者数）】

震源断層	ピーク時 避難所 生活者数[人] (冬5時)	ピーク時 避難所 生活者数[人] (冬18時)	ピーク時 避難所 生活者数[人] (夏12時)
想定地震1「東海・東南海・南海地震」	2,971	2,978	2,966
想定地震2「中央構造線による地震」	1,373	1,373	1,373
想定地震3「田辺市内陸直下の地震」	2	2	2

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成18年3月）

【由良町の地震被害想定結果一覧表】

想定地震		想定地震1 東海・東南海・南海地震 同時発生	想定地震2 中央構造線 の地震	想定地震3 田辺市内陸直下 の地震
前提	地震の規模 (マグニチュード)	M8.6	M8.0	M6.9
	季節及び時間	※冬5時、冬18時、夏12時のうち最大値と最小値を表示。		
想定震度		5強～6強	5強～6弱	4以下～5弱
建物被害	全壊・焼失数(注)	1,076 棟 ～ 1,097 棟	72 棟	0 棟
	揺れ	276 棟	57 棟	0 棟
	液状化	40 棟	12 棟	0 棟
	がけ崩れ	7 棟	3 棟	0 棟
	津波	868 棟	—	—
	火災	0 棟 ～ 50 棟	0 棟	0 棟
人的被害	死者数(注)	40 人 ～ 43 人	2 人 ～ 4 人	0 人
	建物倒壊	9 人 ～ 16 人	2 人 ～ 3 人	0 人
	津波	26 人 ～ 31 人	—	—
	がけ崩れ	1 人	0 人	0 人
	火災	0 人	0 人	0 人
	負傷者数	82 人 ～ 143 人	25 人 ～ 41 人	0 人
交通輸送	道路施設(箇所数)	8 箇所	5 箇所	1 箇所
施設被害	鉄道施設(箇所数)	10 箇所	6 箇所	1 箇所
生活支障	断水人口(地震直後)	7,188 人	3,928 人	0 人
	停電人口(地震直後)	7,625 人	5,369 人	27 人
	一般電話機能支障人口	7,625 人	394 人	0 人
	ピーク時避難所生活者数	2,966 人 ～ 2,978 人	1,373 人	2 人
	帰宅困難者数	0 人 ～ 157 人	0 人 ～ 157 人	0 人 ～ 157 人

(注) 重複処理を行っているため、要因別の合計とは一致しない。

出典：和歌山県地震被害想定調査報告書（平成 18 年 3 月）

資料 1 - 4 重要水防箇所（知事管理）

番号	水系名	河川名	左右岸	重要水防箇所		重要度	備考
				場所	延長(m)		
1	由良川	由良川	左	JR橋上流50m ~ 里(国道橋)	3,000	A	
2	〃	〃	右	〃	3,000	A	
3	前田川	前田川	左	上出池 ~ 美奈登橋	1,200	A	
4	〃	〃	右	〃	1,200	A	

注) 重要水防箇所（知事管理河川）の重要度

河川の流量、当該箇所の背後地の状況及び河川施設（堤防、護岸等）の状況等から、洪水の危険度、人命財産等の影響範囲、水防活動の必要度等を総合的に考慮し、次のとおり定める。

(A) 最も重要と思われる箇所

(B) 次に重要と思われる箇所

(要注意) 注意が必要と思われる箇所

出典：和歌山県地域防災計画資料編（令和元年度修正版）

資料 1-5 防災重点ため池一覧

(令和2年3月現在)

番号	ため池名	所在地	浸水想定 面積 (ha)	堤高 (m)	堤長 (m)	満水面積 (ha)	総貯水量 (m ³)
1	戸津井坂池	衣奈	—	5.2	20.0	0.01	140
2	粟飯谷池	衣奈	2.7	10.0	22.0	0.15	5,000
3	法華寺池	衣奈	3.6	7.0	37.0	0.11	3,000
4	上出池	衣奈	6.7	9.0	90.0	0.50	12,000
5	長谷池	衣奈	1.4	7.0	43.0	0.14	3,000
6	上衣奈代池	衣奈	3.7	10.9	54.0	0.20	5,000
7	御影池	衣奈	3.8	10.0	35.0	0.03	660
8	小池	小引	1.9	7.0	70.0	0.06	2,000
9	田津原池	大引	6.4	13.0	78.0	0.29	9,600
10	岩井谷池	大引	3.0	9.0	50.0	0.20	5,880
11	峠溜池	神谷	—	7.5	35.0	0.19	3,590
12	寺谷池	神谷	1.1	11.3	40.0	0.12	5,090
13	三宅谷池	吹井	—	8.0	25.0	0.17	3,560
14	奥谷池	吹井	5.5	7.5	73.0	0.56	10,500
15	南坪池	江ノ駒	—	4.6	14.0	0.01	210
16	大谷池	江ノ駒	4.8	9.0	83.0	0.22	7,000
17	白木池	阿戸	2.1	8.0	33.0	0.14	4,000
18	西谷池	阿戸	5.7	8.5	53.0	0.60	24,000
19	真谷池	里	—	9.0	35.0	0.15	4,900
20	寺田池	里	6.3	10.0	76.0	1.00	51,200
21	寺田小池	里	—	4.0	30.0	0.22	2,770
22	水谷小池	門前	—	4.0	20.0	0.01	130
23	水谷池	門前	14.2	12.7	91.4	0.46	23,000
24	東谷池	門前	9.0	6.1	51.0	0.08	2,000
25	小山三池	門前	—	3.0	20.0	0.02	300
26	畦地池	門前	6.3	4.4	47.0	0.17	3,000
27	大門池	門前	—	4.0	24.0	0.02	500
28	鍛冶屋池	門前	2.9	7.9	40.0	0.15	4,500
29	天神池	門前	2.6	3.8	150.0	0.38	7,000
30	田首池	中	—	5.0	30.0	0.20	2,000
31	白倉池	中	37.5	13.0	95.0	1.04	45,000
32	種田原池	中	—	4.0	25.0	0.10	1,000
33	森口池 (畑1011)	畑	—	5.5	30.0	0.02	330
34	森口池 (畑1406-3)	畑	—	2.0	8.0	0.01	100
35	橋谷池	畑	—	4.7	47.0	0.03	1,190
36	角前池	畑	—	4.5	14.0	0.03	200
37	山本池	畑	1.4	3.4	25.0	0.03	300
38	栗谷池	畑	32.5	14.8	100.0	1.17	47,000
39	橋立池	畑	—	6.7	28.0	0.10	1,600

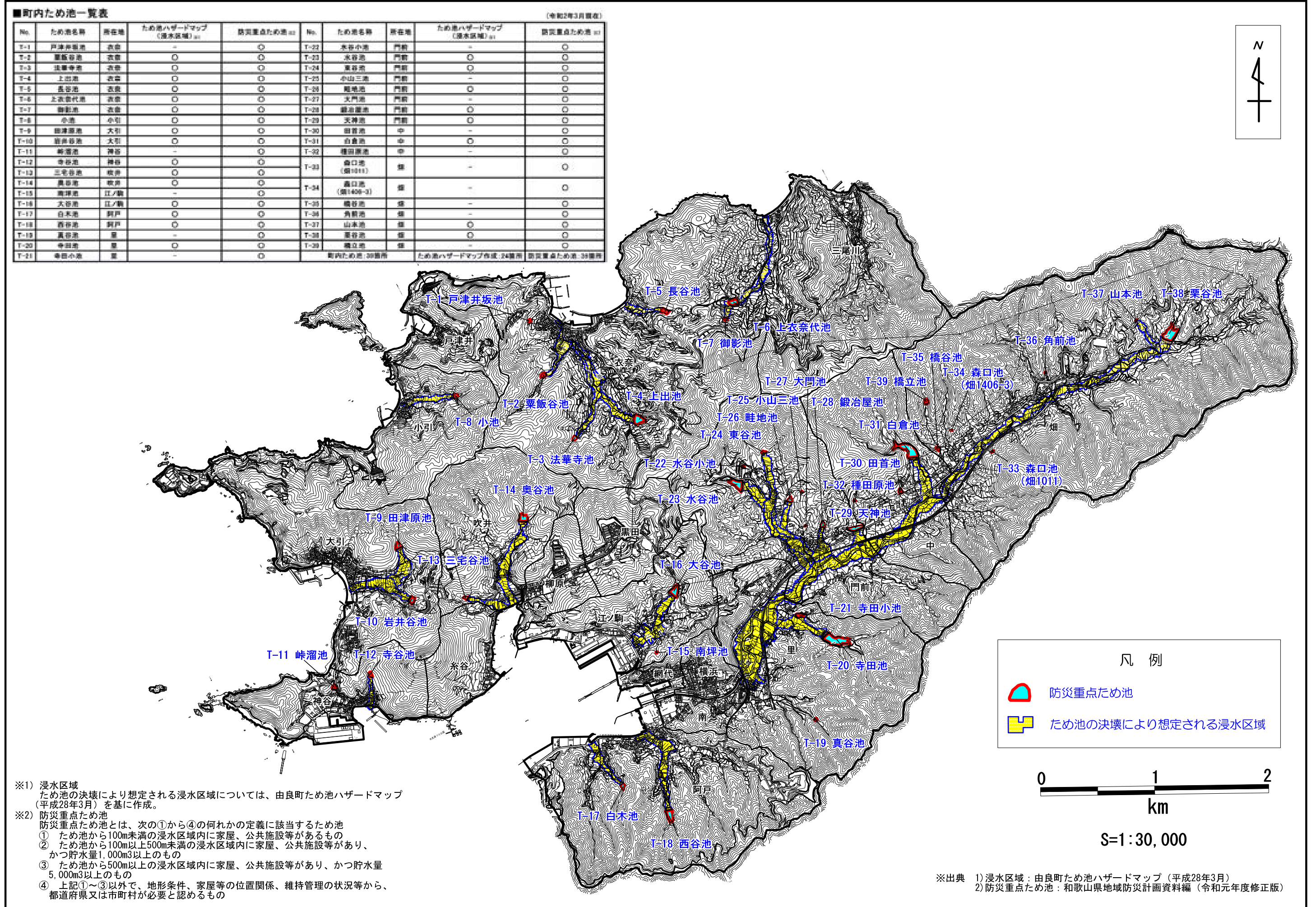
出典:和歌山県地域防災計画資料編(令和元年度修正版)

注) 防災重点ため池

防災重点ため池とは、次の①から④の何れかの定義に該当するため池

- ① ため池から100m未満の浸水区域内に家屋、公共施設等があるもの
- ② ため池から100以上500m未満の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量1,000m³以上のもの
- ③ ため池から500m以上の浸水区域内に家屋、公共施設等があり、かつ貯水量5,000m³以上のもの
- ④ 上記①～③以外で、地形条件、家屋等との位置関係、維持管理の状況等から、都道府県又は市町村が必要と認めるもの

資料1-6 町内ため池位置図



資料 1-7 (1) 防災上の配慮を要する者が利用する施設〔土砂災害警戒区域等内〕

施設の区分	施設の名称	所在地	電話番号	土砂災害防止法に基づく基礎調査		避難確保計画の有無	避難場所名称	緊急避難場所 安全レベル 【風水害】
				警戒区域の指定状況	災害の現象、箇所番号			
社会福祉施設	由良あかつき園	吹井130	65-1230	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊 (IV-002)	○	白崎会館	☆☆☆
				土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊 (IV-003) 土石流 (5-383-1-019、5-383-1-020、 5-383-1-021、5-383-1-022-1、 5-383-1-022-2、5-383-1-023、 5-383-1-024) 地すべり (358)			
	由良みのり園	吹井949	65-2660	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊 (IV-004)	○	白崎会館	☆☆☆
				土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-1-018、5-383-1-020) 地すべり (358)			
	地域福祉センター	吹井80-88	65-3500	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊 (I-3959)	○	白崎会館	☆☆☆
				土砂災害警戒区域	地すべり (358)			
	特別養護老人ホーム ゆら博愛園	吹井910-1	35-2500	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊 (I-3958)	○	白崎会館	☆☆☆
				土砂災害警戒区域	地すべり (358)			
デイサービスセンター えなの家	衣奈685	70-0200	土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-2-002、5-383-2-003)		旧衣奈中学校2階	☆☆	
			土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-1-037、5-383-1-902)				
保育所	ゆらこども園	畑162-3	65-2050	土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-1-016)		畑農業会館2階	☆☆
				土砂災害警戒区域	地すべり (358)			
学校	白崎小学校	大引64	65-0509	土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-1-016)		白崎小学校2階以上	☆☆
				土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-1-005、5-383-1-006)			
学校	衣奈小学校	衣奈230	66-0201	土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-1-005、5-383-1-006)		衣奈小学校2階以上	☆☆
				土砂災害警戒区域	土石流 (5-383-1-005、5-383-1-006)			

資料 1-7 (2) 防災上の配慮を要する者が利用する施設〔津波災害警戒区域内〕

施設の区分	施設の名称	所在地	電話番号	基準水位 (m) 〔最小～最大〕	避難確保 計画の 有無	避難場所名称	緊急避難場所 安全レベル 【津波】
社会福祉施設	デイサービスほのか	里248-1	52-7656	6.3 〔6.2～6.3〕		国道上	☆☆☆
	由良小学校	里166	65-0058	4.8 〔4.5～4.8〕		興国寺	☆☆☆
学校	白崎小学校	大引64	65-0509	4.6 〔3.7～4.6〕		農免道路登り口	☆☆☆
	衣奈小学校	衣奈230	66-0201	6.0 〔2.0～6.0〕		旧衣奈中学校	☆☆☆
	由良中学校	阿戸708-1	65-0049	6.4 〔5.8～6.4〕		阿戸消防車庫付近	☆☆☆
	竹内医院	里274-1	65-0075	5.5 〔5.0～5.5〕		裏山1-⑤ (宇佐八幡神社裏)	☆☆☆
病院	玉置クリニック	里349-1	65-1511	2.2 〔1.2～2.2〕		国道上	☆☆☆

※1 津波における避難は、各自の最善を尽くしてより高く、より遠いところに避難するものとし、その際には、原則として安全レベル3(☆☆☆)を目指すこと。

※2 基準水位(m)は、津波が建物等に衝突した際のせり上がりを考慮したもので、地盤面からの高さ(水深)を示す。

※3 県より公表された基準水位(m)は、建物周辺で想定される最も高い地点の基準水位数値を使用する。

資料 1 - 8 土砂災害警戒区域等一覧

土石流

(その1)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
1	三尾川	5-383-1-001	里山谷				
2	三尾川	5-383-1-002	西原谷				
3	三尾川	5-383-2-001	勢ヶ谷				
4	衣奈	5-383-1-003	長谷池谷	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
5	衣奈	5-383-1-004	長谷池谷左支溪	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
6	衣奈	5-383-1-005	栗谷川	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
7	衣奈	5-383-1-006	前田川左支溪	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
8	衣奈	5-383-1-007	衣奈1	平成27年9月4日	第1033号		
9	衣奈	5-383-2-002	前田川右支溪	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
10	衣奈	5-383-2-003	前田川右支溪	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
11	戸津井	5-383-1-008-1	中筋谷				
12	戸津井	5-383-1-008-2	中筋谷				
13	小引	5-383-1-009	小引1	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
14	小引	5-383-1-010	小引2	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
15	小引	5-383-1-011	小引3	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
16	小引	5-383-1-012	小引4	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
17	大引	5-383-1-013	大引1	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
18	大引	5-383-1-014	大引2	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
19	大引	5-383-1-015-1	大引3	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
20	大引	5-383-1-015-2	大引3	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
21	大引	5-383-1-015-3	大引3	平成28年10月11日	第1160号		
22	大引	5-383-1-016	大引4	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
23	神谷	5-383-1-017	寺谷				
24	吹井	5-383-1-018	本川右支溪6	平成22年5月21日	第589号		
25	吹井	5-383-1-019	本川右支溪5	平成22年5月21日	第589号		
26	吹井	5-383-1-020	本川右支溪4	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
27	吹井	5-383-1-021	本川右支溪3	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
28	吹井	5-383-1-022-1	本川右支溪1	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
29	吹井	5-383-1-022-2	本川右支溪2	平成22年5月21日	第589号		
30	吹井	5-383-1-023	本川左支溪1	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
31	吹井	5-383-1-024	本川左支溪2	平成22年5月21日	第589号		
32	吹井	5-383-2-004	本川右支溪10	平成22年5月21日	第589号		
33	吹井	5-383-2-005	本川右支溪11	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
34	吹井	5-383-4-002-1	本川右支溪7	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
35	吹井	5-383-4-002-2	本川右支溪8	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
36	吹井	5-383-4-003	本川右支溪9	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
37	江ノ駒	5-383-1-025	江ノ駒1				
38	網代	5-383-1-026	由良川右支溪				
39	網代	5-383-1-027	由良川右支溪				
40	里	5-383-1-028	由良川右支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。

土石流

(その2)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
41	里	5-383-1-029-1	由良川右支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
42	里	5-383-1-029-2	由良川右支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
43	里	5-383-1-041	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
44	里	5-383-1-042	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
45	里	5-383-1-043	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
46	里	5-383-1-044-1	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
47	里	5-383-1-044-2	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
48	里	5-383-1-045	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
49	里	5-383-1-046	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
50	里	5-383-1-047	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
51	里	5-383-1-048	由良川左支溪	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
52	里	5-383-1-901	由良川右支溪101	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
53	里	5-383-2-901	由良川左支溪102	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
54	阿戸	5-383-1-049	大谷川左支溪				
55	阿戸	5-383-1-050	西谷川左支溪				
56	阿戸	5-383-1-051	池奥谷				
57	阿戸	5-383-1-052	白木川				
58	阿戸	5-383-2-021	大谷川左支溪				
59	門前	5-383-1-030-1	由良川右支溪				
60	門前	5-383-1-030-2	由良川右支溪				
61	門前	5-383-1-031	由良川右支溪				
62	門前	5-383-1-032-1	由良川右支溪				
63	門前	5-383-1-032-2	由良川右支溪				
64	門前	5-383-1-033	由良川右支溪				
65	門前	5-383-1-034	由良川右支溪				
66	門前	5-383-2-006	由良川右支溪				
67	門前	5-383-2-016-1	由良川左支溪				
68	門前	5-383-2-016-2	由良川左支溪				
69	門前	5-383-2-017	由良川左支溪				
70	門前	5-383-2-018	由良川左支溪	平成20年10月24日	第1388号	平成20年10月24日	第1388号
71	門前	5-383-2-019	由良川左支溪				
72	門前	5-383-2-020	由良川左支溪				
73	畑	5-383-1-036-1	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号		
74	畑	5-383-1-036-2	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
75	畑	5-383-1-037	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号		
76	畑	5-383-1-038	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
77	畑	5-383-1-039	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号		
78	畑	5-383-1-040	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
79	畑	5-383-1-902	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
80	畑	5-383-1-903	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号		

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。

土石流

(その3)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
81	畑	5-383-2-009	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号		
82	畑	5-383-2-010	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号		
83	畑	5-383-2-011	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
84	畑	5-383-2-012	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
85	畑	5-383-2-013	由良川左支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
86	畑	5-383-2-014-1	由良川左支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
87	畑	5-383-2-014-2	由良川左支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
88	畑	5-383-2-014-3	由良川左支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
89	畑	5-383-2-015	由良川左支溪				
90	畑	5-383-2-902	由良川左支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
91	畑	5-383-2-903	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
92	畑	5-383-2-904	由良川右支溪	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。
 出典:わかやま土砂災害マップ(和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課) 令和2年1月

急傾斜地の崩壊

(その1)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
1	三尾川	I-898	三尾川(1)				
2	三尾川	I-900	三尾川(2)				
3	三尾川	I-901	三尾川(3)				
4	三尾川	II-50445	三尾川(101)				
5	三尾川	II-50446	三尾川(102)				
6	衣奈	I-3950	衣奈4	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
7	衣奈	I-3951	衣奈5	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
8	衣奈	I-3952	衣奈6	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
9	衣奈	I-50169	衣奈15	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
10	衣奈	I-50170	衣奈16	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
11	衣奈	I-895	衣奈(2)	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
12	衣奈	I-896	衣奈	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
13	衣奈	I-897	衣奈(3)	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
14	衣奈	II-4104	衣奈7	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
15	衣奈	II-4105	衣奈8	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
16	衣奈	II-4111	衣奈9	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
17	衣奈	II-4114	衣奈10	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
18	衣奈	II-4119	衣奈11	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
19	衣奈	II-50198	衣奈17	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
20	衣奈	II-50199	衣奈18	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。

急傾斜地の崩壊

(その2)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
21	衣奈	Ⅲ-2555	衣奈12	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
22	衣奈	Ⅲ-2559	衣奈13	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
23	衣奈	Ⅲ-2561	衣奈14	平成27年9月4日	第1033号	平成27年9月4日	第1033号
24	戸津井	I-3953	戸津井1				
25	戸津井	I-3954	戸津井2				
26	戸津井	I-893	戸津井				
27	戸津井	Ⅱ-4110	戸津井4				
28	戸津井	Ⅱ-50447	戸津井(101)				
29	小引	I-927	小引	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
30	小引	I-928	池ノ上	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
31	小引	Ⅱ-4118	小引2	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
32	小引	Ⅱ-50253	小引(101)	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
33	小引	Ⅲ-2563	小引3	平成28年10月25日	第1201号	平成28年10月25日	第1201号
34	大引	I-909	大引・大引	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
35	大引	I-926	大引	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
36	大引	Ⅱ-4121	大引1	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
37	大引	Ⅱ-4123	大引2	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
38	大引	Ⅱ-4124	大引3	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
39	大引	Ⅱ-4145	大引4	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
40	大引	Ⅱ-4146	大引5	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
41	大引	Ⅲ-2572	大引6	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
42	大引	Ⅳ-008	吹井18	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
43	大引	Ⅳ-009	吹井19	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
44	大引	Ⅳ-010	吹井20	平成28年10月11日	第1160号	平成28年10月11日	第1160号
45	神谷	I-3962	神谷2				
46	神谷	I-50213	神谷(102)				
47	神谷	I-907	尾崎				
48	神谷	I-908	池尻				
49	神谷	I-925	神谷				
50	神谷	Ⅱ-4137	神谷5				
51	神谷	Ⅱ-4139	神谷3				
52	神谷	Ⅱ-50448	神谷(101)				
53	神谷	Ⅱ-50449	神谷(103)				
54	吹井	I-3957	吹井3	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
55	吹井	I-3958	吹井4	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
56	吹井	I-3959	吹井5	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
57	吹井	I-3960	吹井6	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
58	吹井	I-904	濱田・小津路	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
59	吹井	I-905	吹井1	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
60	吹井	I-906	吹井(1)・吹井	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。

急傾斜地の崩壊

(その3)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
61	吹井	Ⅱ-4131	吹井7	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
62	吹井	Ⅲ-2574	吹井8	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
63	吹井	Ⅲ-2576	吹井9	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
64	吹井	Ⅲ-2577	吹井10	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
65	吹井	Ⅳ-001	吹井11	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
66	吹井	Ⅳ-002	吹井12	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
67	吹井	Ⅳ-003	吹井13	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
68	吹井	Ⅳ-004	吹井14	平成22年5月21日	第589号		
69	吹井	Ⅳ-005	吹井15	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
70	吹井	Ⅳ-006	吹井16	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
71	吹井	Ⅳ-007	吹井17	平成22年5月21日	第589号	平成30年5月1日	第572号
72	江ノ駒	Ⅰ-922	江ノ駒(2)				
73	江ノ駒	Ⅰ-923	江ノ駒(1)				
74	江ノ駒	Ⅱ-4127	江ノ駒1				
75	江ノ駒	Ⅱ-4132	江ノ駒2				
76	江ノ駒	Ⅱ-4133	江ノ駒3				
77	江ノ駒	Ⅱ-4148	江ノ駒5				
78	江ノ駒	Ⅱ-50634	江ノ駒(101)				
79	江ノ駒	Ⅱ-50635	江ノ駒(102)				
80	江ノ駒	Ⅱ-50636	江ノ駒(103)				
81	江ノ駒	Ⅱ-50637	江ノ駒(104)				
82	江ノ駒	Ⅱ-50638	江ノ駒(105)				
83	江ノ駒	Ⅱ-50639	江ノ駒(106)				
84	江ノ駒	Ⅱ-50640	江ノ駒(107)				
85	江ノ駒	Ⅱ-50641	江ノ駒(108)				
86	江ノ駒	Ⅲ-2578	江ノ駒6				
87	網代	Ⅰ-912	網代・網代(2)・網代(3)				
88	里	Ⅰ-3961	里2	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
89	里	Ⅰ-3963	里3	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
90	里	Ⅰ-50201	里(101)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
91	里	Ⅰ-50202	里(102)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
92	里	Ⅰ-913	吉路1	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
93	里	Ⅰ-914	門前	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
94	里	Ⅰ-915	入路1・入路	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
95	里	Ⅰ-916	入路	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
96	里	Ⅰ-917	里・里(2)	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
97	里	Ⅰ-919	里	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
98	里	Ⅱ-4129	里吉路	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
99	里	Ⅱ-4130	里4	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
100	里	Ⅱ-4135	里5	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。

急傾斜地の崩壊

(その4)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
101	里	Ⅱ-4138	里6	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
102	里	Ⅱ-50347	里(103)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
103	里	Ⅱ-50348	里(104)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
104	里	Ⅱ-50349	里(105)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
105	里	Ⅱ-50350	里(106)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
106	里	Ⅱ-50351	里(107)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
107	里	Ⅱ-50352	里(108)	平成30年8月28日	第985号	平成30年8月28日	第985号
108	里	Ⅲ-2580	里7	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
109	里	Ⅲ-2581	里8	平成29年11月28日	第1454号	平成29年11月28日	第1454号
110	阿戸	I-2275	白木				
111	阿戸	I-3964	阿戸2				
112	阿戸	I-3965	阿戸3				
113	阿戸	I-918	阿戸・白木				
114	阿戸	Ⅱ-4140	阿戸4				
115	阿戸	Ⅱ-4141	阿戸白木				
116	阿戸	Ⅱ-4142	阿戸5				
117	阿戸	Ⅱ-4143	阿戸6				
118	阿戸	Ⅱ-50642	阿戸(101)				
119	阿戸	Ⅱ-50643	阿戸(102)				
120	阿戸	Ⅱ-50644	阿戸(103)				
121	門前	Ⅱ-50624	門前(101)				
122	門前	Ⅱ-50625	門前(102)				
123	門前	Ⅱ-50626	門前(103)				
124	門前	Ⅱ-50627	門前(104)				
125	門前	Ⅱ-50628	門前(105)				
126	門前	Ⅱ-50629	中(101)				
127	門前	Ⅱ-50630	中(102)				
128	門前	Ⅱ-50631	中(103)				
129	門前	Ⅱ-50632	中(104)				
130	門前	Ⅱ-50633	中(105)				
131	門前	Ⅲ-2571	門前5				
132	中	I-2276	門前3				
133	中	I-910	門前				
134	中	Ⅱ-4125	門前1				
135	中	Ⅱ-4126	門前2				
136	畑	I-3955	畑	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
137	畑	I-3956	畑(3)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
138	畑	I-3966	畑5	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
139	畑	I-50216	畑(106)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
140	畑	I-902	畑(2)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。

急傾斜地の崩壊

(その5)

整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
141	畑	I-929	畑(1)・畑(3)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
142	畑	II-4106	畑1	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
143	畑	II-4107	畑13	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
144	畑	II-4108	畑3	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
145	畑	II-4112	畑14	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
146	畑	II-4113	畑15	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
147	畑	II-4115	畑6	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
148	畑	II-4116	畑7	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
149	畑	II-4117	畑8	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
150	畑	II-4120	畑9	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
151	畑	II-4122	畑10	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
152	畑	II-4147	畑12	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
153	畑	II-50475	畑(101)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
154	畑	II-50476	畑(102)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
155	畑	II-50477	畑(103)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
156	畑	II-50478	畑(104)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
157	畑	II-50479	畑(105)	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号
158	畑	III-2573	畑26	令和1年9月24日	第499号	令和1年9月24日	第499号

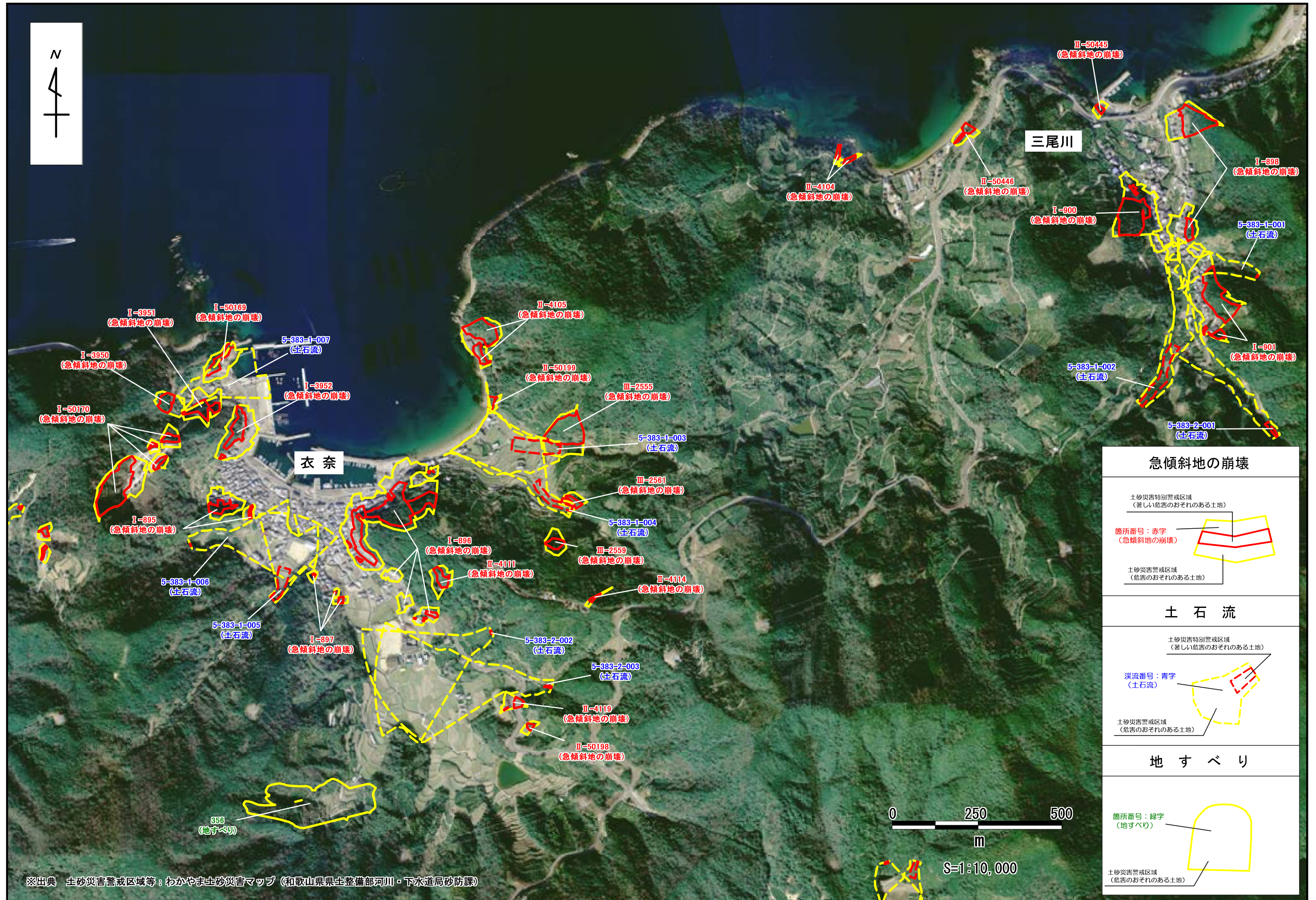
※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。
出典:わかやま土砂災害マップ(和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課) 令和2年1月

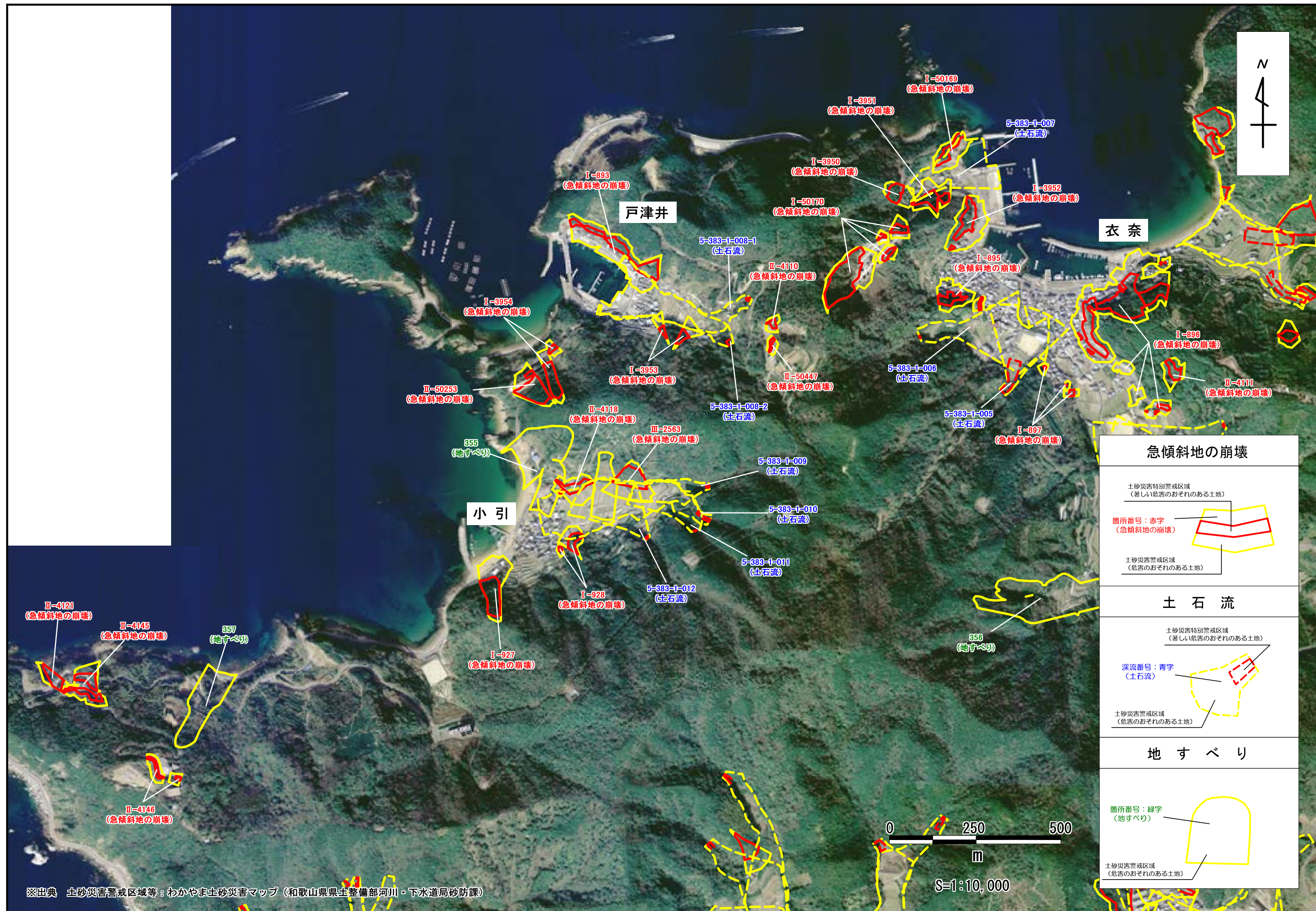
地すべり

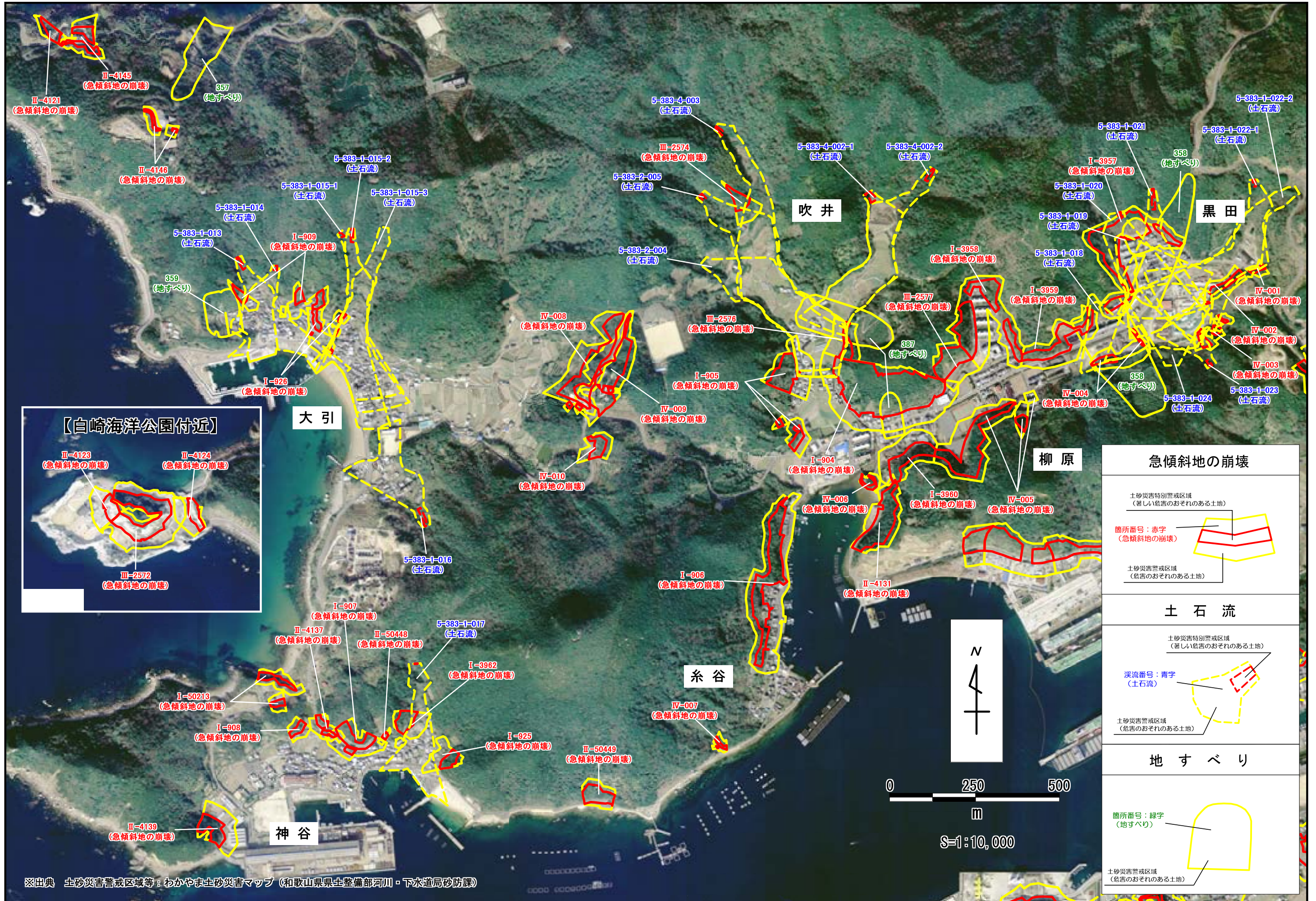
(その1)

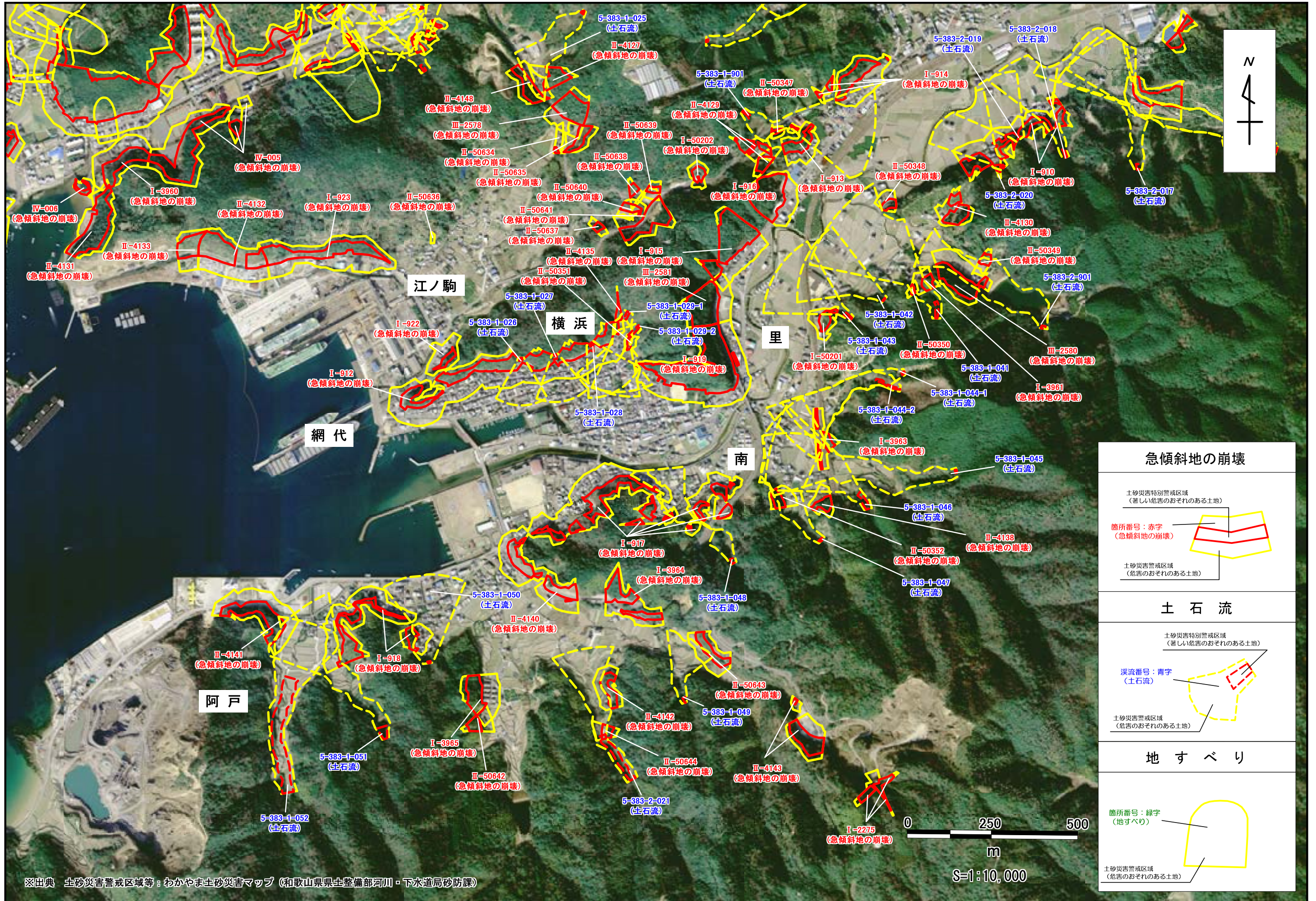
整理 No.	大字	箇所番号	箇所名	土砂災害警戒区域		土砂災害特別警戒区域	
				告示年月日	告示番号	告示年月日	告示番号
1	衣奈	356	上出	平成28年6月17日	第676号		
2	小引	355	小引	平成28年6月17日	第676号		
3	大引	357	番所山	平成28年6月17日	第676号		
4	大引	359	大引	平成28年6月17日	第676号		
5	吹井	358	吹井	平成22年5月21日	第589号		
6	吹井	387	東畑	平成26年2月7日	第121号		
7	畑	349	那端	平成29年11月28日	第1454号		
8	畑	350	畑1	平成29年11月28日	第1454号		
9	畑	351	畑2	平成29年11月28日	第1454号		

※) 上記表に整理した土砂災害警戒区域等は、令和2年1月現在において指定済み及び指定準備中の区域一覧である。
出典:わかやま土砂災害マップ(和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課) 令和2年1月

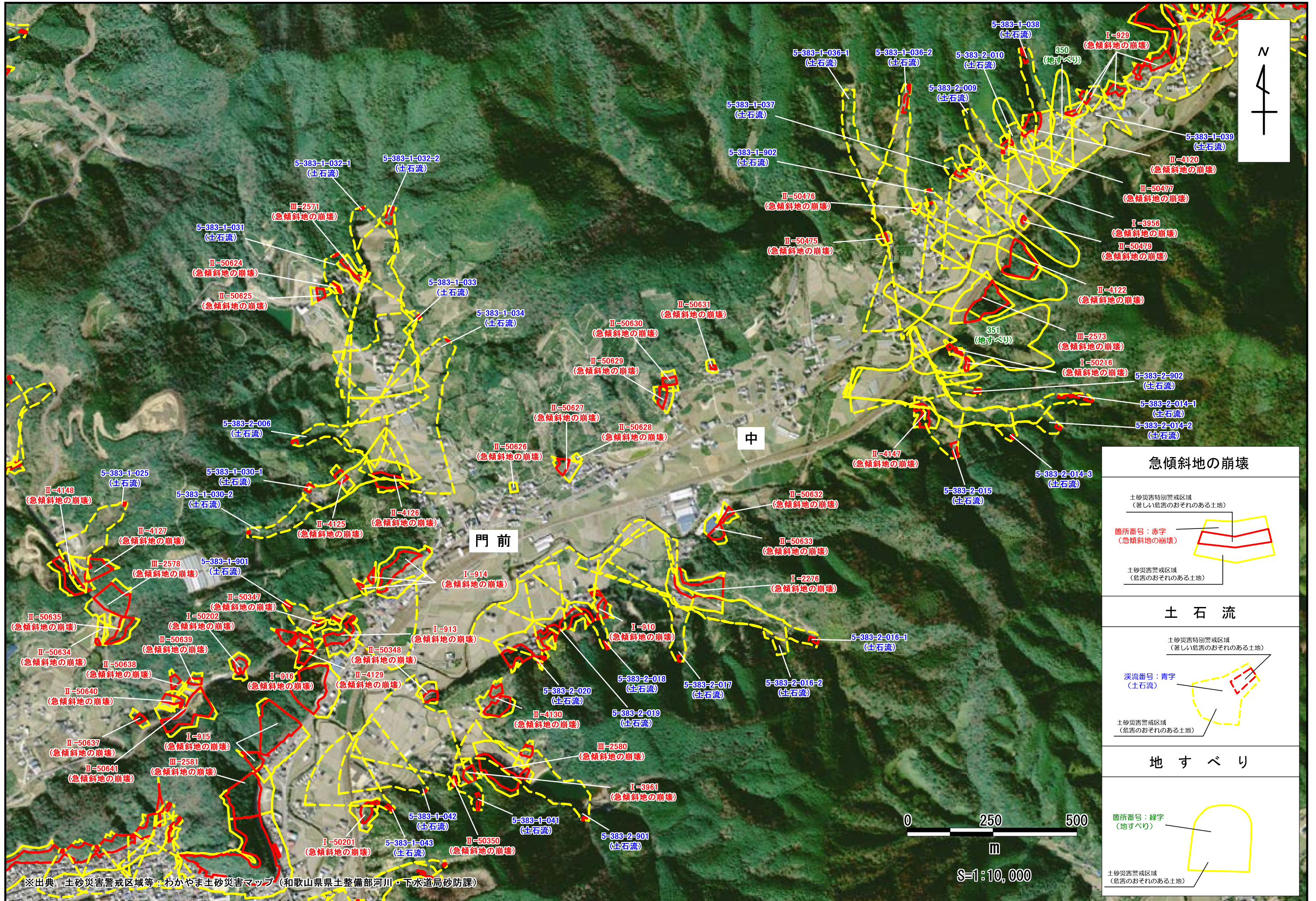


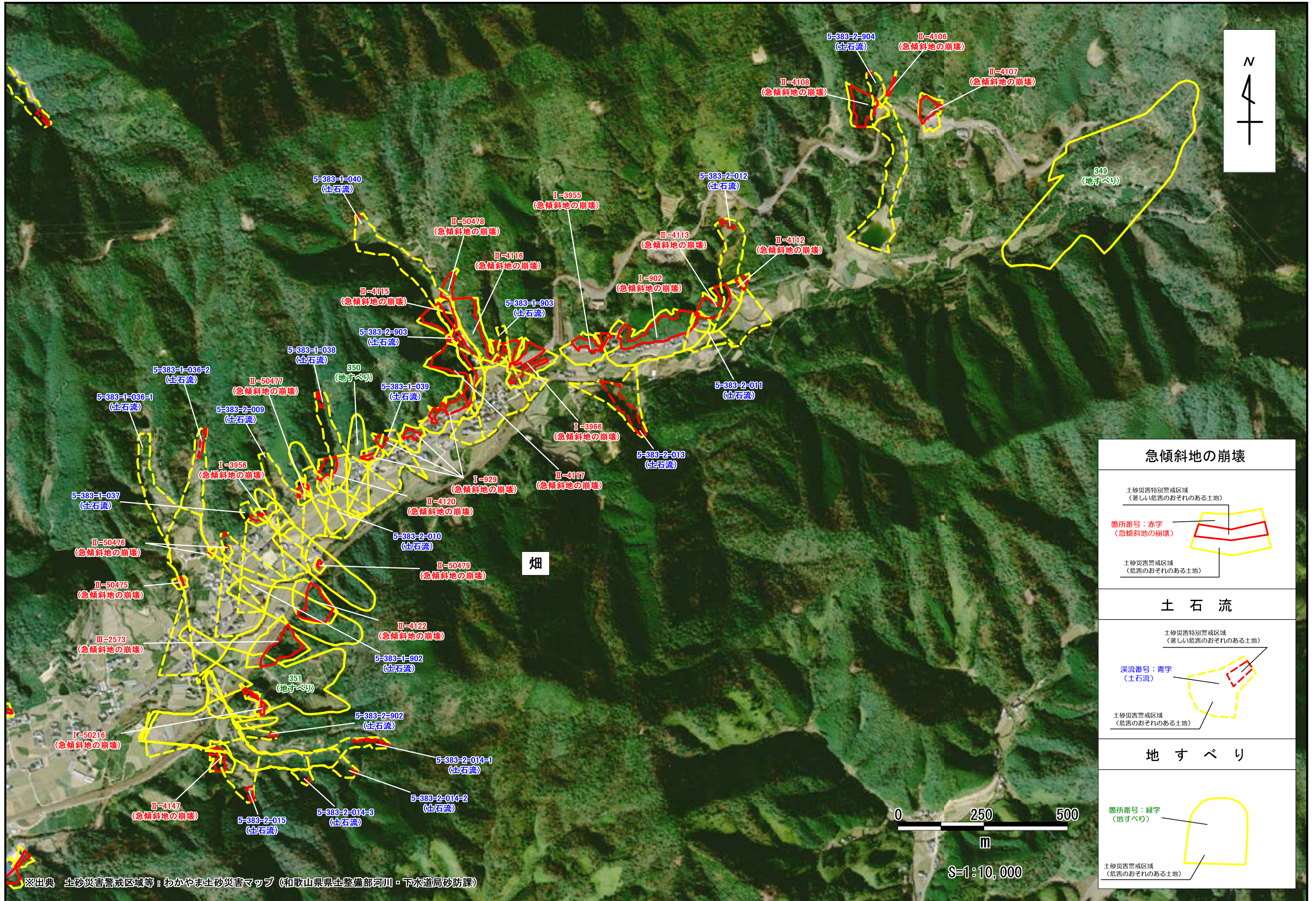






※出典 土砂災害警戒区域等：わかやま土砂災害マップ（和歌山県国土整備部河川・下水道局砂防課）





急傾斜地の崩壊	
土砂災害特別警戒区域 (著しい危害のおそれのある土地)	
箇所番号: 赤字 (急傾斜地の崩壊)	
土砂災害警戒区域 (危害のおそれのある土地)	
土石流	
土砂災害特別警戒区域 (著しい危害のおそれのある土地)	
渓流番号: 青字 (土石流)	
土砂災害警戒区域 (危害のおそれのある土地)	
地すべり	
土砂災害警戒区域 (危害のおそれのある土地)	
箇所番号: 緑字 (地すべり)	

※出典 土砂災害警戒区域等：わかやま土砂災害マップ（和歌山県国土整備部河川・下水道局砂防課）

資料 1-10 土砂災害危険箇所一覧（県砂防課所管）

土石流危険溪流

（その1）

整理 No.	溪流番号	水系名	河川名	溪流名	字名	流域面積 (knf)	区域面積 (㎡)
1	5-383-1-001	—	三尾川	里山谷	三尾川	0.13	8,661
2	5-383-1-002	—	三尾川	西原谷	三尾川	0.38	15,590
3	5-383-2-001	—	三尾川	勢ヶ谷	三尾川	0.35	14,018
4	5-383-1-003	—	長谷池谷	長谷池谷	衣奈	0.23	23,003
5	5-383-1-004	—	長谷池谷	左支溪	衣奈	0.27	19,542
6	5-383-1-005	前田川	前田川	栗谷川	衣奈	0.33	17,253
7	5-383-1-006	前田川	前田川	左支溪	衣奈	0.09	12,307
8	5-383-1-007	—	本川	—	衣奈	0.1	8,955
9	5-383-2-002	前田川	前田川	右支溪	衣奈	0.03	9,776
10	5-383-2-003	前田川	前田川	右支溪	衣奈	0.13	22,570
11	5-383-1-008	—	戸津井川	中筋谷	戸津井	0.18	24,519
12	5-383-1-009	—	本川	—	小引	0.082	34,941
13	5-383-1-010	—	本川	—	小引	0.04	32,139
14	5-383-1-011	—	本川	—	小引	0.031	30,956
15	5-383-1-012	—	本川	—	小引	0.112	27,695
16	5-383-1-013	—	本川	—	大引	0.04	12,035
17	5-383-1-014	—	本川	—	大引	0.05	13,750
18	5-383-1-015	—	本川	—	大引	0.12	22,739
19	5-383-1-016	—	本川	—	大引	0.06	17,020
20	5-383-1-017	—	神谷川	寺谷	神谷	0.1	11,991
21	5-383-1-018	—	本川	—	吹井	0.026	5,665
22	5-383-1-019	—	本川	—	吹井	0.05	25,308
23	5-383-1-020	—	本川	—	吹井	0.023	21,862
24	5-383-1-021	—	本川	—	吹井	0.03	23,157
25	5-383-1-022	—	本川	—	吹井	0.17	39,990
26	5-383-1-023	—	本川	—	吹井	0.024	14,539
27	5-383-1-024	—	本川	—	吹井	0.018	13,660
28	5-383-2-004	—	吹井川	右支溪	吹井	0.04	9,923
29	5-383-2-005	—	吹井川	右支溪	吹井	0.06	18,549
30	5-383-1-025	—	本川	—	江ノ駒	0.06	11,125
31	5-383-1-026	由良川	由良川	右支溪	網代	0.006	3,878
32	5-383-1-027	由良川	由良川	右支溪	網代	0.008	4,084
33	5-383-1-028	由良川	由良川	右支溪	里	0.012	4,372
34	5-383-1-029	由良川	由良川	右支溪	里	0.043	9,259
35	5-383-1-041	由良川	由良川	左支溪	里	0.03	5,519
36	5-383-1-042	由良川	由良川	左支溪	里	0.02	8,390
37	5-383-1-043	由良川	由良川	左支溪	里	0.02	4,320
38	5-383-1-044	由良川	由良川	支溪	里	0.04	12,397
39	5-383-1-045	由良川	由良川	左支溪	里	0.48	29,847
40	5-383-1-046	由良川	由良川	左支溪	里	0.06	14,080
41	5-383-1-047	由良川	由良川	左支溪	里	0.1	16,430
42	5-383-1-048	由良川	由良川	左支溪	里	0.055	17,096
43	5-383-1-049	—	大谷川	左支溪	阿戸	0.039	12,912
44	5-383-1-050	—	西谷川	左支溪	阿戸	0.014	7,232
45	5-383-1-051	—	白木川	池奥谷	阿戸	0.14	23,852

土石流危険溪流

(その2)

整理 No.	溪流番号	水系名	河川名	溪流名	字名	流域面積 (km ²)	区域面積 (m ²)
46	5-383-1-052	—	白木川	白木川	阿戸	0.37	28,814
47	5-383-2-021	—	大谷川	左支溪	阿戸	0.278	25,369
48	5-383-1-030	由良川	由良川	右支溪	門前	0.202	16,547
49	5-383-1-031	由良川	由良川	右支溪	門前	0.14	10,762
50	5-383-1-032	由良川	由良川	右支溪	門前	0.25	38,612
51	5-383-1-033	由良川	由良川	右支溪	門前	0.082	20,406
52	5-383-1-034	由良川	由良川	右支溪	門前	0.076	25,751
53	5-383-1-035	由良川	由良川	右支溪	門前	0.029	20,320
54	5-383-2-006	由良川	由良川	右支溪	門前	0.029	15,095
55	5-383-2-007	由良川	由良川	右支溪	門前	0.022	11,388
56	5-383-2-016	由良川	由良川	左支溪	門前	0.36	11,921
57	5-383-2-017	由良川	由良川	左支溪	門前	0.04	5,457
58	5-383-2-018	由良川	由良川	左支溪	門前	0.05	5,662
59	5-383-2-019	由良川	由良川	左支溪	門前	0.02	3,589
60	5-383-2-020	由良川	由良川	左支溪	門前	0.03	4,182
61	5-383-2-008	由良川	由良川	右支溪	中	0.075	13,559
62	5-383-2-015	由良川	由良川	左支溪	中	0.1	13,290
63	5-383-1-036	由良川	由良川	右支溪	畑	0.42	69,174
64	5-383-1-037	由良川	由良川	右支溪	畑	0.017	13,667
65	5-383-1-038	由良川	由良川	右支溪	畑	0.11	29,483
66	5-383-1-039	由良川	由良川	右支溪	畑	0.06	10,609
67	5-383-1-040	由良川	由良川	右支溪	畑	0.4	31,630
68	5-383-2-009	由良川	由良川	右支溪	畑	0.07	14,606
69	5-383-2-010	由良川	由良川	右支溪	畑	0.009	11,750
70	5-383-2-011	由良川	由良川	右支溪	畑	0.009	6,891
71	5-383-2-012	由良川	由良川	右支溪	畑	0.214	18,072
72	5-383-2-013	由良川	由良川	左支溪	畑	0.361	12,369
73	5-383-2-014	由良川	由良川	左支溪	畑	0.25	14,559

出典：土石流危険箇所市町村別一覧表.xls (和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課)

急傾斜地崩壊危険箇所

(その1)

整理 No.	箇所番号	危険区分	箇所名	字名	傾斜度 (°)	高さ (m)	延長 (m)
1	898	1	三尾川(1)	三尾川	45	40	410
2	900	1	三尾川(2)	三尾川	40	70	320
3	901	1	三尾川(3)	三尾川	40	60	260
4	2554	3	三尾川4	三尾川	35	42	220
5	2556	3	三尾川5	三尾川	32	44	170
6	2557	3	三尾川6	三尾川	32	44	180
7	895	1	衣奈(2)	衣奈	40	20	150
8	896	1	衣奈	衣奈	30	70	510
9	897	1	衣奈(3)	衣奈	40	20	150
10	3950	1	衣奈4	衣奈	45	30	60
11	3951	1	衣奈5	衣奈	40	45	190
12	3952	1	衣奈6	衣奈	40	45	200
13	4104	2	衣奈7	衣奈	30	20	50
14	4105	2	衣奈8	衣奈	40	50	80
15	4111	2	衣奈9	衣奈	40	30	70
16	4114	2	衣奈10	衣奈	35	55	50
17	4119	2	衣奈11	衣奈	40	30	50
18	2555	3	衣奈12	衣奈	34	48	210
19	2559	3	衣奈13	衣奈	30	34	180
20	2561	3	衣奈14	衣奈	40	34	350
21	893	1	戸津井	戸津井	40	100	370
22	3953	1	戸津井1	戸津井	35	30	35
23	3954	1	戸津井2	戸津井	40	70	70
24	4109	2	戸津井3	戸津井	50	55	80
25	4110	2	戸津井4	戸津井	50	50	50
26	927	1	小引	小引	45	50	160
27	928	1	池ノ上	小引	35	70	100
28	4118	2	小引2	小引	35	35	90
29	2563	3	小引3	小引	33	52	140
30	909	1	大引・大引	大引	40	80	390
31	926	1	大引	大引	35	15	190
32	4121	2	大引1	大引	45	35	130
33	4123	2	大引2	大引	60	35	70
34	4124	2	大引3	大引	60	35	70
35	4145	2	大引4	大引	45	30	100
36	4146	2	大引5	大引	30	15	60
37	2572	3	大引6	大引	48	34	370
38	907	1	尾崎	神谷	45	35	180
39	908	1	池尻	神谷	35	30	80
40	3962	1	神谷2	神谷	40	40	120
41	925	1	神谷	神谷	35	60	110
42	4136	2	神谷4	神谷	30	20	90
43	4137	2	神谷5	神谷	40	20	70
44	4139	2	神谷3	神谷	60	50	130
45	904	1	濱田・小津路	吹井	35	70	480
46	905	1	吹井1・小津路	吹井	35	105	290
47	906	1	吹井(1)・吹井(2)	吹井	40	80	650

急傾斜地崩壊危険箇所

(その2)

整理 No.	箇所番号	危険区分	箇所名	字名	傾斜度 (°)	高さ (m)	延長 (m)
48	3957	1	吹井3	吹井	35	30	420
49	3958	1	吹井4	吹井	40	40	150
50	3959	1	吹井5	吹井	35	50	150
51	3960	1	吹井6	吹井	50	40	150
52	4131	2	吹井7	吹井	45	50	230
53	2574	3	吹井8	吹井	40	50	360
54	2576	3	吹井9	吹井	38	70	120
55	2577	3	吹井10	吹井	36	58	100
56	922	1	江ノ駒(2)	江ノ駒	50	30	210
57	923	1	江ノ駒(1)	江ノ駒	50	60	380
58	4127	2	江ノ駒1	江ノ駒	30	55	75
59	4132	2	江ノ駒2	江ノ駒	40	45	140
60	4133	2	江ノ駒3	江ノ駒	40	40	40
61	4134	2	江ノ駒4	江ノ駒	45	20	100
62	4148	2	江ノ駒5	江ノ駒	45	30	95
63	2578	3	江ノ駒6	江ノ駒	32	80	110
64	912	1	網代・網代(2)・網代(3)	網代	40	30	180
65	913	1	吉路1	里	40	20	180
66	915	1	入路1・入路	里	40	100	160
67	916	1	入路	里	40	70	150
68	917	1	里・里(2)	里	40	45	850
69	919	1	里	里	40	70	460
70	3961	1	里2	里	35	25	35
71	3963	1	里3	里	40	30	60
72	4129	2	里吉路	里	40	50	50
73	4130	2	里4	里	45	40	90
74	4135	2	里5	里	30	60	35
75	4138	2	里6	里	40	40	90
76	2580	3	里7	里	36	50	170
77	2581	3	里8	里	37	68	120
78	2582	3	里9	里	32	56	220
79	918	1	阿戸・白木	阿戸	35	25	230
80	2275	1	白木	阿戸	45	60	110
81	3964	1	阿戸2	阿戸	40	40	200
82	3965	1	阿戸3	阿戸	35	30	100
83	4140	2	阿戸4	阿戸	45	25	130
84	4141	2	阿戸白木	阿戸	50	30	130
85	4142	2	阿戸5	阿戸	35	15	90
86	4143	2	阿戸6	阿戸	40	20	90
87	2583	3	阿戸7	阿戸	32	50	210
88	910	1	門前	門前	35	30	530
89	914	1	門前	門前	40	40	300
90	2276	1	門前3	門前	45	40	340
91	4125	2	門前1	門前	30	25	65
92	4126	2	門前2	門前	40	40	80
93	4128	2	門前4	門前	30	40	30
94	2571	3	門前5	門前	31	18	130
95	2575	3	門前6	門前	40	68	150

急傾斜地崩壊危険箇所

(その3)

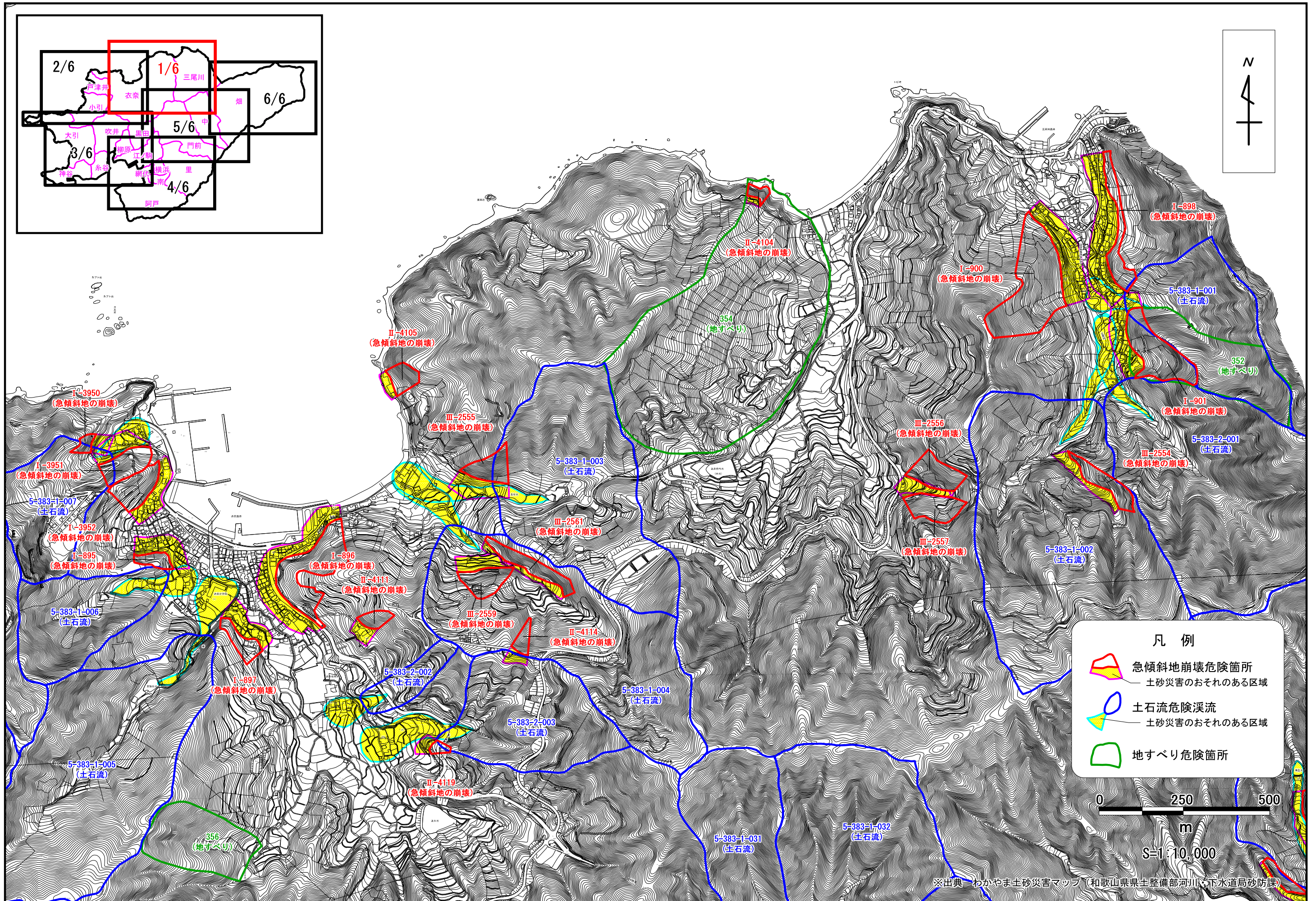
整理 No.	箇所番号	危険区分	箇所名	字名	傾斜度 (°)	高さ (m)	延長 (m)
96	2579	3	門前7	門前	31	30	100
97	2558	3	畑16	畑	36	50	270
98	2560	3	畑17	畑	36	44	370
99	2562	3	畑18	畑	30	44	160
100	2564	3	畑19	畑	32	56	320
101	2565	3	畑20	畑	38	70	330
102	2566	3	畑21	畑	44	38	220
103	2567	3	畑22	畑	32	50	180
104	2568	3	畑23	畑	38	54	500
105	2569	3	畑24	畑	32	138	200
106	2570	3	畑25	畑	33	26	240
107	2573	3	畑26	畑	35	42	260
108	902	1	畑(2)	畑	40	40	280
109	929	1	畑(1)・畑(3)	畑	40	20	310
110	3955	1	畑	畑	40	15	140
111	3956	1	畑(3)	畑	40	20	250
112	3966	1	畑5	畑	40	40	100
113	4106	2	畑1	畑	40	55	50
114	4107	2	畑13	畑	45	40	60
115	4108	2	畑3	畑	40	35	110
116	4112	2	畑14	畑	40	25	50
117	4113	2	畑15	畑	40	20	170
118	4115	2	畑6	畑	40	70	130
119	4116	2	畑7	畑	35	50	230
120	4117	2	畑8	畑	40	20	190
121	4120	2	畑9	畑	40	20	100
122	4122	2	畑10	畑	35	55	60
123	4144	2	畑11	畑	45	30	50
124	4147	2	畑12	畑	40	35	50

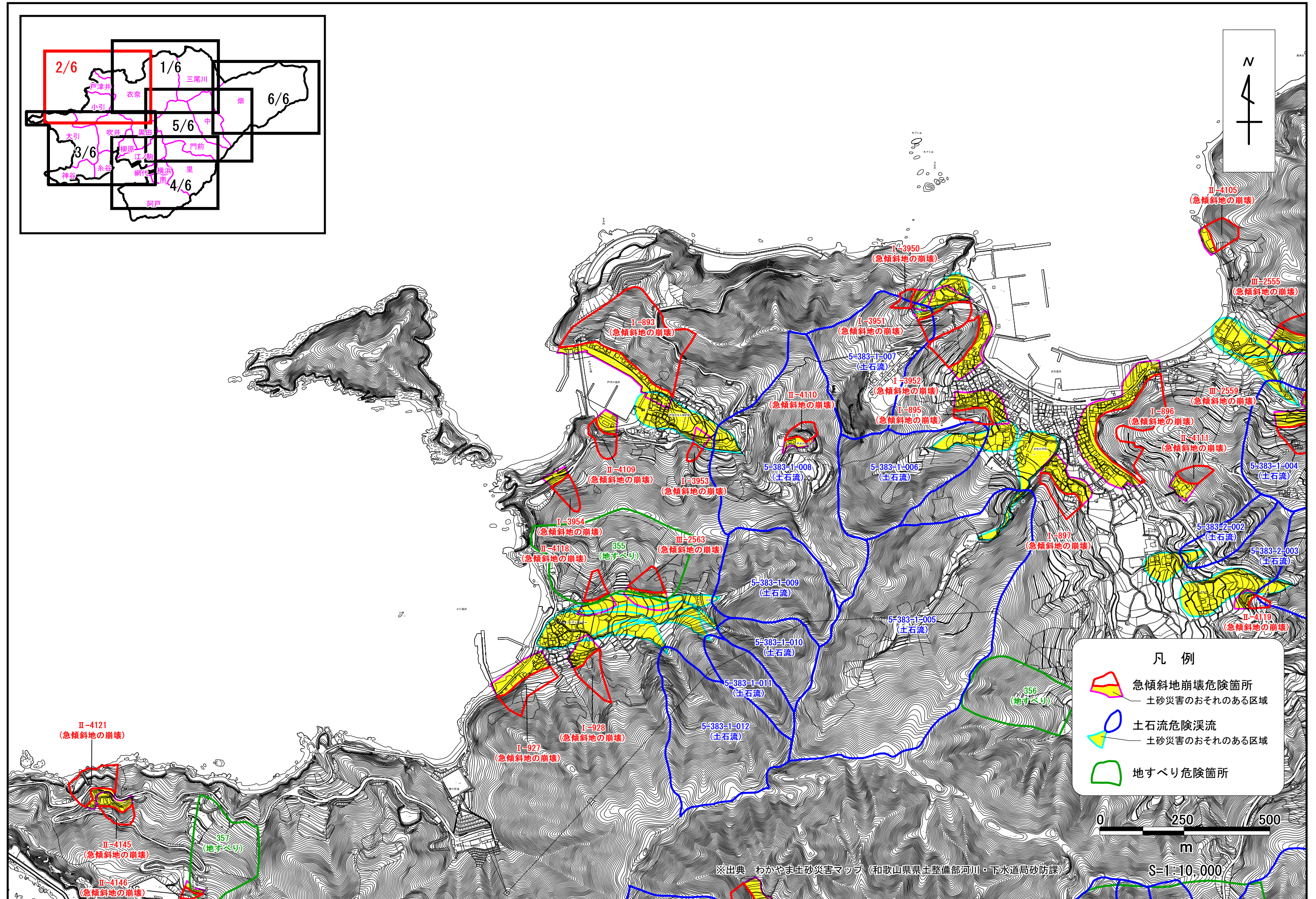
出典：急傾斜危険箇所市町村別一覧表.xls（和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課）

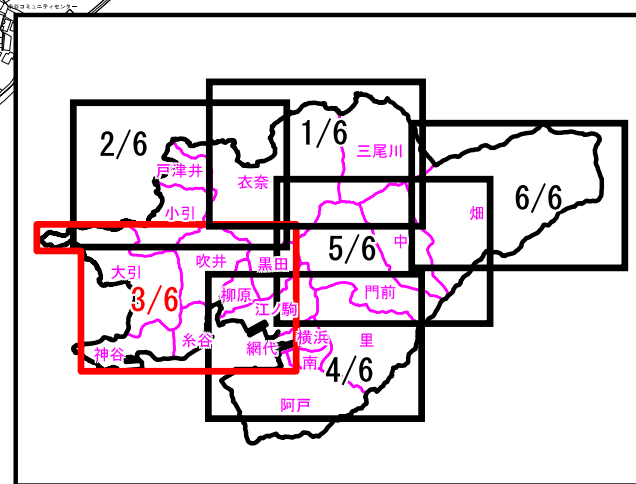
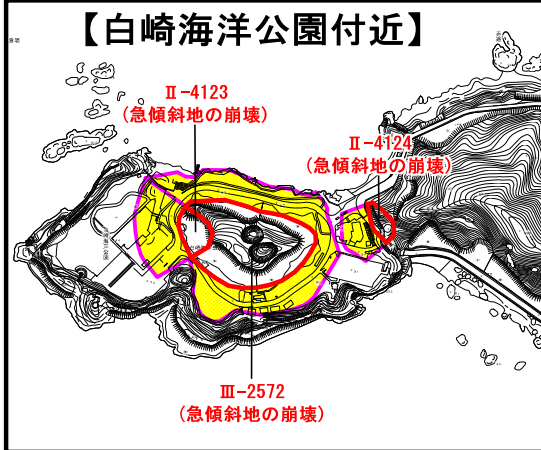
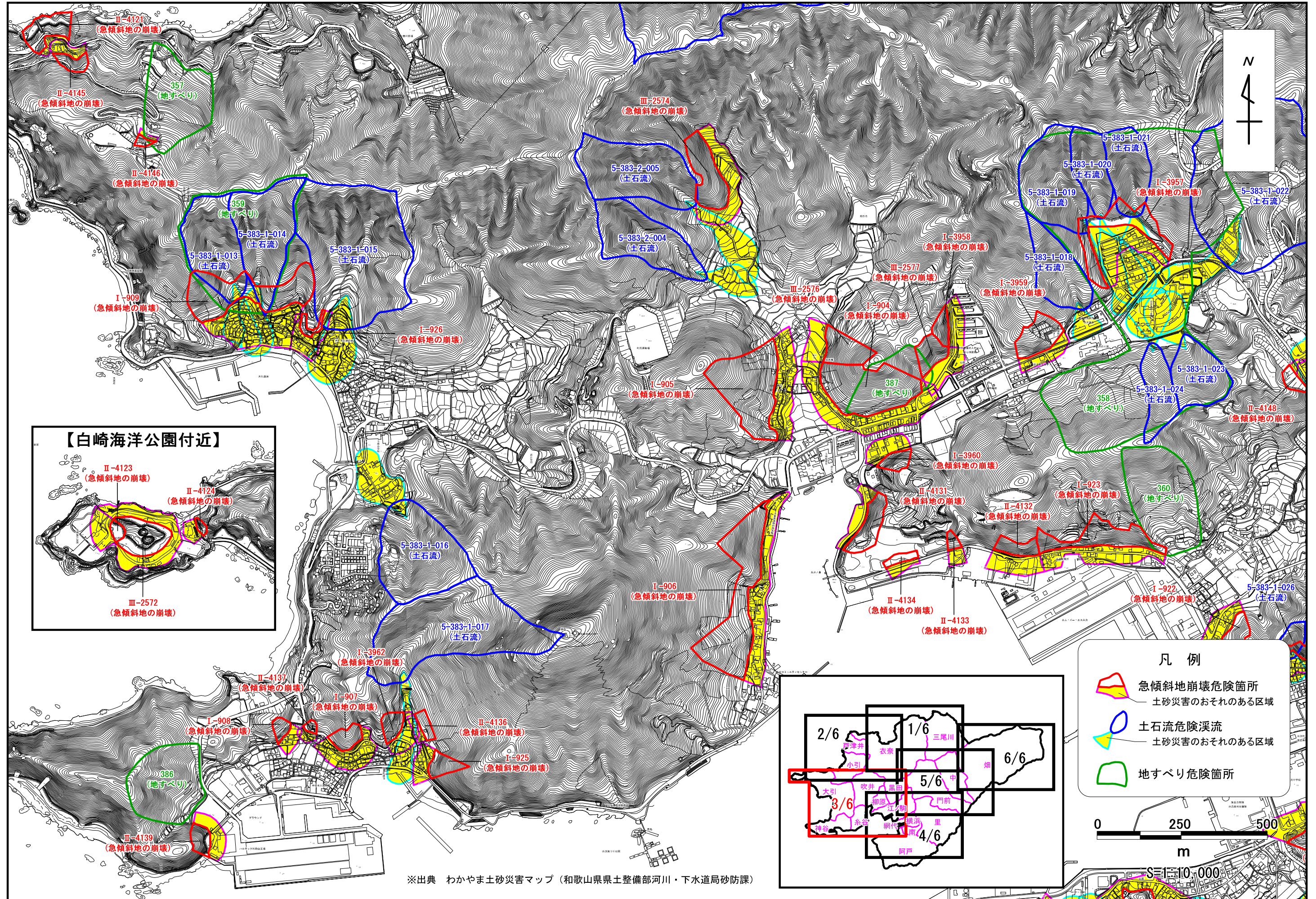
地すべり危険箇所

整理 No.	箇所番号	箇所名	字名
1	352	三尾川	三尾川
2	354	大島山	三尾川
3	356	上出	衣奈
4	355	小引	小引
5	357	番所山	大引
6	359	大引	大引
7	386	神谷	神谷
8	358	吹井	吹井
9	387	東畑	吹井
10	360	江ノ駒	江ノ駒
11	353	門前	門前
12	385	水谷池	門前
13	349	那端	畑
14	350	畑1	畑
15	351	畑2	畑

出典：地すべり危険箇所市町村別一覧表.xls（和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課）

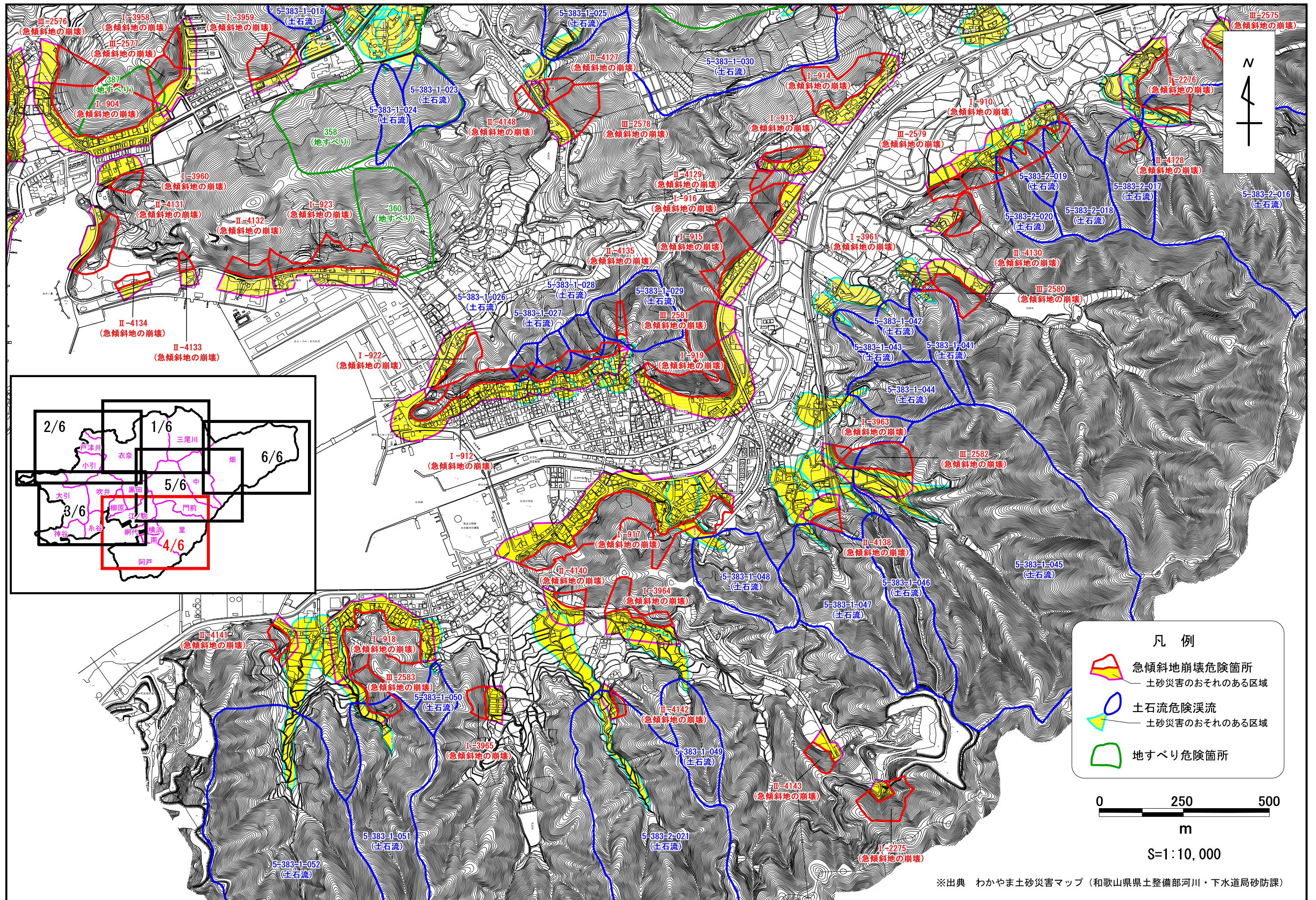






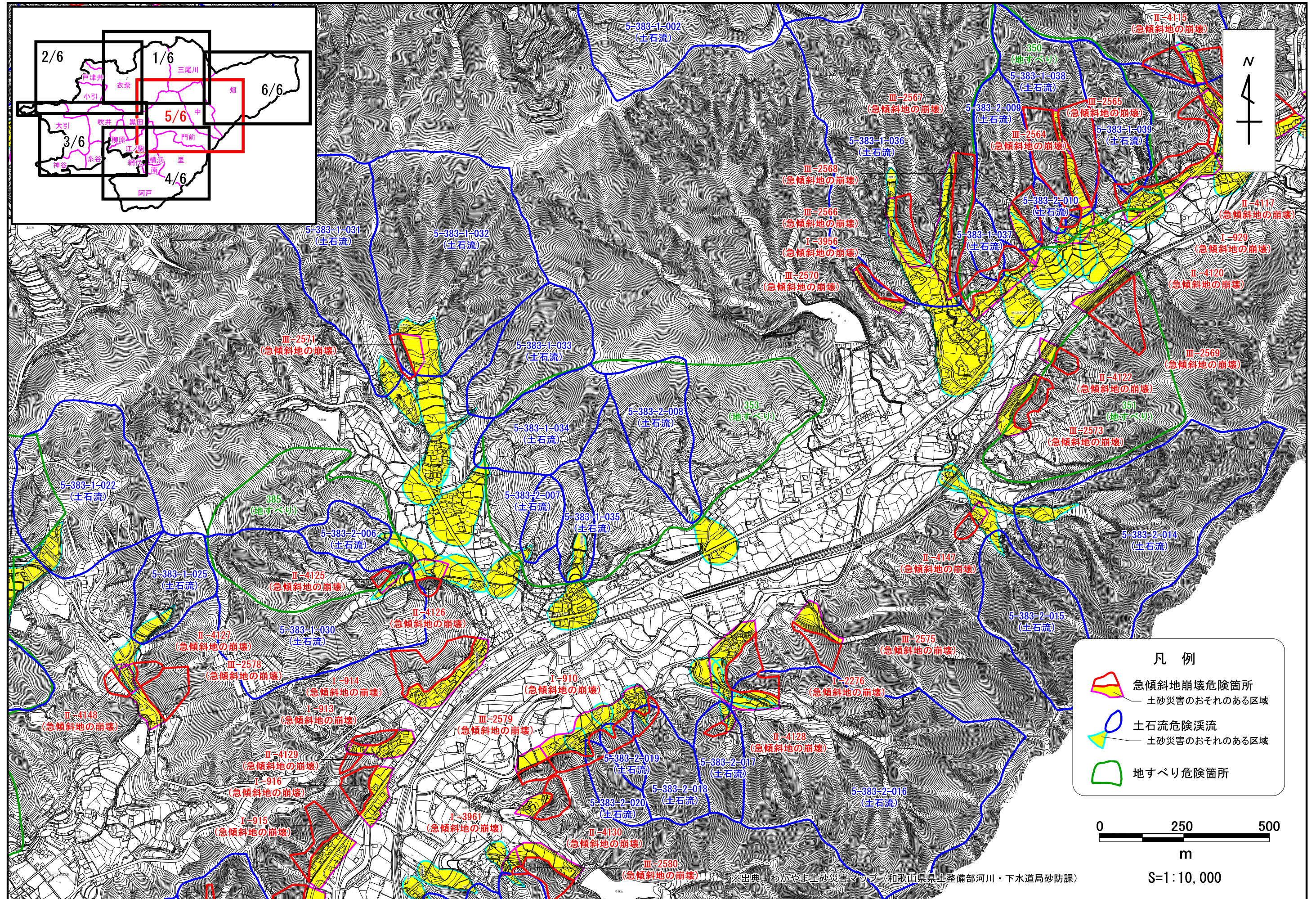
※出典 わかやま土砂災害マップ (和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課)

資料 1-11(4) 土砂災害危険箇所位置図【江ノ駒区、網代区、横浜区、里区、南区、阿戸区】

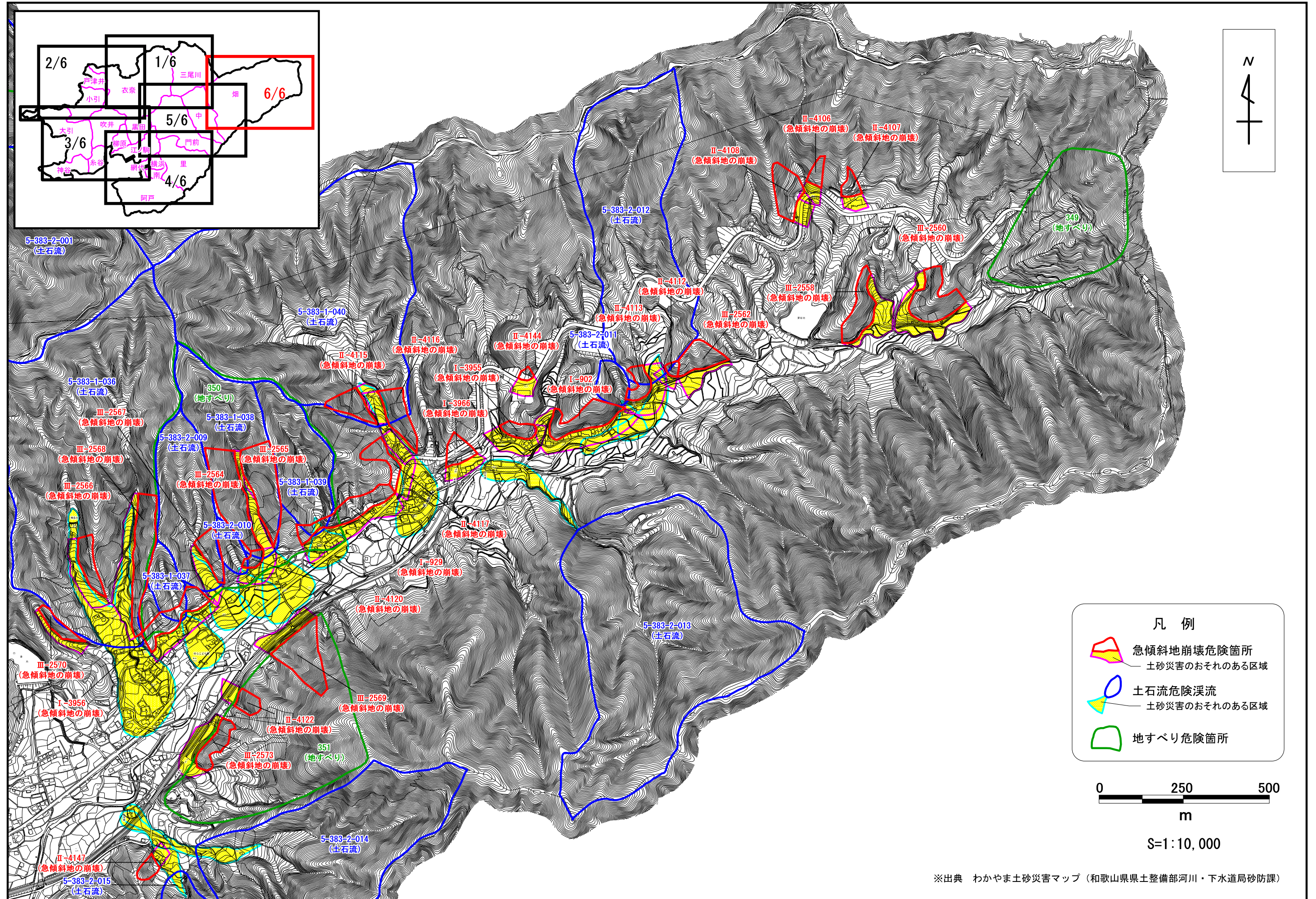


※出典 わかやま土砂災害マップ（和歌山県土整備部河川・下水道局砂防課）

資料 1-11(5) 土砂災害危険箇所位置図【門前区、中区】



資料 1-11(6) 土砂災害危険箇所位置図【畑区】



資料 1-12 山地災害危険箇所一覧（県森林整備課所管）

崩壊土砂流出危険地区

整理 No.	地区番号		位 置			面積(ha)	備 考
			市町村	大 字	字		
1	383	5029	由良町	三尾川		37.50	
2	383	5030	〃	三尾川		35.43	
3	383	5001	〃	衣奈		31.54	
4	383	5003	〃	衣奈		5.83	
5	383	5005	〃	衣奈		21.84	
6	383	5006	〃	衣奈		15.48	
7	383	0002	〃	戸津井		20.12	
8	383	0001	〃	神谷		9.23	
9	383	1001	〃	吹井		1.60	
10	383	5002	〃	吹井		43.14	
11	383	5021	〃	里		6.51	
12	383	5023	〃	里		6.83	
13	383	5024	〃	里		10.50	
14	383	5025	〃	里		6.01	
15	383	5026	〃	里		16.96	
16	383	5013	〃	阿戸		17.60	
17	383	5014	〃	阿戸		27.71	
18	383	5020	〃	阿戸		19.00	
19	383	5004	〃	門前		12.92	
20	383	5007	〃	門前		1.86	
21	383	5008	〃	門前		3.94	
22	383	5009	〃	門前		3.23	
23	383	5010	〃	門前		4.30	
24	383	5031	〃	門前		1.44	
25	383	0003	〃	中	白倉池	70.15	
26	383	5011	〃	中		15.74	
27	383	0004	〃	畑		43.76	
28	383	0005	〃	畑		24.95	
29	383	0006	〃	畑		11.20	
30	383	5012	〃	畑		9.97	
31	383	5015	〃	畑		4.19	
32	383	5016	〃	畑		4.98	
33	383	5017	〃	畑		10.19	
34	383	5018	〃	畑		17.53	
35	383	5019	〃	畑		22.13	
36	383	5027	〃	畑		36.89	
37	383	5028	〃	畑		16.91	

出典：和歌山県地域防災計画資料編（令和元年度修正版）

山腹崩壊危険地区

(その1)

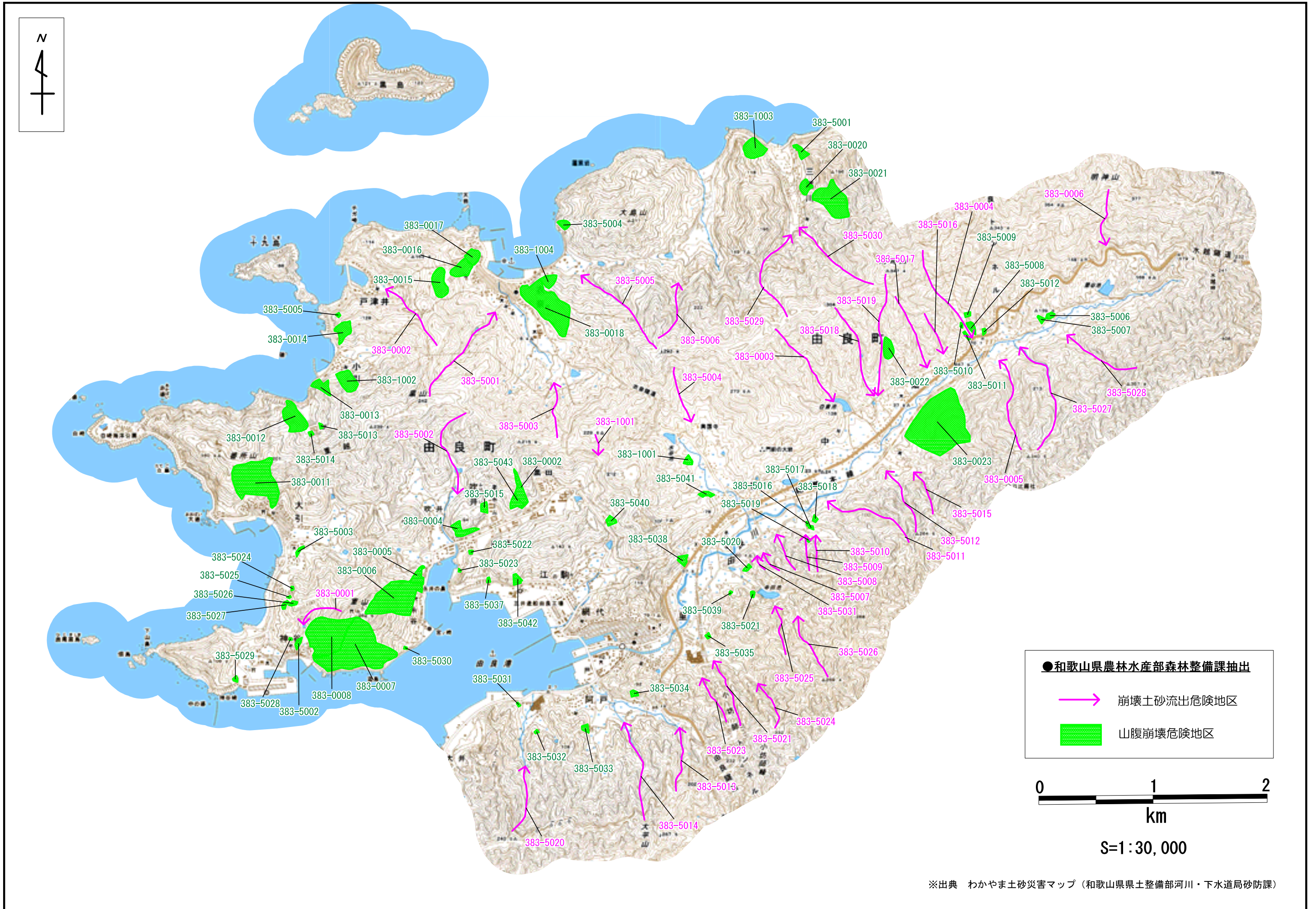
整理 No.	地区番号		位 置			面積(ha)	備 考
			市町村	大 字	字		
1	383	0020	由良町	三尾川	嶽出	0.87	
2	383	0021	〃	三尾川	内代	5.86	
3	383	1003	〃	三尾川		2.41	
4	383	5001	〃	三尾川		0.68	
5	383	0015	〃	衣奈	戸津井坂	2.49	
6	383	0016	〃	衣奈	戸津井坂	1.88	
7	383	0017	〃	衣奈		1.28	
8	383	0018	〃	衣奈	嶽出	9.77	
9	383	1004	〃	衣奈		1.18	
10	383	5004	〃	衣奈		0.54	
11	383	0012	〃	小引	田子谷	3.56	
12	383	0013	〃	小引		1.17	
13	383	0014	〃	小引	衣奈坂	1.57	
14	383	1002	〃	小引		2.21	
15	383	5005	〃	小引		0.08	
16	383	5013	〃	小引		0.09	
17	383	5014	〃	小引		0.11	
18	383	0011	〃	大引	上工通り	10.71	
19	383	5003	〃	大引		0.20	
20	383	5024	〃	大引		0.05	
21	383	5025	〃	大引		0.04	
22	383	5026	〃	大引		0.19	
23	383	5027	〃	大引		0.22	
24	383	0007	〃	神谷	重山	16.52	
25	383	0008	〃	神谷		9.54	
26	383	5002	〃	神谷		0.29	
27	383	5028	〃	神谷		0.04	
28	383	5029	〃	神谷		0.14	
29	383	0002	〃	吹井		1.40	
30	383	0004	〃	吹井		1.23	
31	383	0005	〃	吹井		1.02	
32	383	0006	〃	吹井	糸谷	9.75	
33	383	5015	〃	吹井	東畑	0.45	
34	383	5022	〃	吹井		0.08	
35	383	5023	〃	吹井		0.04	
36	383	5030	〃	吹井		0.04	

山腹崩壊危険地区

(その2)

整理 No.	地区番号		位 置			面積(ha)	備 考
			市町村	大 字	字		
37	383	5043	由良町	吹井	東畑	0.86	
38	383	5037	〃	江ノ駒		0.10	
39	383	5040	〃	江ノ駒		0.49	
40	383	5042	〃	江ノ駒		0.48	
41	383	5020	〃	里		0.19	
42	383	5021	〃	里		0.14	
43	383	5035	〃	里		0.13	
44	383	5038	〃	里		0.53	
45	383	5039	〃	里		0.05	
46	383	5031	〃	阿戸		0.06	
47	383	5032	〃	阿戸		0.07	
48	383	5033	〃	阿戸		0.28	
49	383	5034	〃	阿戸		0.26	
50	383	1001	〃	門前		0.39	
51	383	5016	〃	門前		0.05	
52	383	5017	〃	門前		0.08	
53	383	5018	〃	門前		0.15	
54	383	5019	〃	門前		0.06	
55	383	5041	〃	門前		0.38	
56	383	0022	〃	畑		1.25	
57	383	0023	〃	畑	五千坊	20.22	
58	383	5006	〃	畑		0.30	
59	383	5007	〃	畑		0.23	
60	383	5008	〃	畑		0.43	
61	383	5009	〃	畑		0.15	
62	383	5010	〃	畑		0.07	
63	383	5011	〃	畑		0.15	
64	383	5012	〃	畑		0.11	

出典:和歌山県地域防災計画資料編(令和元年度修正版)



資料 1 - 14 海岸重要水防箇所

< 国土交通省港湾局所管 >

名 称	所 在 地	延 長 (m)	備 考
由良港 (神谷・小杭地区)	由良町神谷、日高町小杭	450	平成24年より海岸事業実施中

出典：和歌山県地域防災計画資料編（令和元年度修正版）

< 農林水産省（水産庁）所管 >

名 称	所 在 地	延 長 (m)	備 考
小 引	由良町小引	556	平成27年度越波等被害有り

出典：和歌山県地域防災計画資料編（令和元年度修正版）

< 農林水産省（農村振興局）所管 >

名 称	所 在 地	延 長 (m)	備 考
三 尾 川	由良町衣奈、三尾川	277	

出典：和歌山県地域防災計画資料編（令和元年度修正版）

< 一般公共海岸 >

名 称	所 在 地	延 長 (m)	備 考
大 引	由良町大引	1,000	平成26年度越波等被害有り

出典：和歌山県地域防災計画資料編（令和元年度修正版）

資料 1 - 15 道路危険予想箇所

< 一般道路・国管理 >

名 称	位 置	延 長 (m)	予想される危険	備 考
42号	畑	3,200	崩落・落石等	
	里 ~ 阿戸	1,600	崩落・落石等	

出典：和歌山県地域防災計画資料編（令和元年度修正版）

様式 1-16 避難場所一覧

(その1)

整理 番号	避難場所名称	避難が予想される住民の地区名			指定場所		適応災害種別	指定・ 緊急の別	緊急避難場所 安全レベル 【風水害】	緊急避難場所 安全レベル 【津波】	所在地
					【風水害】	【津波】					
指定-1	長谷寺	畑地区					風水害を除くその他の災害	指定	☆☆☆	由良町畑1105	
指定-2	ゆらこども園	畑地区	中地区		2階		全般災害	指定	☆	☆☆☆	由良町畑204
指定-3	畑農業会館	畑地区			2階		全般災害	指定	☆☆	☆☆☆	由良町畑184
指定-4	中老人憩の家	中地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆☆	由良町中264-2
指定-5	興国寺	門前地区					風水害を除くその他の災害	指定		☆☆☆	由良町門前801
指定-6	門前コミュニティセンター	門前地区					全般災害	指定	☆	☆☆☆	由良町門前426
指定-7	旧中央保育所	里地区					洪水を除くその他の災害	指定		☆	由良町里759
指定-8	里集会所	里地区					洪水を除くその他の災害	指定		☆	由良町里763-1
指定-9	横浜会館	横浜地区					津波を除くその他の災害	指定	☆☆☆		由良町里202-2
指定-10	光専寺	横浜地区					津波を除くその他の災害	指定	☆(注)		由良町里118
指定-11	由良小学校	里地区	横浜地区	網代地区	3階以上		全般災害※津波時は避難ビル	指定	☆☆☆	☆	由良町里166
指定-12	蓮専寺	南地区					風水害を除くその他の災害	指定		☆☆☆	由良町里1182
指定-13	由良児童館	南地区					津波・洪水を除くその他の災害	指定	☆☆		由良町里1126-3
指定-14	由良文化センター	南地区					津波・洪水を除くその他の災害	指定	☆☆		由良町里1126-3
指定-15	阿戸コミュニティセンター	阿戸地区					津波を除くその他の災害	指定	☆☆		由良町阿戸687-8
指定-16	阿戸葦原会会場	阿戸地区					津波を除くその他の災害	指定	☆(注)		由良町阿戸366
指定-17	教専寺	阿戸地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆	由良町阿戸244
指定-18	由良中学校	南地区	阿戸地区				津波を除くその他の災害	指定	☆☆☆		由良町阿戸708-1
指定-19	町営住宅阿戸団地集会所	阿戸地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆☆	由良町阿戸281
指定-20	念興寺	網代地区					津波を除くその他の災害	指定	☆(注)		由良町網代97
指定-21	網代青年会場	網代地区					津波を除くその他の災害	指定	☆(注)		由良町網代124-1
指定-22	中央公民館	網代地区					津波を除くその他の災害	指定	☆☆☆		由良町網代248-12
指定-23	由良農村教育文化体育センター	網代地区					津波を除くその他の災害	指定	☆☆☆		由良町網代248-12
指定-24	網代老人センター	網代地区					津波を除くその他の災害	指定	☆		由良町網代193
指定-25	江ノ駒老人憩の家	江ノ駒地区					全般災害	指定	☆☆	☆	由良町江ノ駒220-3
指定-26	専福寺	江ノ駒地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆☆	由良町江ノ駒117
指定-27	覚性寺	吹井地区					風水害を除くその他の災害	指定		☆☆	由良町吹井391
指定-28	吹井老人憩の家	吹井地区	柳原地区				津波を除くその他の災害	指定	☆☆		由良町吹井969-3
指定-29	吹井活性化支援センター	吹井地区			2階		全般災害※津波時は避難ビル	指定	☆	☆	由良町吹井390-1
指定-30	旧白崎保育所	吹井地区	柳原地区	糸谷地区			津波を除くその他の災害	指定	☆☆		由良町吹井969-3
指定-31	柳原コミュニティセンター	柳原地区	黒田地区				全般災害	指定	☆	☆☆☆	由良町吹井949-3
指定-32	武道館	柳原地区	黒田地区				全般災害	指定	☆	☆☆	由良町吹井910-2
指定-33	白崎会館	柳原地区	黒田地区				全般災害	指定	☆☆☆	☆☆	由良町吹井910-2
指定-34	地域福祉センター	黒田地区					全般災害	指定	☆☆	☆☆☆	由良町吹井80-88
指定-35	糸谷コミュニティセンター	糸谷地区					津波を除くその他の災害	指定	☆☆☆		由良町吹井729-8
指定-36	旧白崎中学校	神谷地区			2階		全般災害※津波時は避難ビル	指定	☆☆☆	☆	由良町神谷213
指定-37	神谷老人憩の家	神谷地区			2階		全般災害※津波時は避難ビル	指定	☆☆☆	☆	由良町神谷241
指定-38	宝国寺	神谷地区					風水害を除くその他の災害	指定		☆☆	由良町神谷121
指定-39	浄明寺	大引地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆☆	由良町大引710
指定-40	大引老人憩の家	大引地区					全般災害	指定	☆	☆☆☆	由良町大引709
指定-41	白崎小学校	大引地区			2階以上	2階以上	全般災害※津波時は避難ビル	指定	☆☆	☆	由良町大引64
指定-42	小引円明寺	小引地区						指定	☆(注)	☆☆☆	由良町小引450
指定-43	小引コミュニティセンター	小引地区			2階		全般災害※津波時は避難ビル	指定	☆☆	☆	由良町小引468

整理番号	避難場所名称	避難が予想される住民の地区名			指定場所		適応災害種別	指定・緊急の別	緊急避難場所安全レベル【風水害】	緊急避難場所安全レベル【津波】	所在地
					【風水害】	【津波】					
指定-44	戸津井円明寺	戸津井地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆	由良町戸津井203
指定-45	戸津井老人憩の家	戸津井地区					津波を除くその他の災害	指定	☆(注)		由良町戸津井93
指定-46	旧衣奈中学校	衣奈地区			2階		全般災害	指定	☆☆	☆☆☆	由良町衣奈680
指定-47	信行寺	衣奈地区					全般災害	指定	☆(注)	☆	由良町衣奈99
指定-48	西教寺	衣奈地区					風水害を除くその他の災害	指定		☆☆	由良町衣奈281
指定-49	法林寺	衣奈地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆	由良町衣奈310
指定-50	旧衣奈保育所	衣奈地区					全般災害	指定	☆(注)	☆☆☆	由良町衣奈685
指定-51	衣奈小学校	衣奈地区			2階以上	3階	全般災害※津波時は避難ビル	指定	☆☆	☆	由良町衣奈230
指定-52	衣奈会館	衣奈地区					津波を除くその他の災害	指定	☆☆☆		由良町衣奈765-7
指定-53	三尾川集落センター	三尾川地区					全般災害	指定	☆☆	☆☆☆	由良町三尾川294
指定-54	鷲林寺	三尾川地区					風水害を除くその他の災害	指定		☆☆☆	由良町三尾川155
緊急-1	中紀バス付近	里地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-2	JA紀州付近	里地区					津波	緊急	—	☆	由良町里地内
緊急-3	小山地蔵付近	里地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-4	高台①	里地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-5	高台②	里地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-6	高台③	里地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-7	トンネル出口付近	里地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-8	里消防車庫付近	里地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町里地内
緊急-9	国道上	里地区	横浜地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-10	高台(国道合流部付近)	里地区	横浜地区	南地区			津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-11	国道トンネル付近	南地区	里地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-12	国道上(元オートスナック付近)	南地区	里地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-13	南消防車庫付近	南地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-14	裏山3-①	南地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町里地内
緊急-15	裏山3-②	南地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町里地内
緊急-16	裏山3-③	南地区	阿戸地区				津波	緊急	—	☆☆	由良町里地内
緊急-17	裏山4-①	阿戸地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町阿戸地内
緊急-18	笠松山4-②	阿戸地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町阿戸地内
緊急-19	阿戸消防車庫付近	阿戸地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町阿戸地内
緊急-20	高台(教専寺境内)	阿戸地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町阿戸地内
緊急-21	高台(田畑)	阿戸地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町阿戸地内
緊急-22	裏山1-①(北山)	横浜地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町里地内
緊急-23	裏山1-②	横浜地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-24	裏山1-③	横浜地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-25	裏山1-④	横浜地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-26	裏山1-⑤(宇佐八幡神社裏)	横浜地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町里地内
緊急-27	裏山5-①(高見山)	網代地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町網代地内
緊急-28	裏山5-②(風呂の谷)	網代地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町網代地内
緊急-29	裏山5-③(見上山)	網代地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町網代地内
緊急-30	高台(小由良坂付近)	網代地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町網代地内
緊急-31	裏山6-①	江ノ駒地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町江ノ駒地内
緊急-32	裏山6-②	江ノ駒地区					津波	緊急	—	☆☆☆	由良町江ノ駒地内
緊急-33	農免道路登り口	江ノ駒地区					津波	緊急	—	☆☆	由良町江ノ駒地内

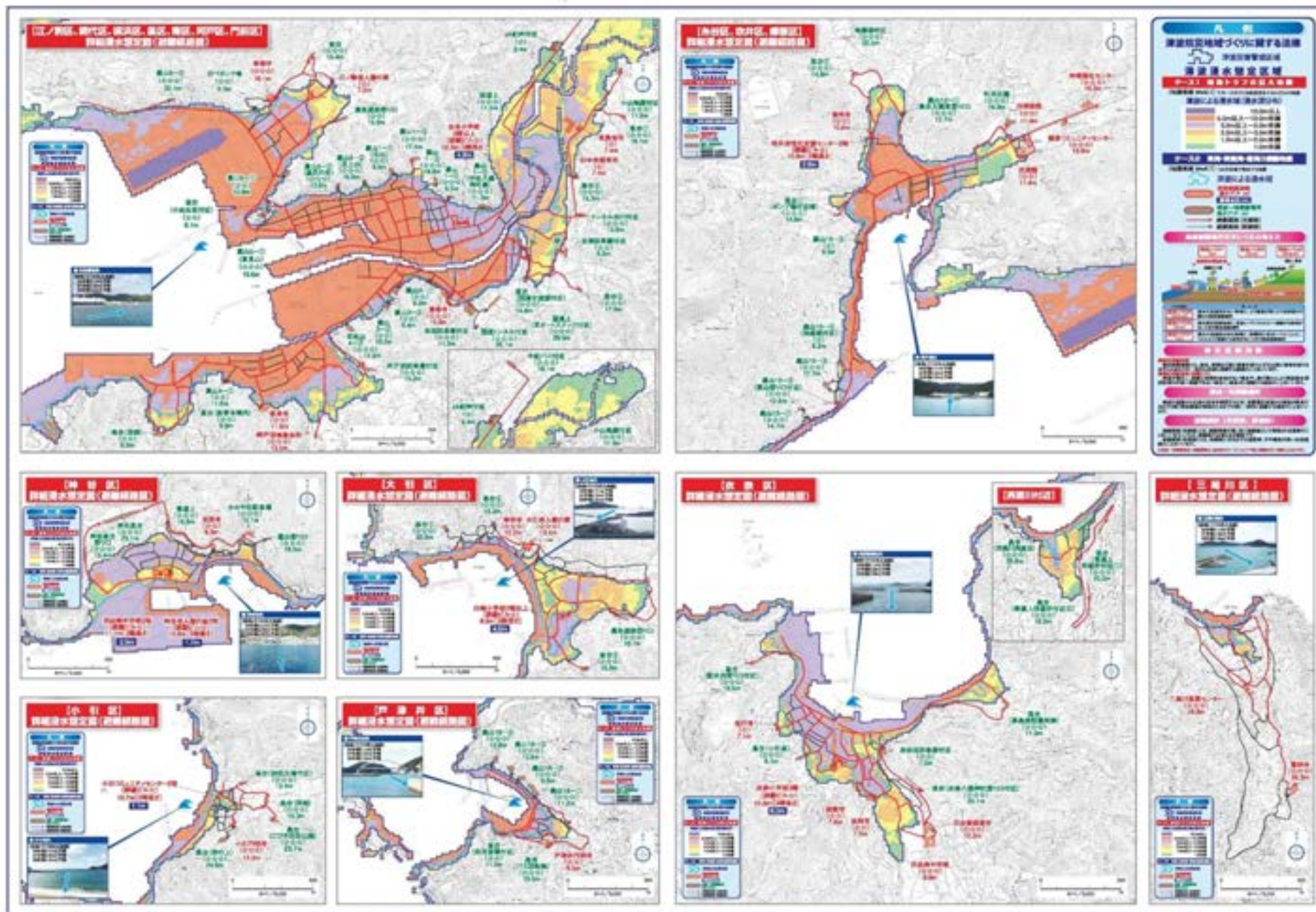
整理 番号	避難場所名称	避難が予想される住民の地区名		指定場所		適応災害種別	指定・ 緊急の別	緊急避難場所 安全レベル 【風水害】	緊急避難場所 安全レベル 【津波】	所在地
				【風水害】	【津波】					
緊急-34	高台	江ノ駒地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町江ノ駒地内
緊急-35	旧ペタンク場	江ノ駒地区				津波	緊急	—	☆☆	由良町江ノ駒地内
緊急-36	町民公園	柳原地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-37	裏山12-①(奥谷大橋東登り口)	吹井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-38	高台①(ポンプ場付近畑)	吹井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-39	高台②	吹井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-40	地蔵様付近	吹井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-41	裏山15-①	糸谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-42	裏山15-②(重山登り口付近)	糸谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-43	裏山15-③	糸谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町吹井地内
緊急-44	裏山15-④(地蔵様付近)	糸谷地区				津波	緊急	—	☆	由良町吹井地内
緊急-45	裏山15-⑤	糸谷地区				津波	緊急	—	☆	由良町吹井地内
緊急-46	重山登り口	神谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町神谷地内
緊急-47	かみや荘駐車場	神谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町神谷地内
緊急-48	県道上	神谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町神谷地内
緊急-49	神谷高台登り口	神谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町神谷地内
緊急-50	神谷高台	神谷地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町神谷地内
緊急-51	農免道路登り口	大引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町大引地内
緊急-52	高台①	大引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町大引地内
緊急-53	高台②	大引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町大引地内
緊急-54	高台③	大引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町大引地内
緊急-55	高台(別荘広場付近)	小引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町小引地内
緊急-56	高台(田畑)	小引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町小引地内
緊急-57	高台(岸の上)	小引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町小引地内
緊急-58	高台(こびき防災公園)	小引地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町小引地内
緊急-59	裏山18-①	戸津井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町戸津井地内
緊急-60	裏山18-②	戸津井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町戸津井地内
緊急-61	裏山18-③	戸津井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町戸津井地内
緊急-62	裏山18-④	戸津井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町戸津井地内
緊急-63	高台(バス回転地)	戸津井地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町戸津井地内
緊急-64	高台(防災倉庫付近)	戸津井地区				津波	緊急	—	☆☆	由良町戸津井地内
緊急-65	高台(配水池登り口付近)	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町衣奈地内
緊急-66	高台(小引坂)	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町衣奈地内
緊急-67	衣奈消防車庫付近	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆	由良町衣奈地内
緊急-68	高台(衣奈八幡神社登り口付近)	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町衣奈地内
緊急-69	高台(黒島旅館裏田畑)	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町衣奈地内
緊急-70	高台(西原川西高台)	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町衣奈地内
緊急-71	高台(県道上待避所付近①)	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町衣奈地内
緊急-72	高台(県道上待避所付近②)	衣奈地区				津波	緊急	—	☆☆☆	由良町衣奈地内

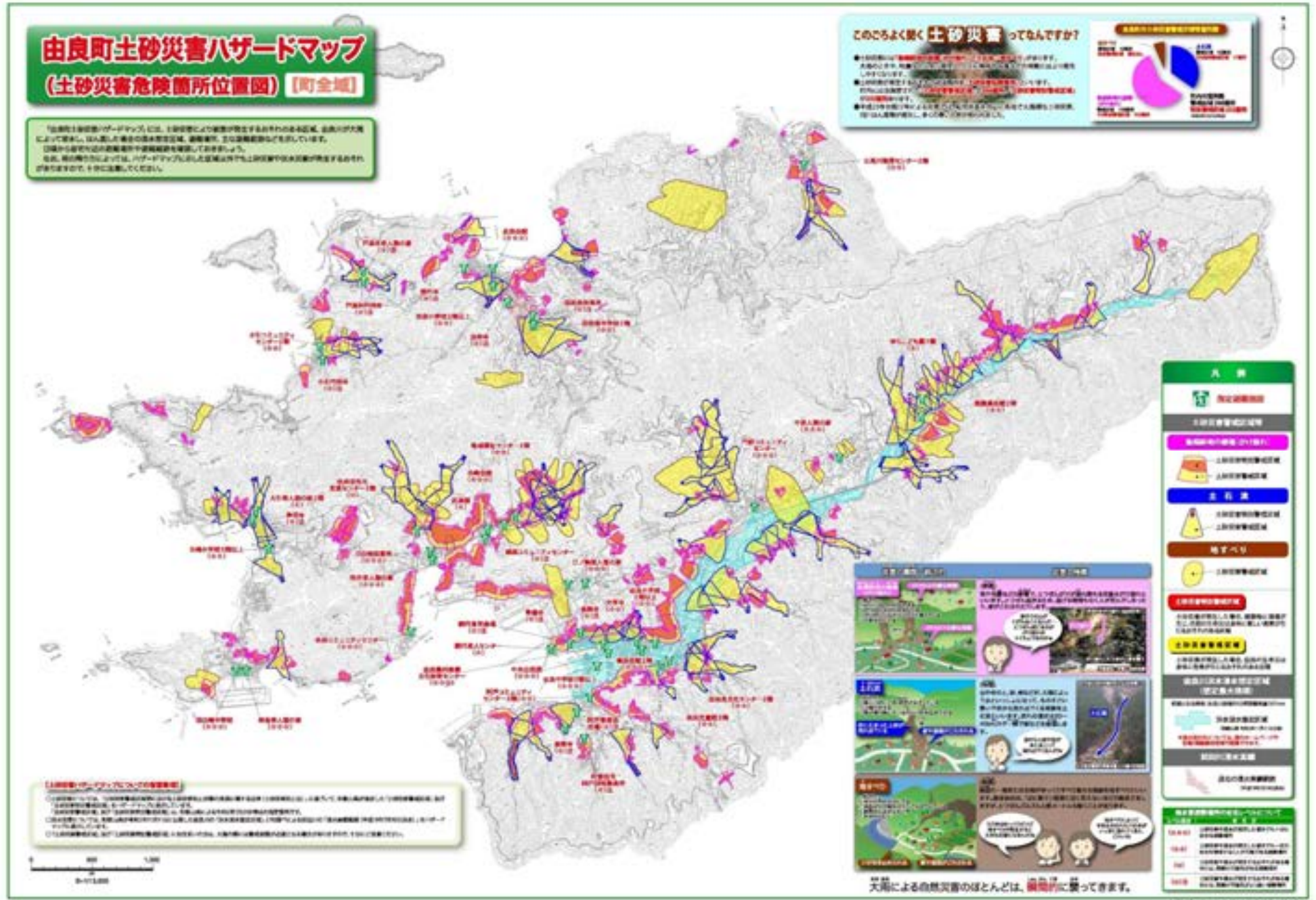
※「指定」は指定避難施設、「緊急」は津波一時避難場所

※緊急避難場所安全レベルについては、「和歌山県における避難場所の考え方」(県防災企画課)に基づいて判定

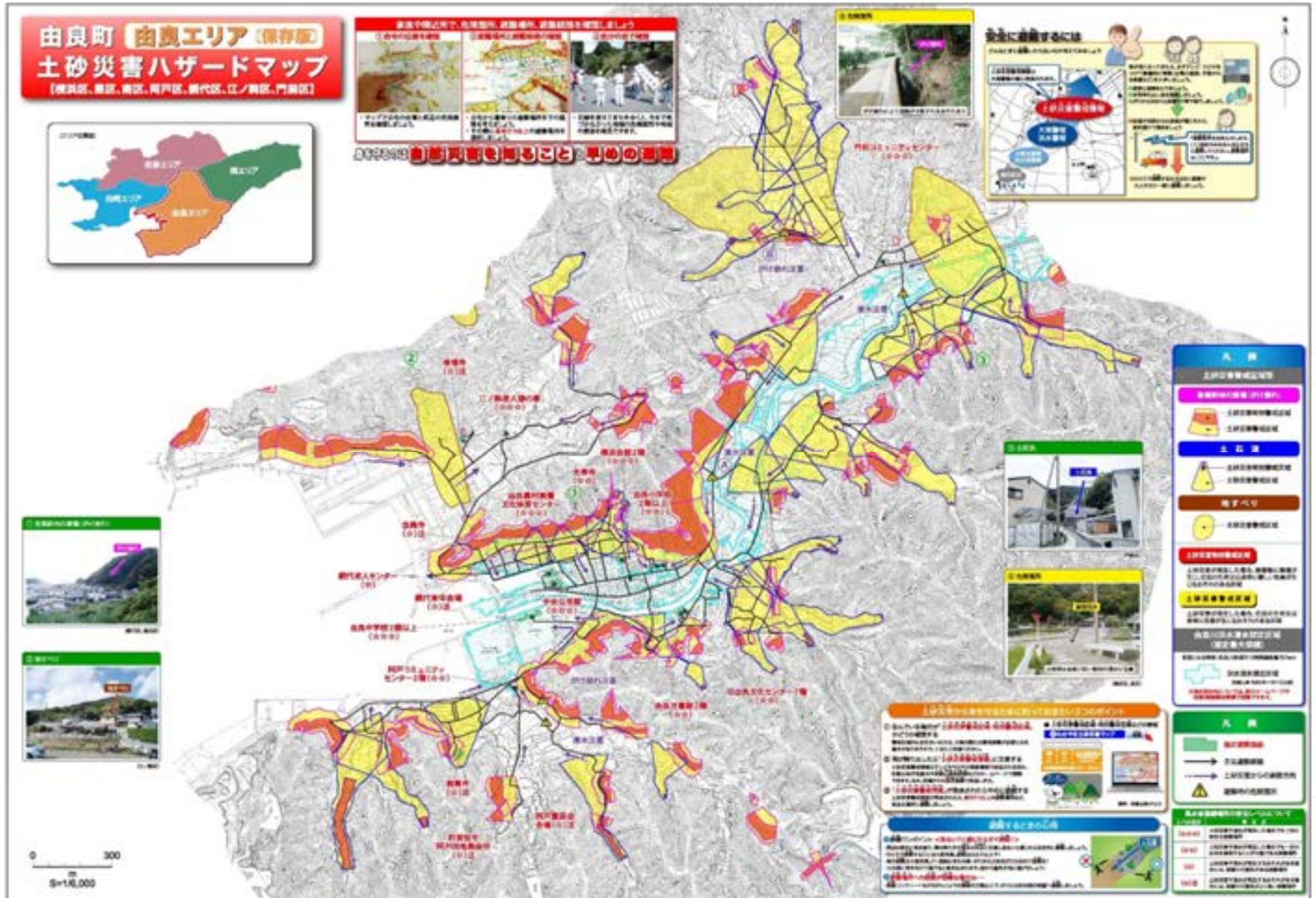
※津波一時避難場所の所在地については、別途「由良町津波ハザードマップ地区別の詳細浸水想定図(避難経路図)」を参照

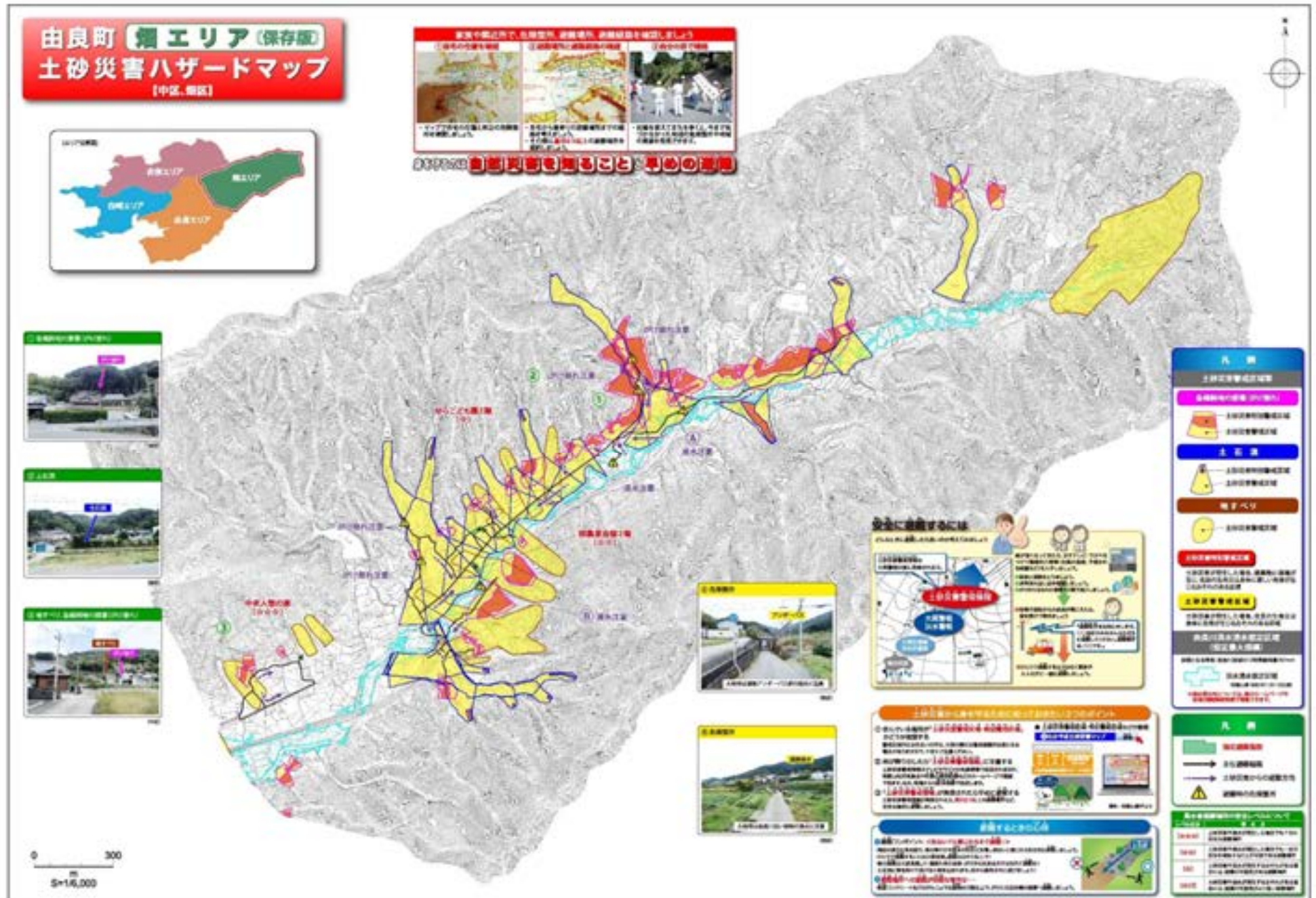
資料1-17(2) 由良町津波ハザードマップ



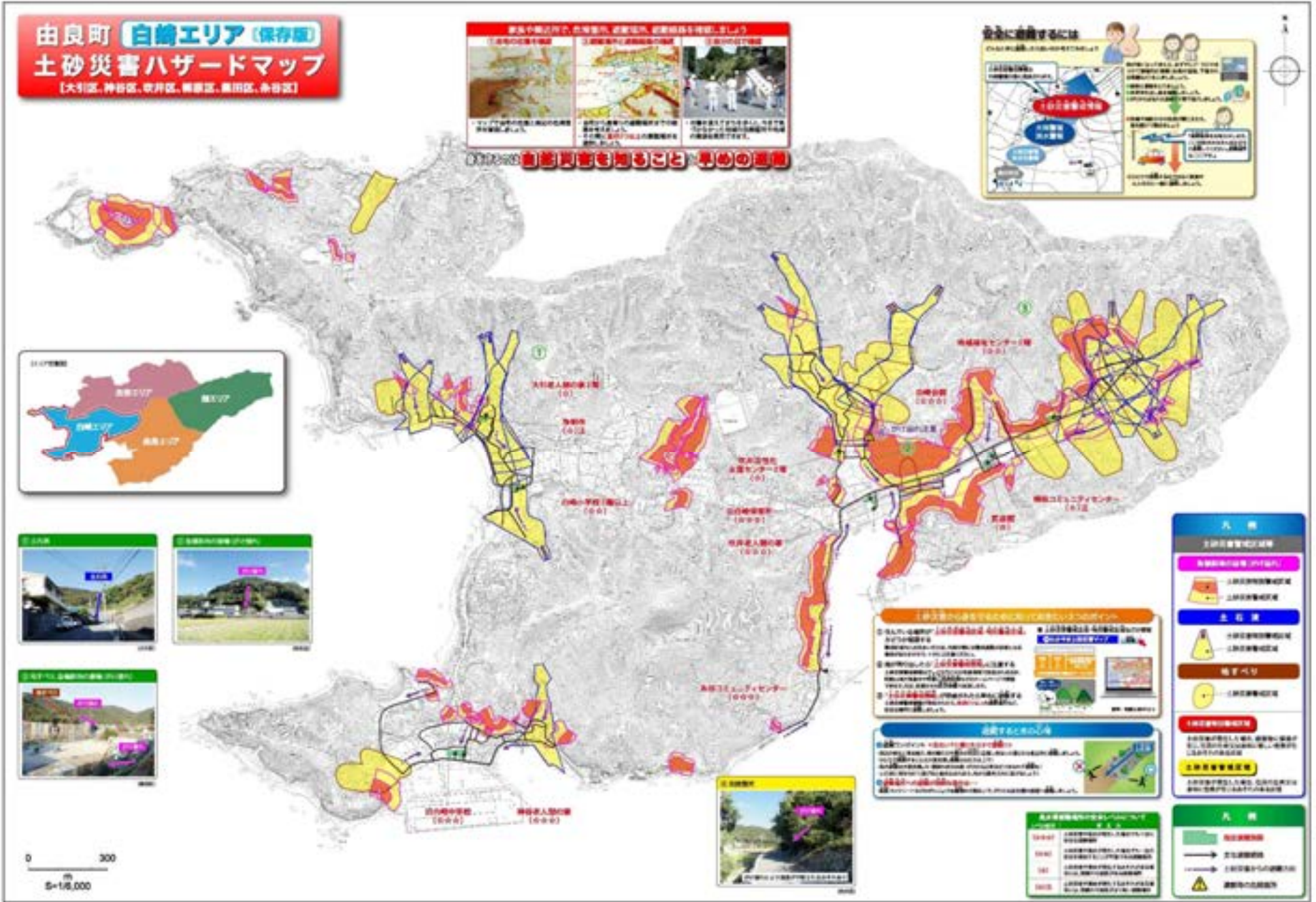


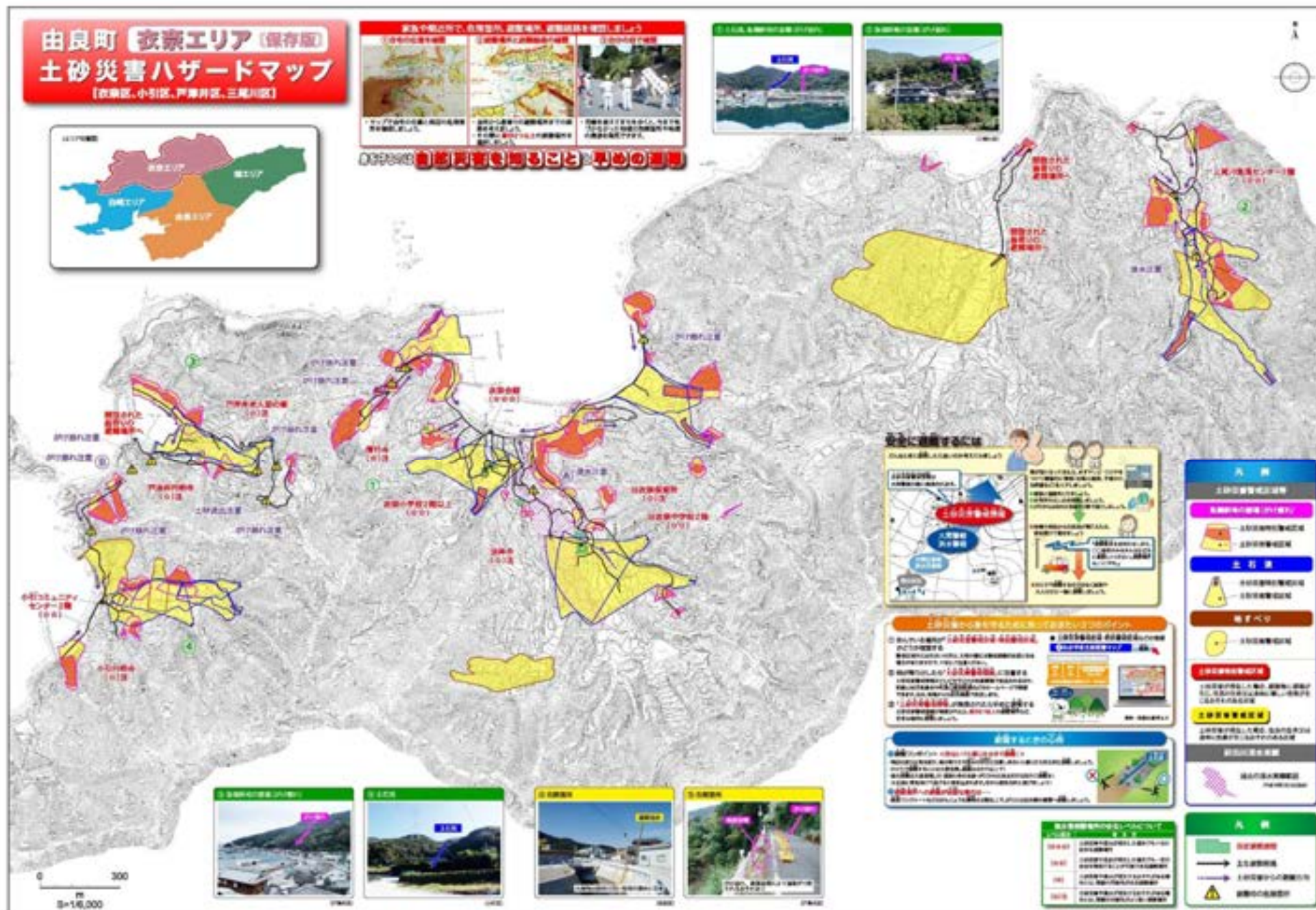
資料1-18(2) 由良町土砂災害ハザードマップ【由良エリア】





資料1-18(4) 由良町土砂災害ハザードマップ【白崎エリア】





資料 1 - 19 防災関係協定一覧

(令和3年3月現在)

No.	協 定 名	協 定 先	協定締結年月日
1	災害時の医療救護に関する協定書	日高郡医師会	平成11年8月10日
2	災害時における由良町と由良町内郵便局との相互協力に関する覚書	由良町内郵便局	平成12年1月15日
3	大規模災害時及び緊急を要する場合の応急対策業務に関する協定書	由良町建設業協会	平成19年3月1日
4	災害救助に関する協定書	由良町商工会	平成20年7月24日
5	災害救助物資の調達に関する協定書	(有) VAVASON	平成20年7月24日
6	大規模災害発生時における復旧支援活動に関する協定書	和歌山県自動車整備振興会御坊支部 由良ブロック会	平成20年7月24日
7	災害時等における地域の安心の確保等に関する協定書	(社)博愛会	平成24年4月4日
8	由良町災害ボランティアセンターの設置等に関する協定書	(社)由良町社会福祉協議会	平成24年7月24日
9	災害時等の応援に関する申合せ	近畿地方整備局長	平成24年10月18日
10	基本協定書	白倉池水利組合	平成24年11月12日
11	全国醤油産地市町村協議会加盟市町村災害時総合応援協定書	和歌山県湯浅町、千葉県銚子市 ほか	平成24年12月26日
12	特設公衆電話の設置・利用に関する覚書	西日本電信電話(株)	平成25年1月28日
13	災害時におけるボランティア活動に関する協定	(株)駒井ハルテック	平成25年3月21日
14	瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定	和歌山県海南市、湯浅町、大阪府堺市 ほか	平成25年3月27日
15	災害時等における地域の安心の確保等に関する協定書	御坊日高老人福祉施設事務組合	平成25年12月9日
16	防災関係の協働事業に関する協定書	紀州農業協同組合	平成26年6月4日
17	災害発生時における福祉避難所としての施設利用に関する協定書	(社)和歌山県福祉事業団	平成26年7月14日
18	災害発生時におけるLPガス等の供給に関する協定書	和歌山県LPガス協会日高支部由良町事業部	平成26年7月15日
19	災害発生時における輸送及び荷さばき業務等の協力に関する協定書	(公財)和歌山県トラック協会	平成26年12月1日
20	災害時における住家の被害認定に関する協定書	(公社)日本建築家協会	平成27年1月30日
21	災害時における住家の被害認定に関する協定書	(一社)和歌山県建築士会	平成27年1月30日
22	災害時における住家の被害認定に関する協定書	(一社)和歌山県建築士事務所協会	平成27年1月30日
23	一般国道42号避難用階段(由良町里地先)の維持管理に関する覚書	近畿地方整備局和歌山河川国道事務所長	平成28年3月22日
24	「道の駅」防災利用に関する基本協定書	国土交通省近畿地方整備局 ほか	平成28年5月11日
25	災害時における応急対策活動の相互応援に関する協定書	日高管内1市5町 首長	平成28年8月10日
26	災害時における避難所施設利用に関する協定書	MES-KHI由良ドッグ株式会社	平成28年10月5日
27	災害時における基幹系電算システムの相互支援体制に関する協定	有田市・御坊市・美浜町・印南町・上富田町	平成29年9月7日
28	災害時における施設等利用に関する覚書	海上自衛隊由良基地分遣隊	平成30年3月19日
29	地域BWAを利用した避難所Wi-Fiの機器及び回線提供に関する覚書	(株)ZTV	平成30年12月12日
30	漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定	(一社)水産土木建設技術センター	令和元年10月16日
31	災害発生時における法律相談業務等に関する協定書	和歌山弁護士会	令和2年2月3日
32	災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定書	(株)キナン御坊営業所	令和2年3月13日
33	災害発生時における応急生活物資の供給に関する協定書	紀南段ボール(株)、Jボックス(株)	令和2年9月23日
34	災害時における救援物資の供給に関する協定書	三協フロンティア株式会社	令和3年3月22日

(町総務政策課調べ)